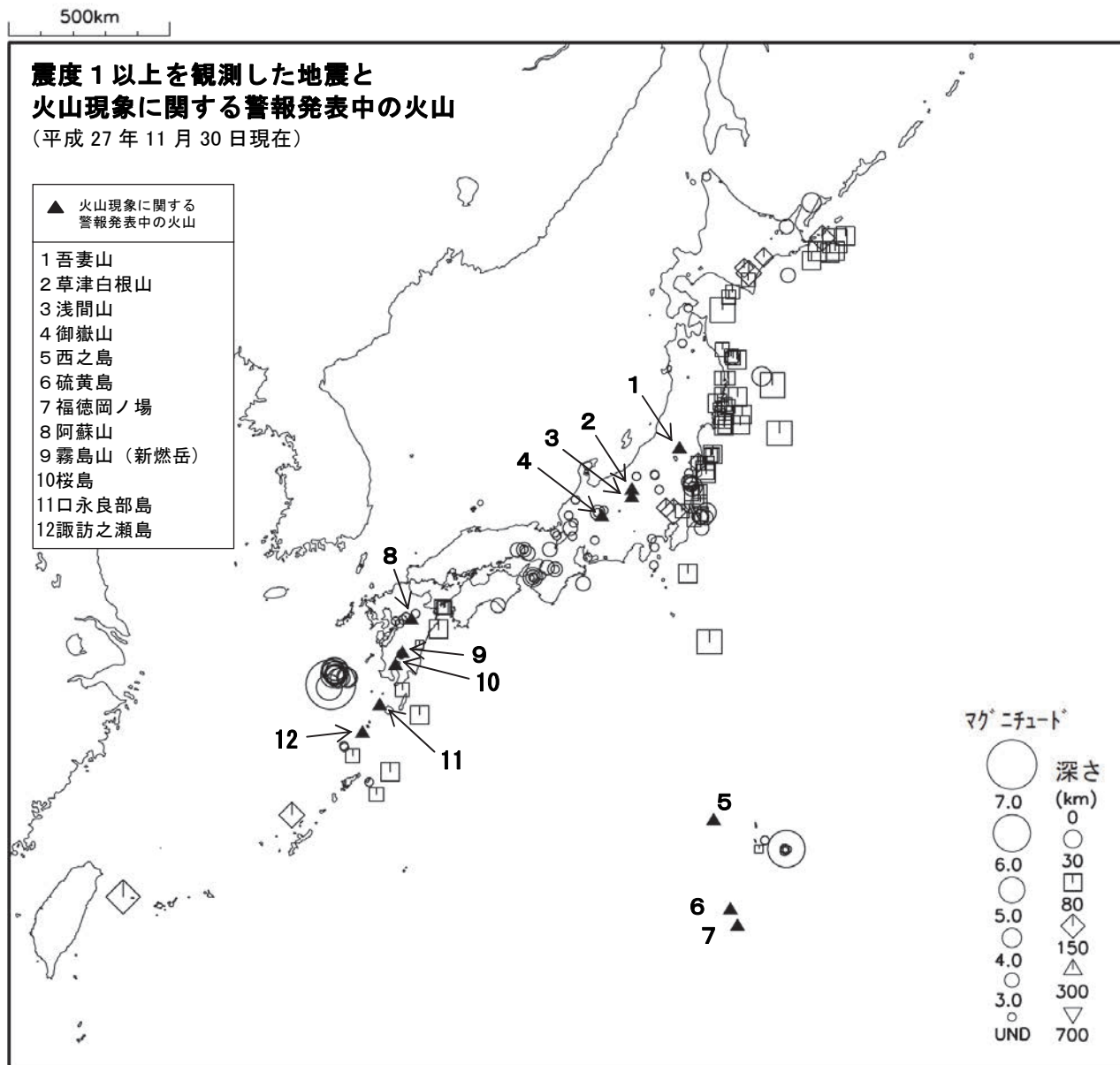


平成 27 年 11 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

November 2015



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 27 年 11 月 30 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 27 年 11 月 30 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを基に作成している。また、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で利用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目 次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	12
近畿・中国・四国地方の地震活動	15
九州地方の地震活動	16
沖縄地方の地震活動	17
その他の地域の地震活動	19
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	21
● 日本の主な火山活動	30
北海道地方	33
東北地方	33
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	34
九州地方及び南西諸島	37
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	41
● 世界の主な地震	45
● 世界の主な火山活動	49
● 特集 平成 27 年 11 月 14 日の薩摩半島西方沖の地震	50
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	59
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	81
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	82
4. 緊急地震速報の提供状況	83
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	84

●日本及びその周辺での主な地震活動

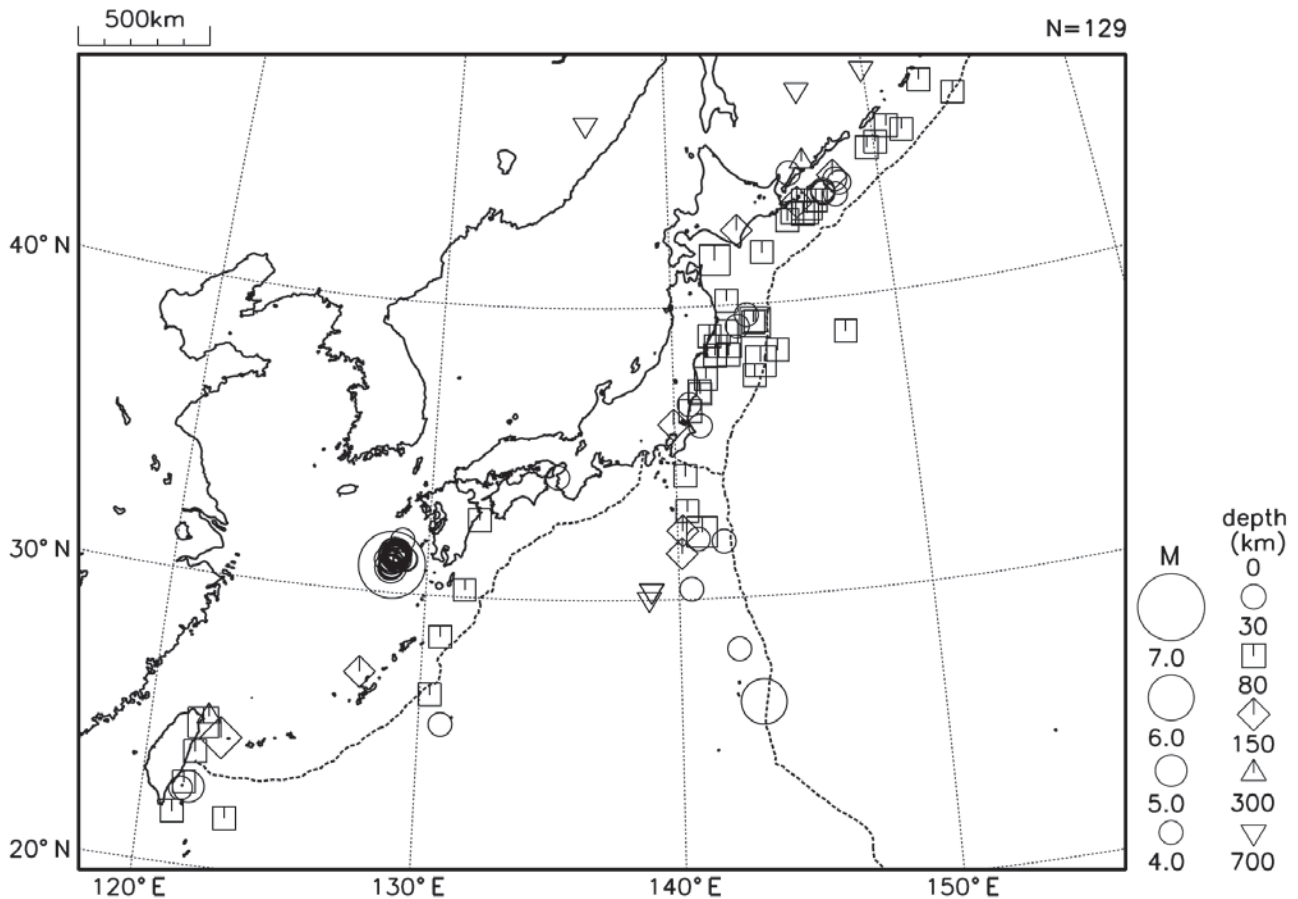


図 1 平成 27 年 11 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

11 月 14 日 05 時 51 分に薩摩半島西方沖で M7.1 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）、津波注意報を発表した。この地震により、佐賀県白石町、鹿児島県鹿児島市などで最大震度 4 を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度 3～1 を観測した。また、この地震により、鹿児島県（トカラ列島）の中之島（海上保安庁）で 30cm の津波を観測した。

平成 27 年（2015 年）11 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 164 回（10 月は 169 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 129 回（10 月は 73 回）であった。

11 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。11 月中に震度 5 弱以上を観測した地震はなかった。津波を観測した地震は 1 回であった（10 月は震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震は次第に少なくなっているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な活動が続いている。11 月中に発生した M5.0 以上の地震の回数は 2 回（10 月は 2 回）であった。

表 1 平成 27 年 11 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	11 1 12 48	青森県東方沖（注 6）	5.2	5.4	・ ・ ・ ・	3：青森県 東通村砂子又沢内＊ など 1 道 1 県 7 地点	4、10
2	11 7 22 44	茨城県南部	4.9	5.0	・ ・ S ・	4：栃木県 下野市田中＊	4、13
3	11 12 0 33	与那国島近海	5.0	—	・ ・ ・ ・	3：沖縄県 与那国町役場＊	4、18
4	11 14 5 51	薩摩半島西方沖	7.1	6.7	M ・ S T	4：鹿児島県 鹿児島市喜入町＊ など 2 県 9 地点 緊急地震速報（警報） を発表 津波注意報 を種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島、鹿児島県西部に発表 津波観測 ：中之島（注 7）で 30cm の津波を観測	50～58
5	11 15 4 20	薩摩半島西方沖	5.9	5.7	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 鹿児島市喜入町＊ など 1 県 4 地点	50～58
6	11 19 18 33	福島県沖	4.9	4.9	・ ・ S ・	4：福島県 楢葉町北田＊ 浪江町幾世橋	4、11
7	11 20 14 31	父島近海（注 8）	6.3	5.8	M ・ ・ ・	2：東京都 小笠原村母島 など 1 都 3 地点	5、20
8	11 22 8 20	茨城県沖	4.8	—	・ ・ S ・	4：茨城県 鉾田市汲上＊ など 1 県 5 地点	5、14
9	11 28 11 51	根室半島南東沖	5.6	5.5	・ ・ S ・	4：北海道 中標津町丸山＊ 根室市落石東＊	5、7

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）Mw 欄の「—」は Mw が求められていないことを示す。

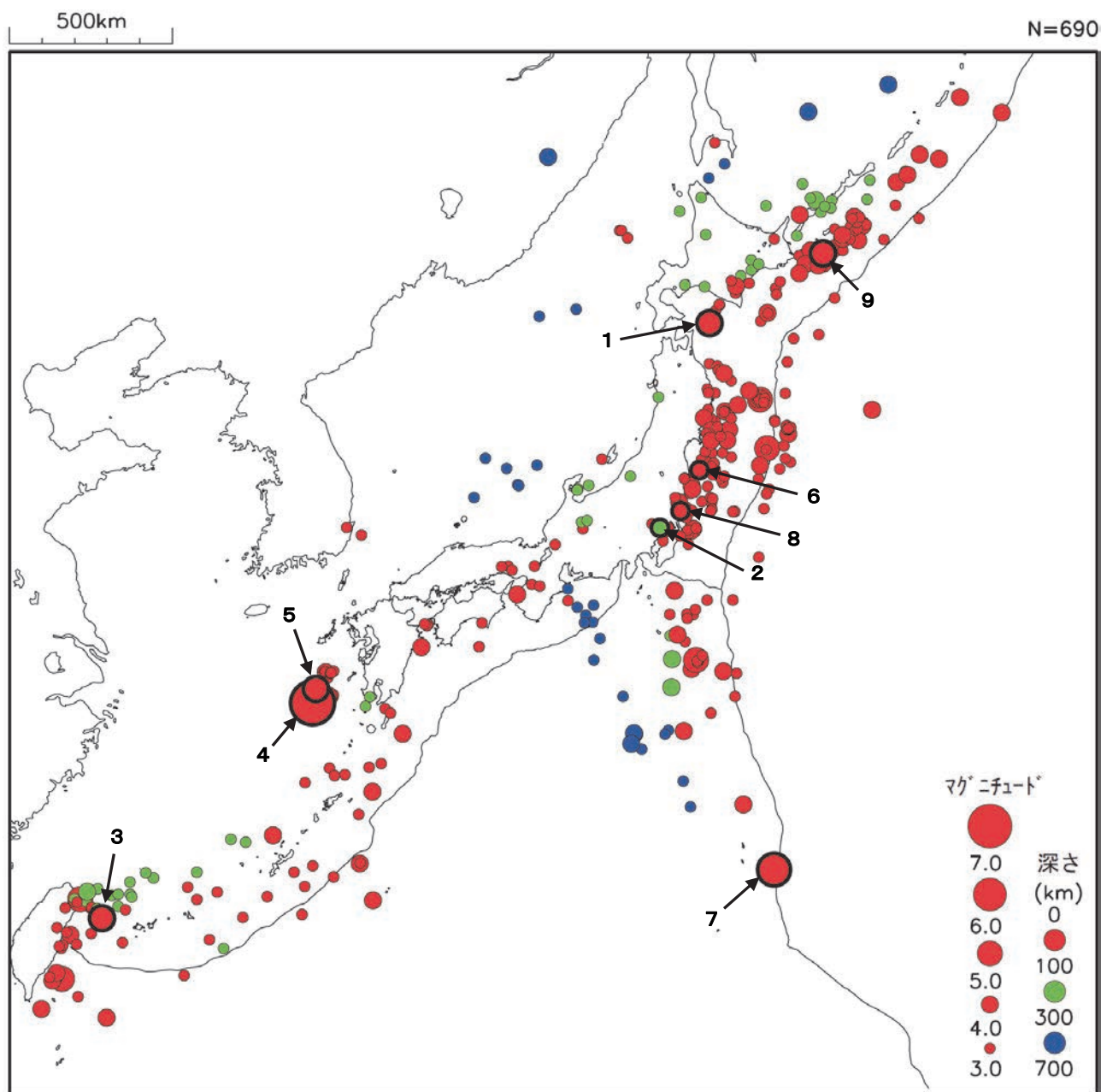
（注 4）M H S T の各項目について、M：M6.0 以上の地震、H：被害を伴った地震、S：震度 4 以上を観測した地震、T：津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

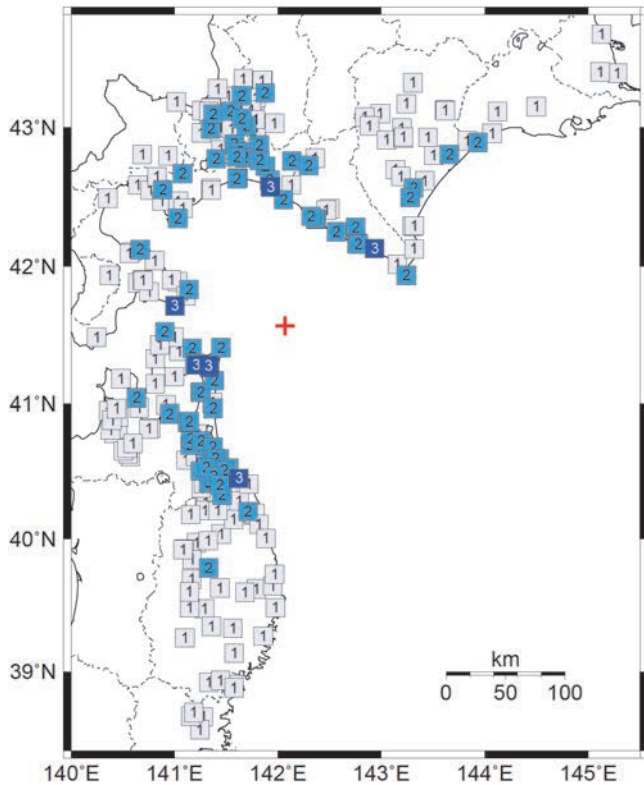
（注 6）情報発表に用いた震央地名は「浦河沖」である。

（注 7）海上保安庁の観測施設である。

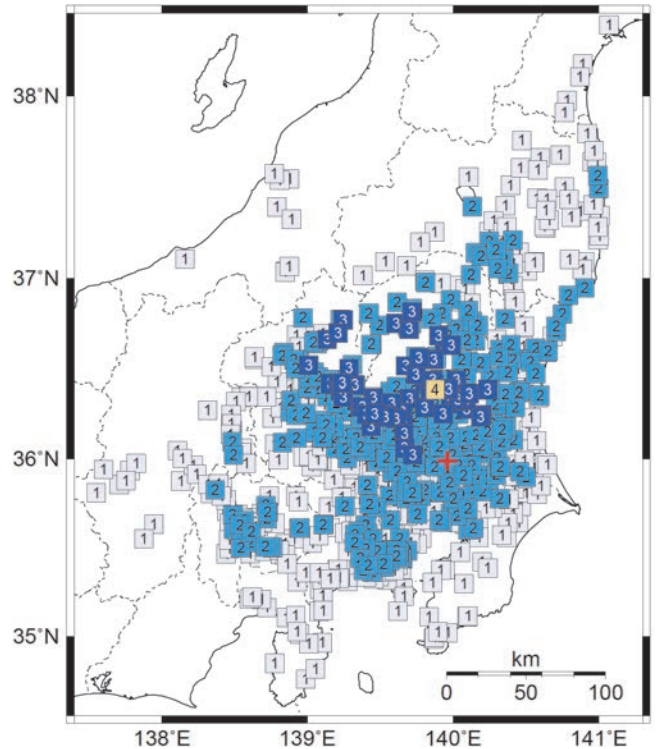
（注 8）情報発表に用いた震央地名は「硫黄島近海」である。



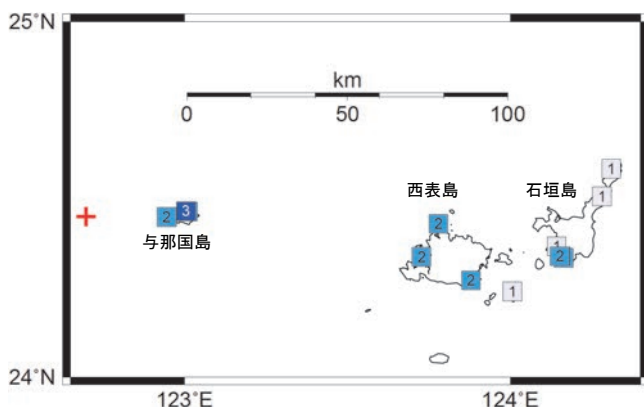
1 11 月 1 日 12 時 48 分 青森県東方沖
(M5.2、深さ 65km、最大震度 3)



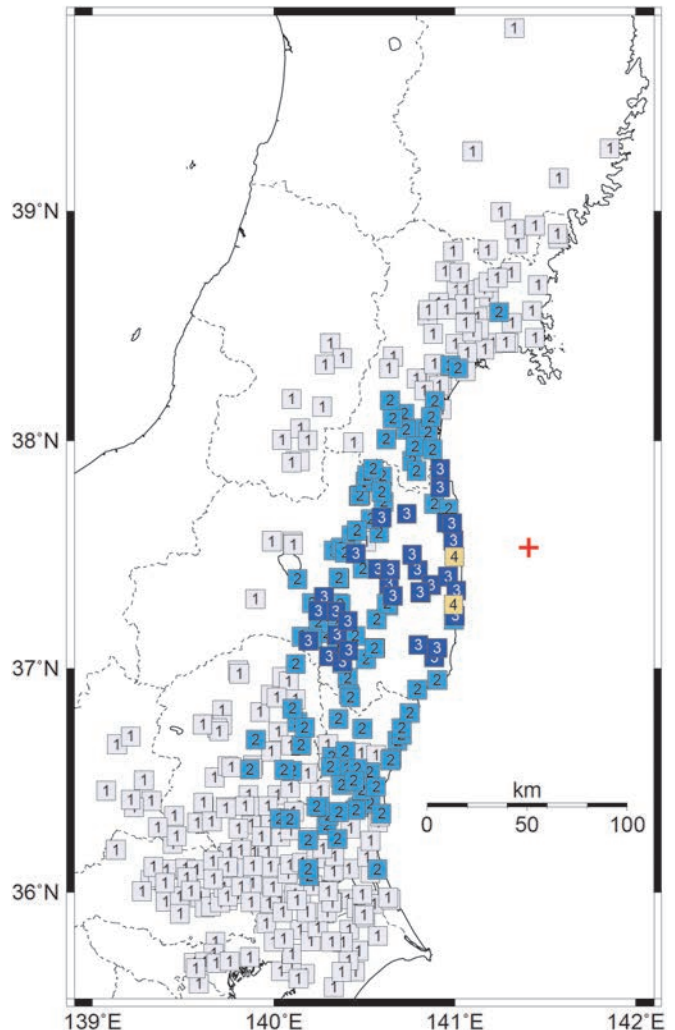
2 11 月 7 日 22 時 44 分 茨城県南部
(M4.9、深さ 101km、最大震度 4)



3 11 月 12 日 00 時 33 分 与那国島近海
(M5.0、深さ 97km、最大震度 3)



6 11 月 19 日 18 時 33 分 福島県沖
(M4.9、深さ 51km、最大震度 4)



11 月 14 日 05 時 51 分、11 月 15 日 04 時 20 分に発生した薩摩半島西方沖の地震 (No. 4、5) の震度分布図については p52 を参照。

震度分布図 凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

図 3-1 震度分布図 (各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。)

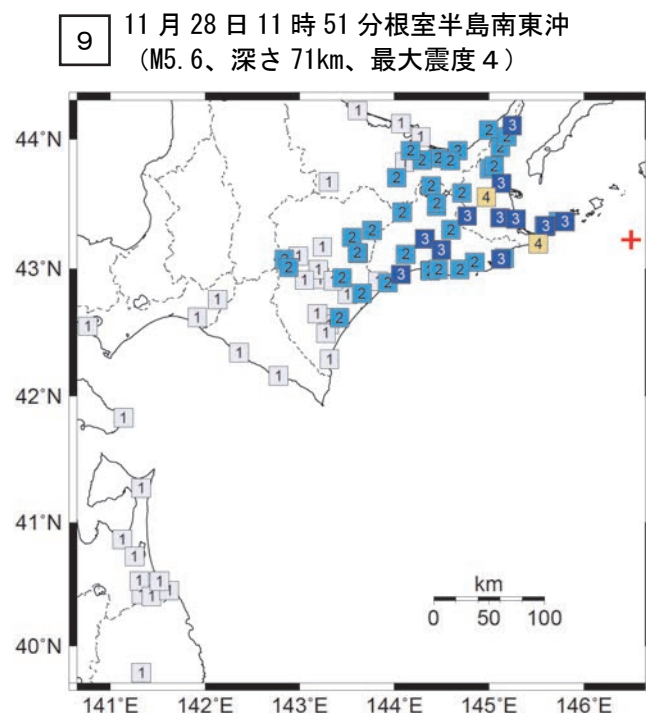
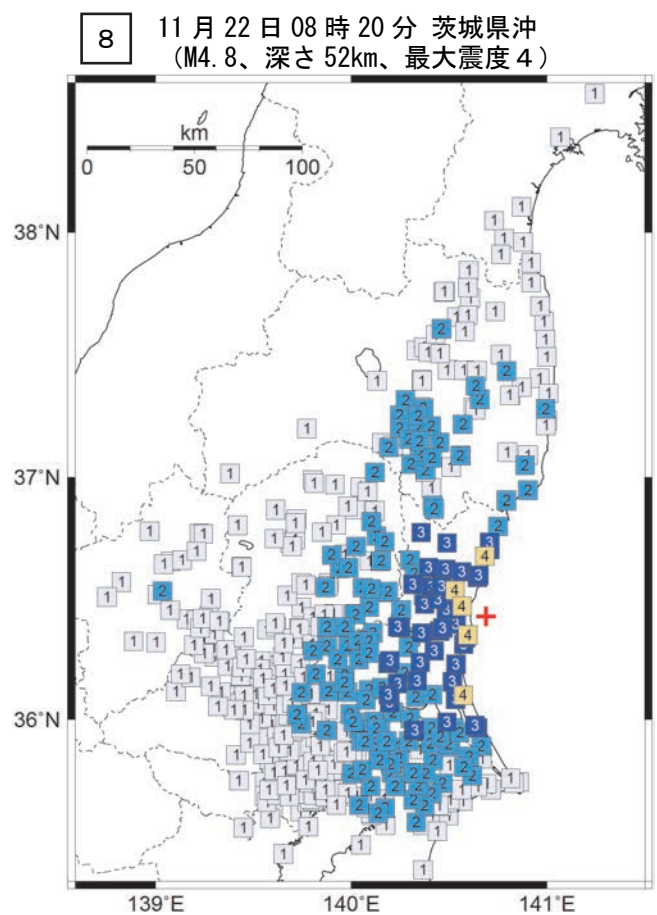
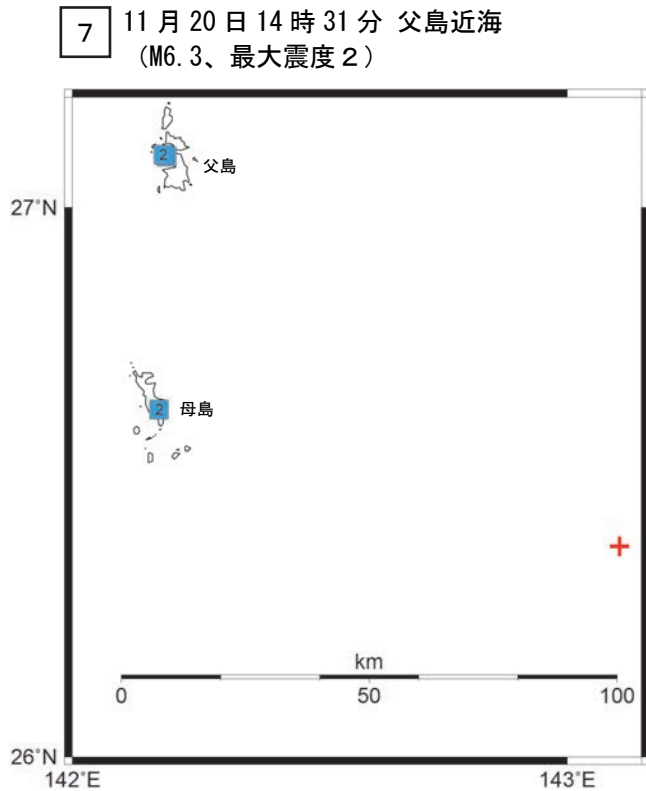


図 3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

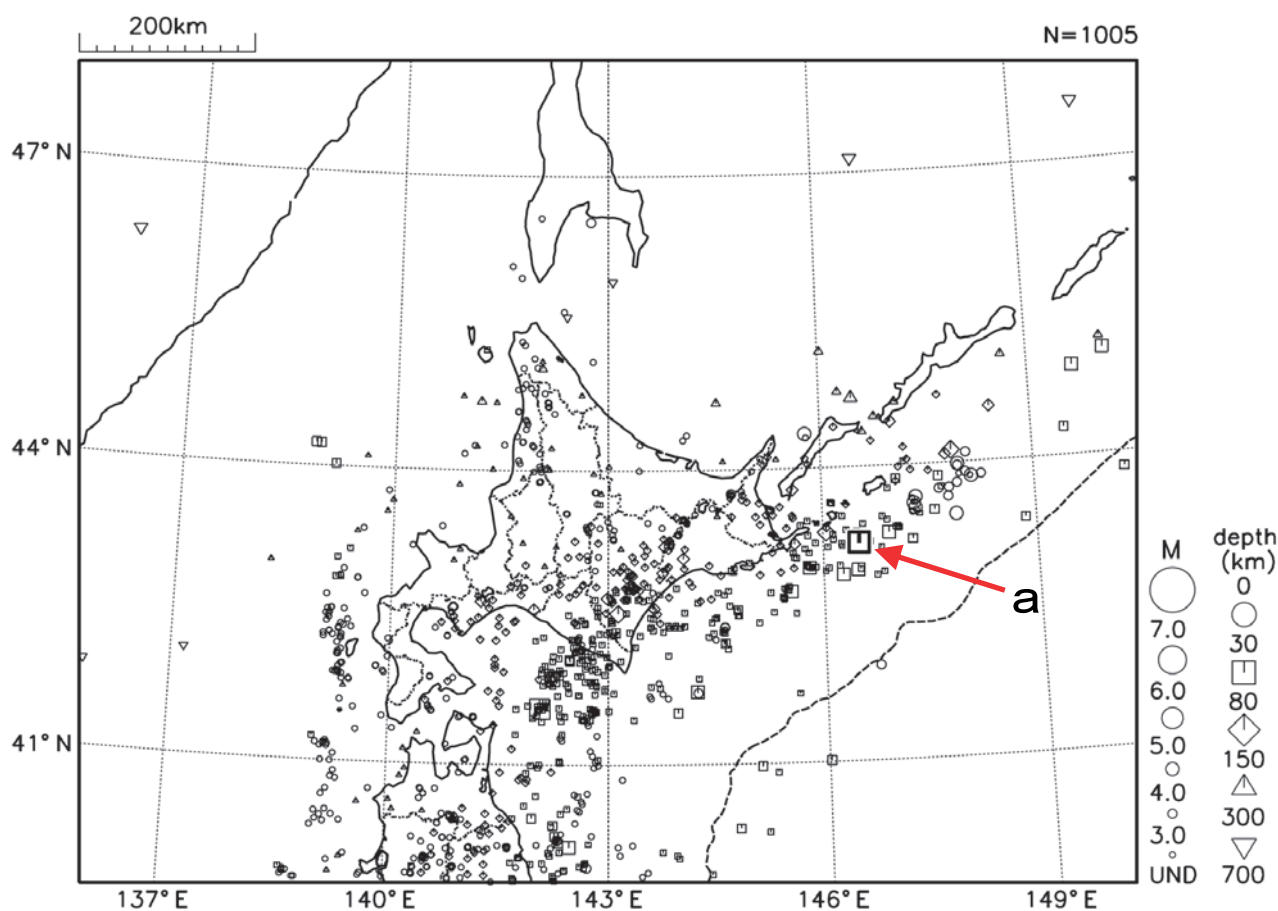


図4 北海道地方の震央分布図（2015 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

〔概況〕

11 月に北海道地方で震度 1 以上を観測した地震は 20 回（10 月は 15 回）であった。

11 月中の主な地震活動は次のとおりである。

28 日 11 時 51 分に根室半島南東沖の深さ 71km で M5.6 の地震（図 4 中の a）が発生し、北海道の根室市及び中標津町で震度 4 を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度 3 ～ 1 を観測した（p 5、7 参照）。

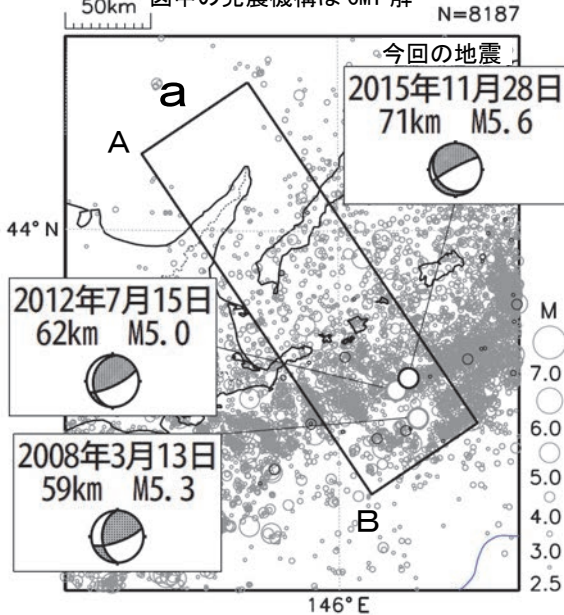
11 月 28 日 根室半島南東沖の地震

震央分布図

(2001 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 20～200km、 $M \geq 2.5$)

2015 年 11 月の地震を濃く表示

図中の発震機構は CMT 解

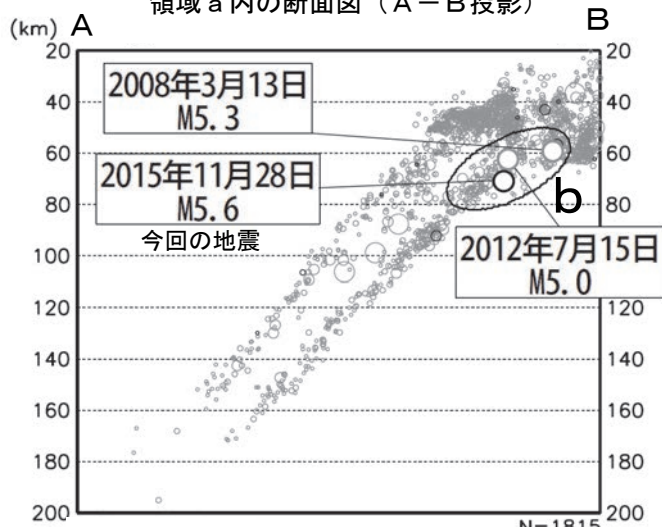


2015 年 11 月 28 日 11 時 51 分に根室半島南東沖の深さ 71km で M5.6 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

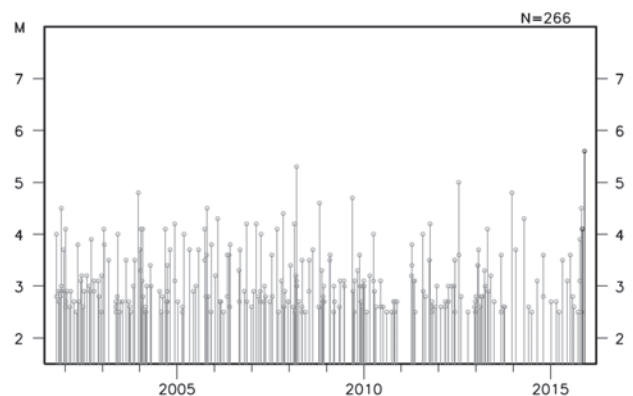
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震が時々発生しており、2008 年 3 月 13 日に M5.3 (最大震度 3)、2012 年 7 月 15 日に M5.0 (最大震度 3) の地震が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が時々発生しており、M7.0 以上の地震も 3 回発生している。最大規模の地震は「1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震」(M7.4、最大震度 5) で、負傷者 28 人、住宅破損約 5,000 棟などの被害が生じ、根室市花咲では 280cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した (「昭和 48・49 年災害記録 (北海道、1975)」による)。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

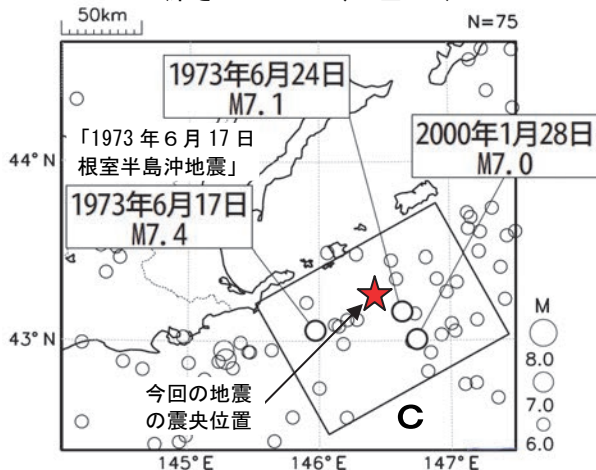


領域 b 内の M-T 図

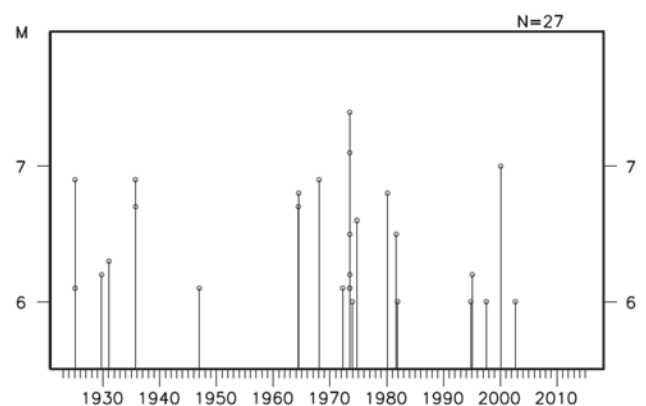


震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域 c 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

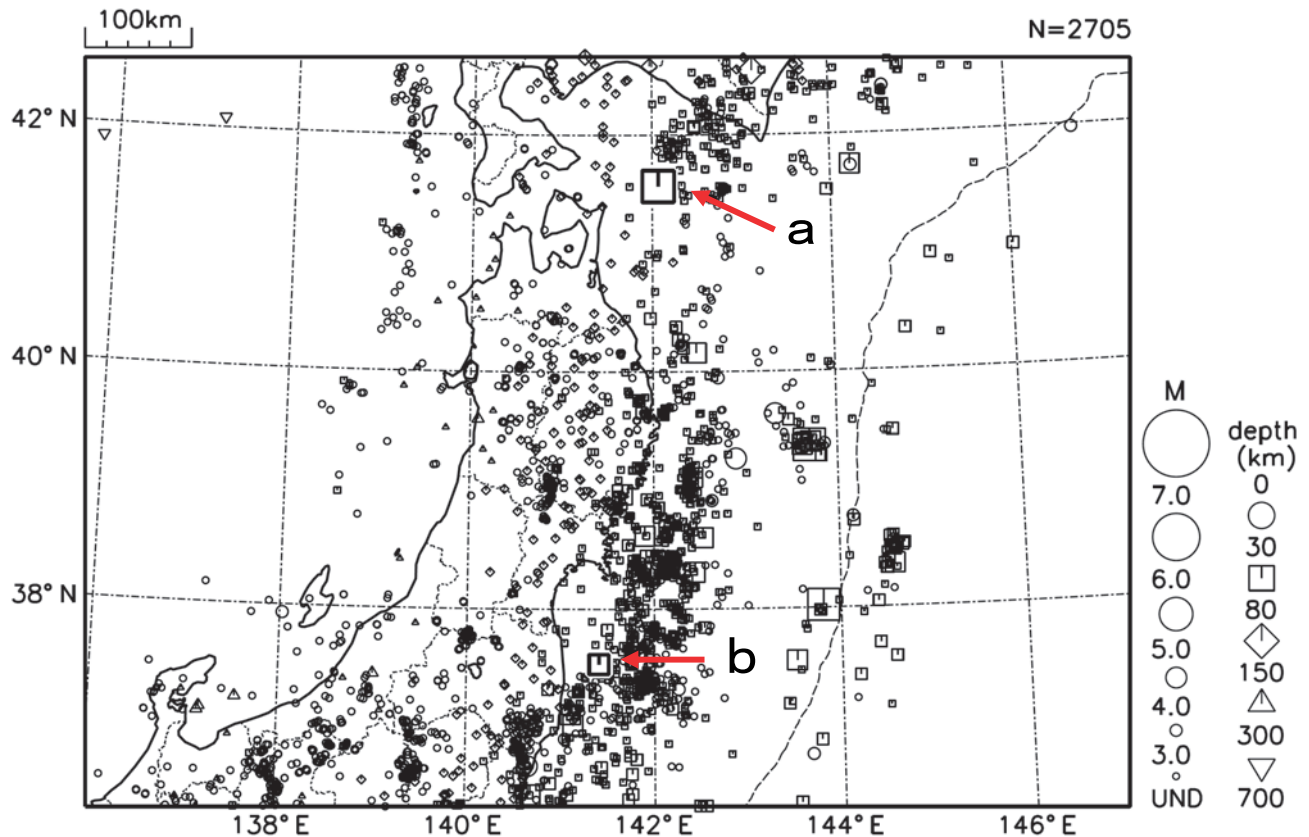


図5 東北地方の震央分布図（2015年11月1日～11月30日）

〔概況〕

11月に東北地方で震度1以上を観測した地震は45回（10月は57回）であった。
11月中の主な活動は次のとおりである。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（図 5、p. 9 参照）。

1 日 12 時 48 分に青森県東方沖の深さ 65km で M5.2 の地震（図 5 中の a）が発生し、北海道函館市、青森県むつ市などで震度 3 を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度 2 ～ 1 を観測した（p. 4、10 参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

19 日 18 時 33 分に福島県沖の深さ 51km で M4.9 の地震（図 5 中の b）が発生し、福島県楢葉町、浪江町で震度 4 を観測したほか、青森県と秋田県を除く東北地方から関東地方にかけて震度 3 ～ 1 を観測した（p. 4、11 参照）。

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 11 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 2 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 2 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなっているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2015 年 11 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

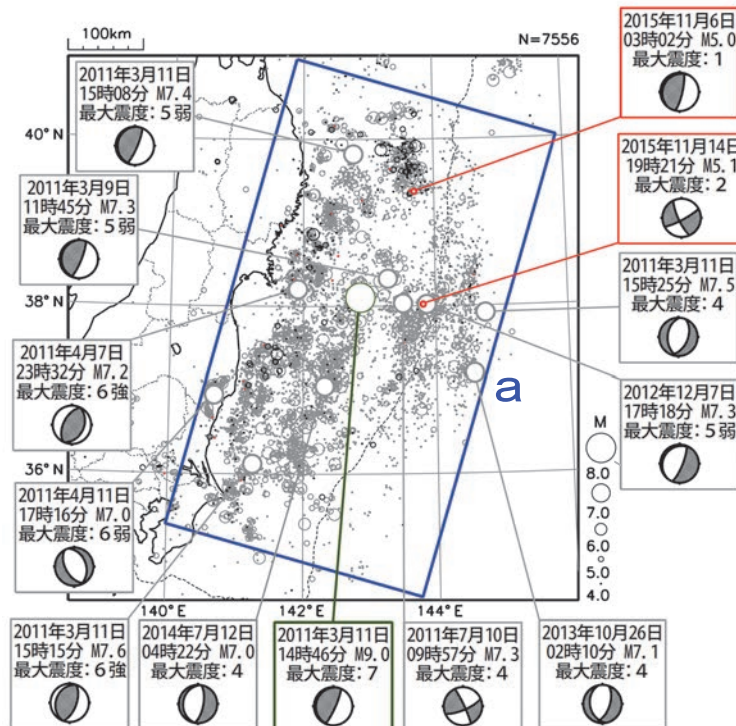
2015 年 11 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
11 月 06 日 03 時 02 分	三陸沖	5.0	4.6	1	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
11 月 14 日 19 時 21 分	三陸沖	5.1	5.0	2	西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、深さすべて、 $M \geq 4.0$ ）

2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 11 月から 2015 年 10 月の地震を濃く、
2015 年 11 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



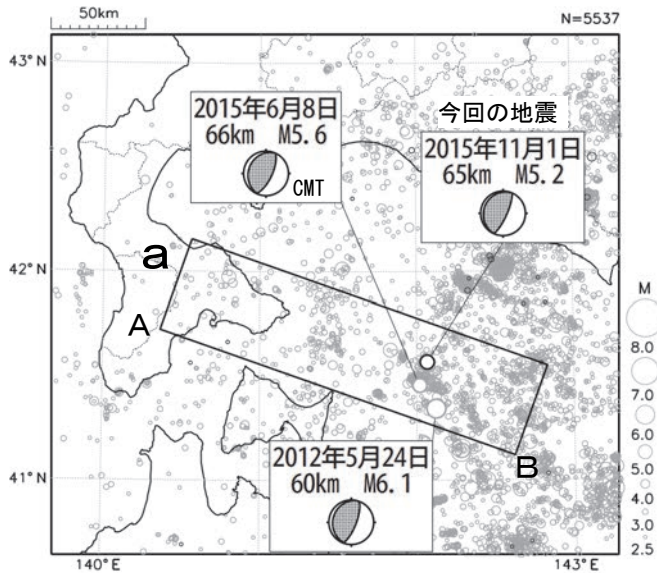
領域 a 内の M7.0 以上の地震と
2015 年 11 月に発生した M5.0
以上の地震に吹き出しをつけた。



11 月 1 日 青森県東方沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「浦河沖」である。

震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.5$ ）
2015 年 11 月の地震を濃く表示

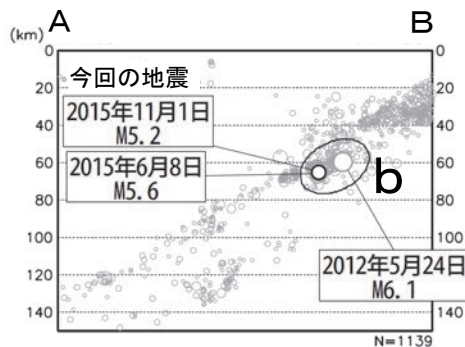


2015年11月1日12時48分に青森県東方沖の深さ65kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

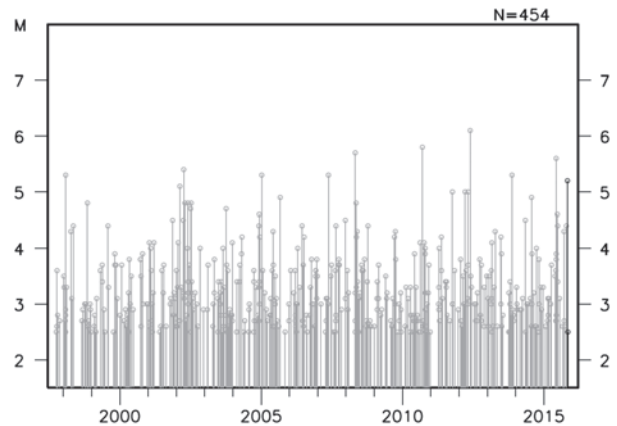
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、最近では2012年5月24日にM6.1（最大震度5強）、2015年6月8日にM5.6（最大震度4）の地震が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、最大規模の地震は1968年5月16日に発生したM7.5の地震（最大震度5、「1968年十勝沖地震」(M7.9)の最大余震）である。なお、「1968年十勝沖地震」では、死者52人、負傷者330人、建物全壊673棟などの被害を生じた（「日本被害地震総覧」による）。

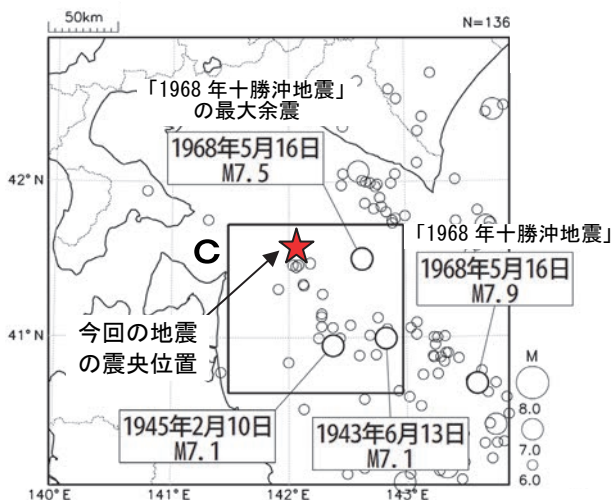
領域a内の断面図（A-B投影）



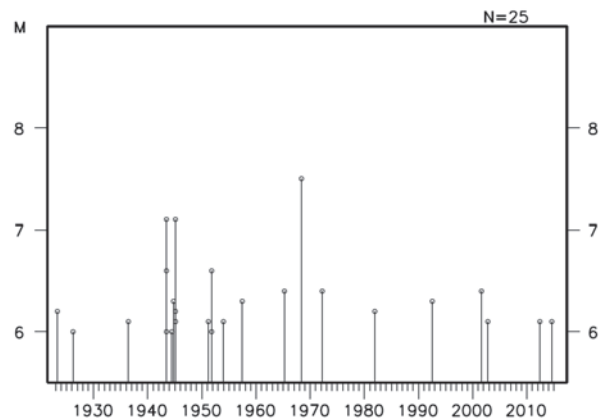
領域b内のM-T図



震央分布図（1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$ ）



領域c内のM-T図

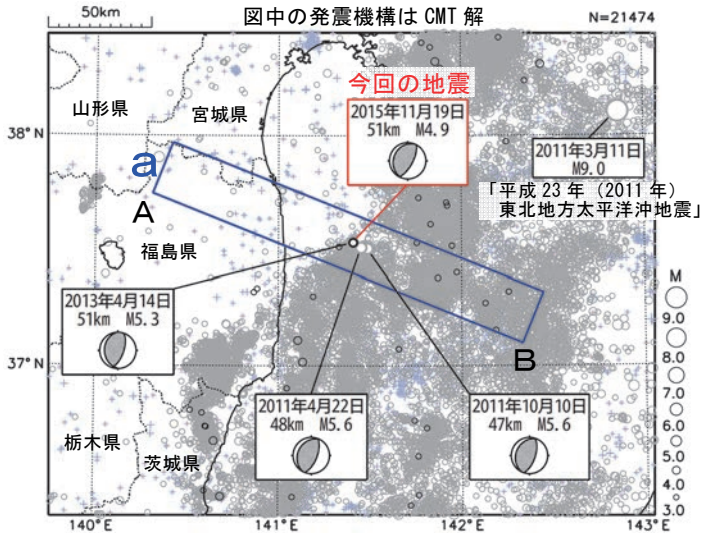


11 月 19 日 福島県沖の地震

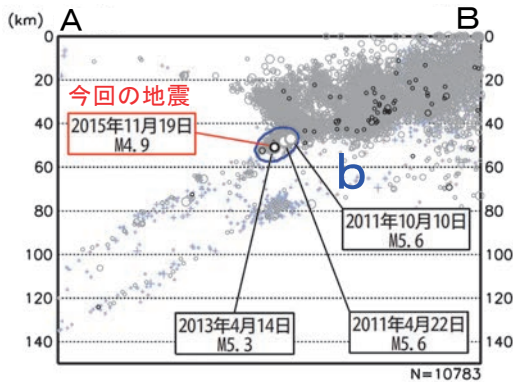
震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、
2015 年 11 月の地震を濃い○で表示

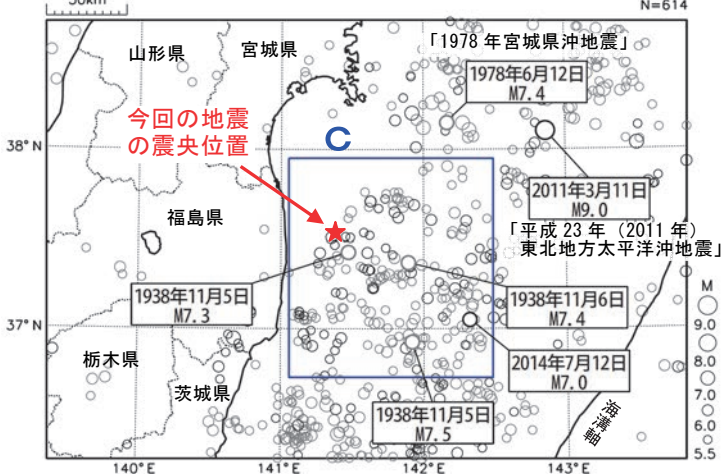
図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の断面図（A－B 投影）、 $M \geq 2.0$



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.5$)
2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

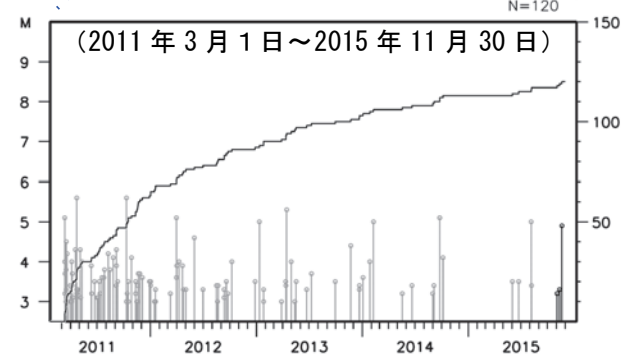
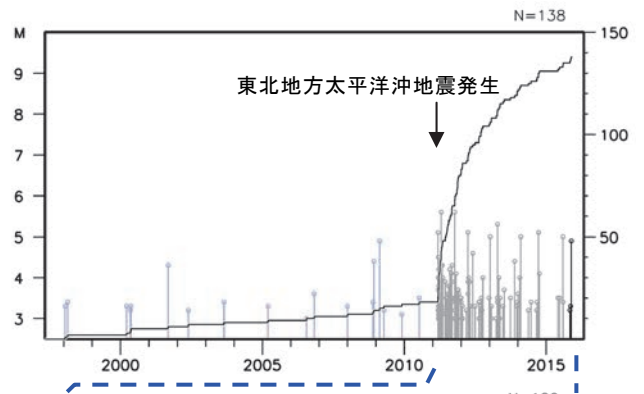


2015 年 11 月 19 日 18 時 33 分に福島県沖の深さ 51km で $M 4.9$ の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

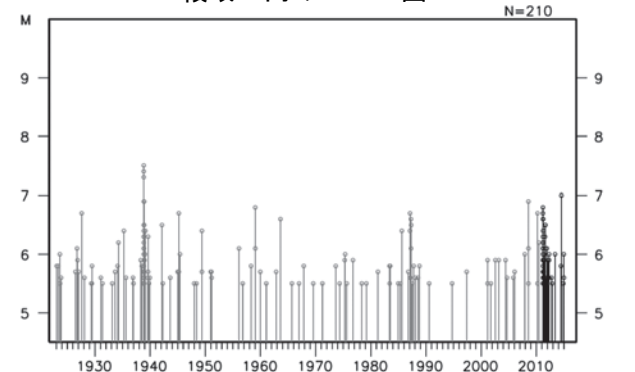
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化しており、 $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、1938 年 11 月 5 日に $M 7.5$ の地震が発生し、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花巻で 113cm（全振幅）の津波が観測された（「日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M－T 図及び回数積算図、 $M \geq 3.0$



領域 c 内の M－T 図



○関東・中部地方の地震活動

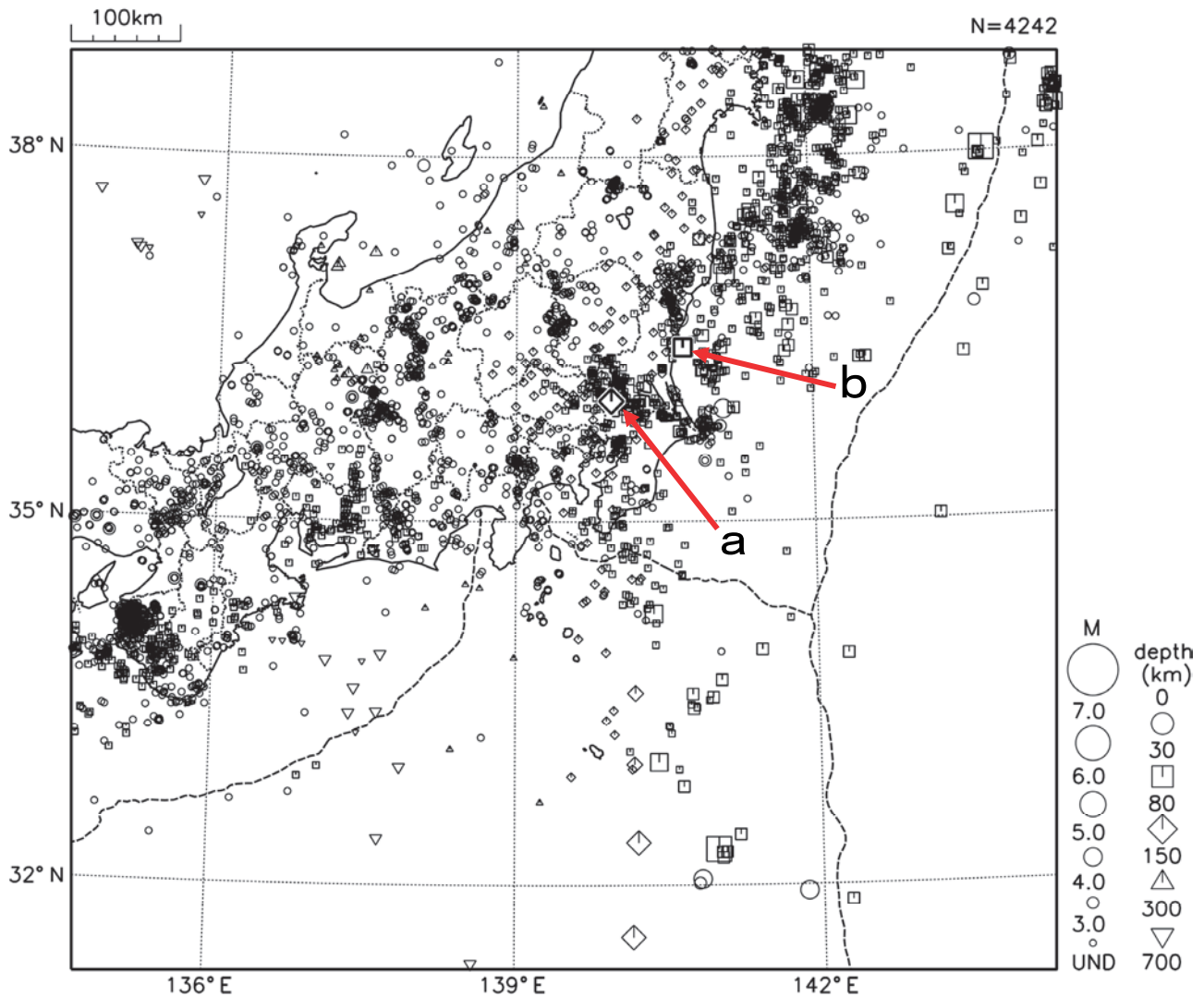


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年11月1日～11月30日）

[概況]

11月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は52回（10月は48回）であった。11月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 8の図5、p. 9参照）。

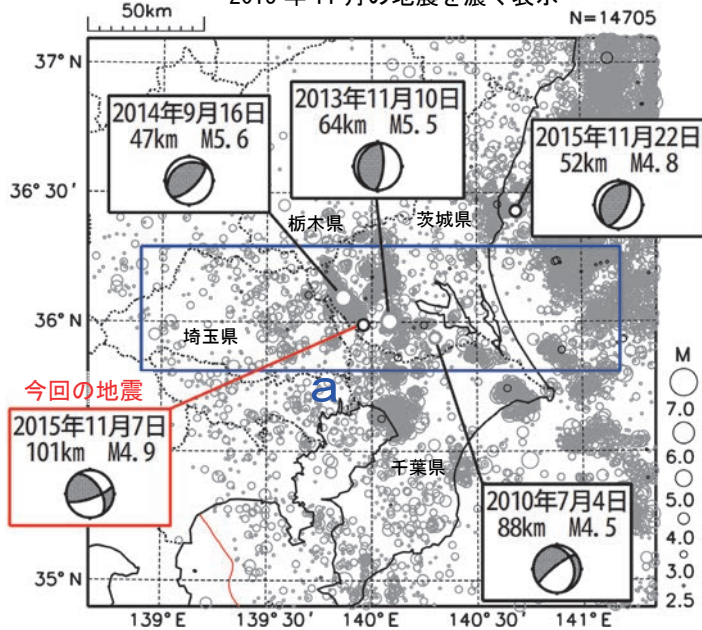
7日22時44分に茨城県南部の深さ101kmでM4.9の地震（図6中のa）が発生し、栃木県下野市で震度4を観測したほか、東北地方の一部、関東甲信越地方、静岡県で震度3～1を観測した（p. 4、13参照）。

22日08時20分に茨城県沖の深さ52kmでM4.8の地震（図6中のb）が発生し、茨城県で震度4を観測したほか、東北地方の一部、関東地方で震度3～1を観測した（p. 5、14参照）。

11 月 7 日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 30～150km、 $M \geq 2.5$)
2015 年 11 月の地震を濃く表示

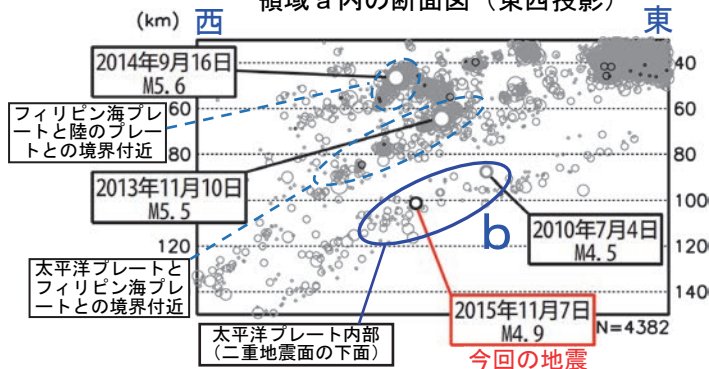


2015 年 11 月 7 日 22 時 44 分に茨城県南部の深さ 101km で M4.9 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

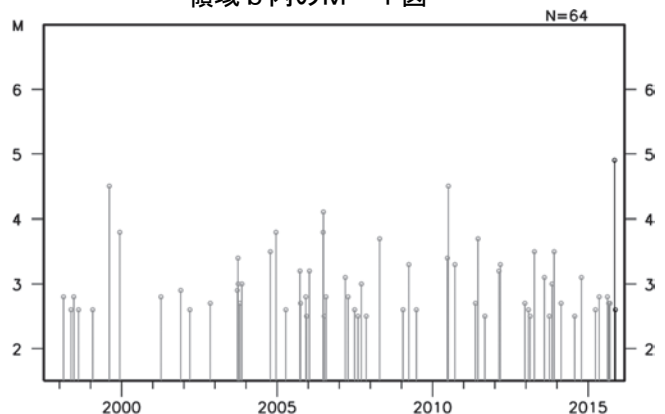
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源より 50km 程度浅い領域（フィリピン海プレートと陸のプレートとの境界付近）、及び 35km 程度浅い領域（太平洋プレートとフィリピン海プレートとの境界付近）では、それぞれ 2014 年 9 月 16 日に M5.6 の地震、2013 年 11 月 10 日に M5.5 の地震（共に最大震度 5 弱）が発生しているが、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M5.0 以上の地震は発生していない。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、M6 程度の地震が時々発生している。1983 年 2 月 27 日に発生した M6.0 の地震（最大震度 4）では、負傷者 11 人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の断面図（東西投影）

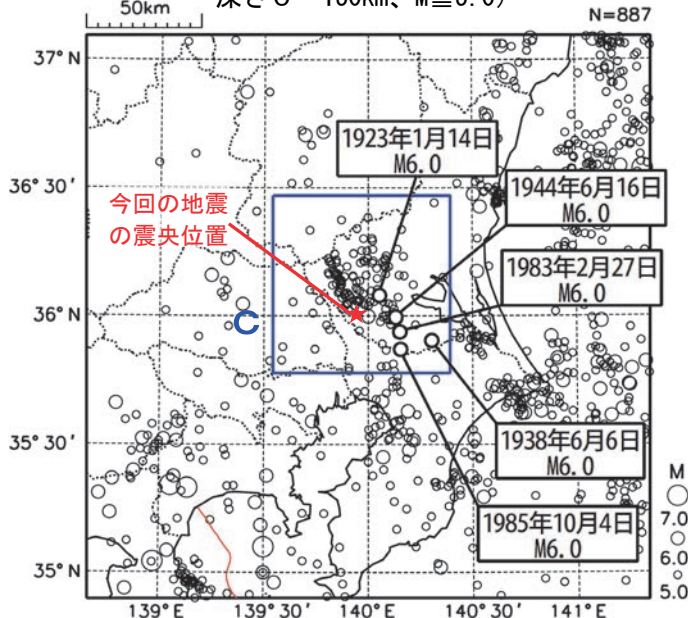


領域 b 内の M-T 図

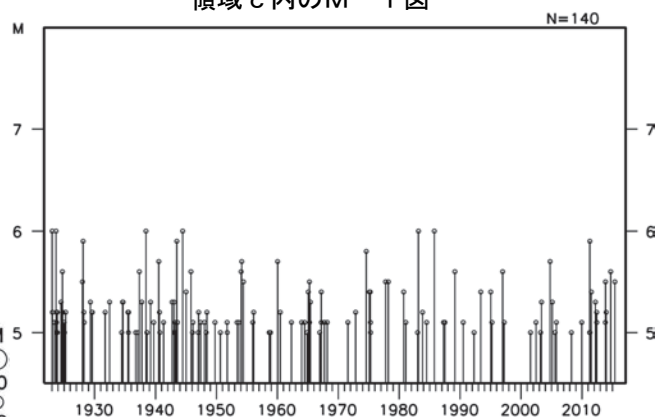


震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図

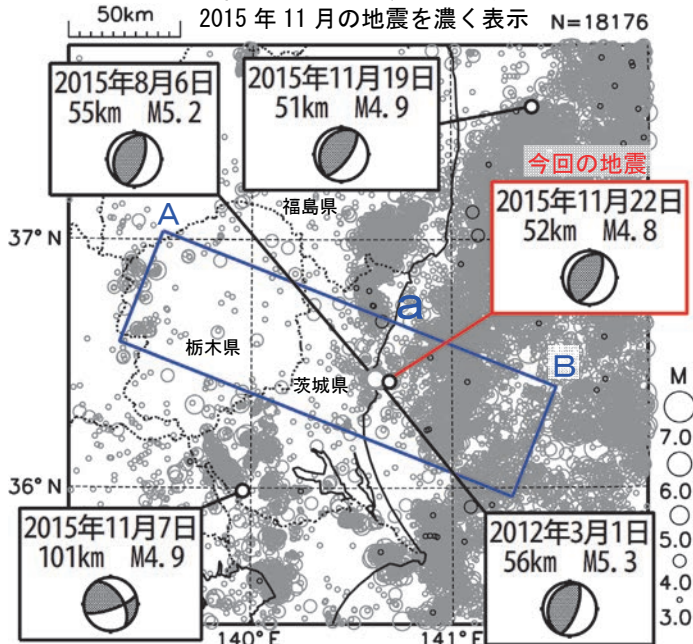
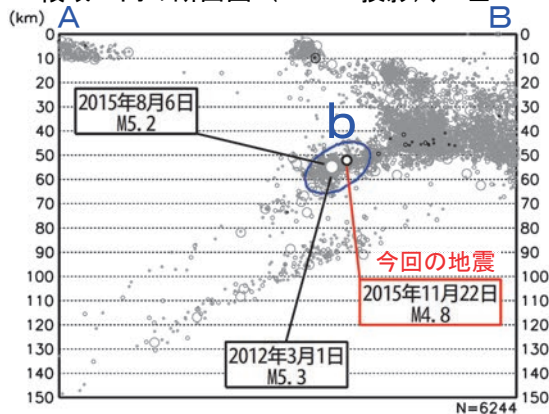


11 月 22 日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)

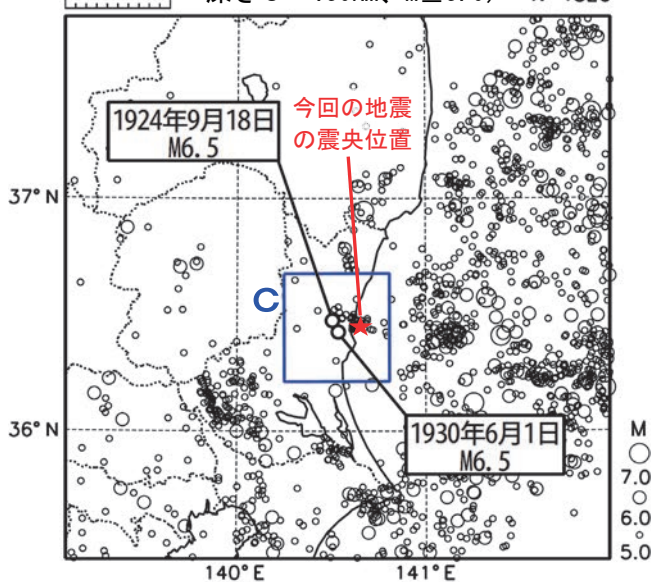
2015 年 11 月の地震を濃く表示 N=18176

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)、 $M \geq 2.5$ 

震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

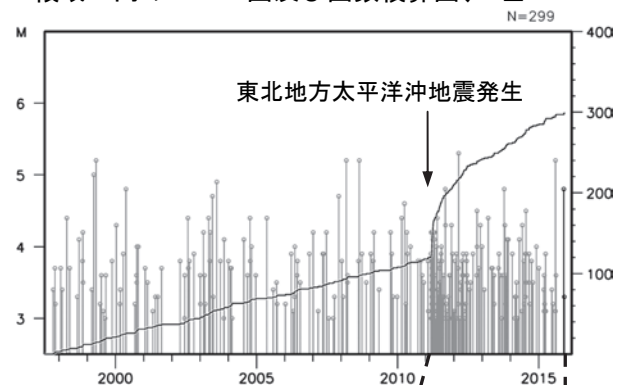
N=1326



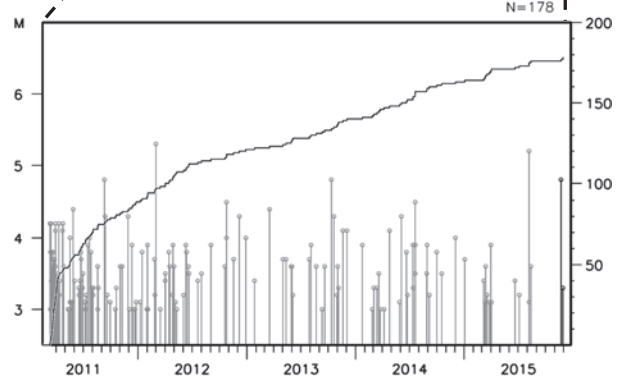
2015 年 11 月 22 日 08 時 20 分に茨城県沖の深さ 52km で M4.8 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）は、M5.0 以上の地震が時々発生している。「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012 年 3 月 1 日には M5.3 の地震（最大震度 5 弱）が発生している。

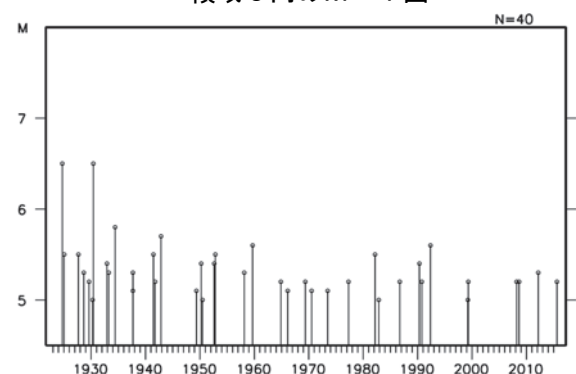
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 c）では、M5.0 以上の地震が度々発生しており、このうち、1930 年 6 月 1 日に発生した M6.5 の地震（最大震度 5）では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図、 $M \geq 3.0$ 

(2011 年 3 月 11 日～2015 年 11 月 30 日)



領域 c 内の M-T 図



○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

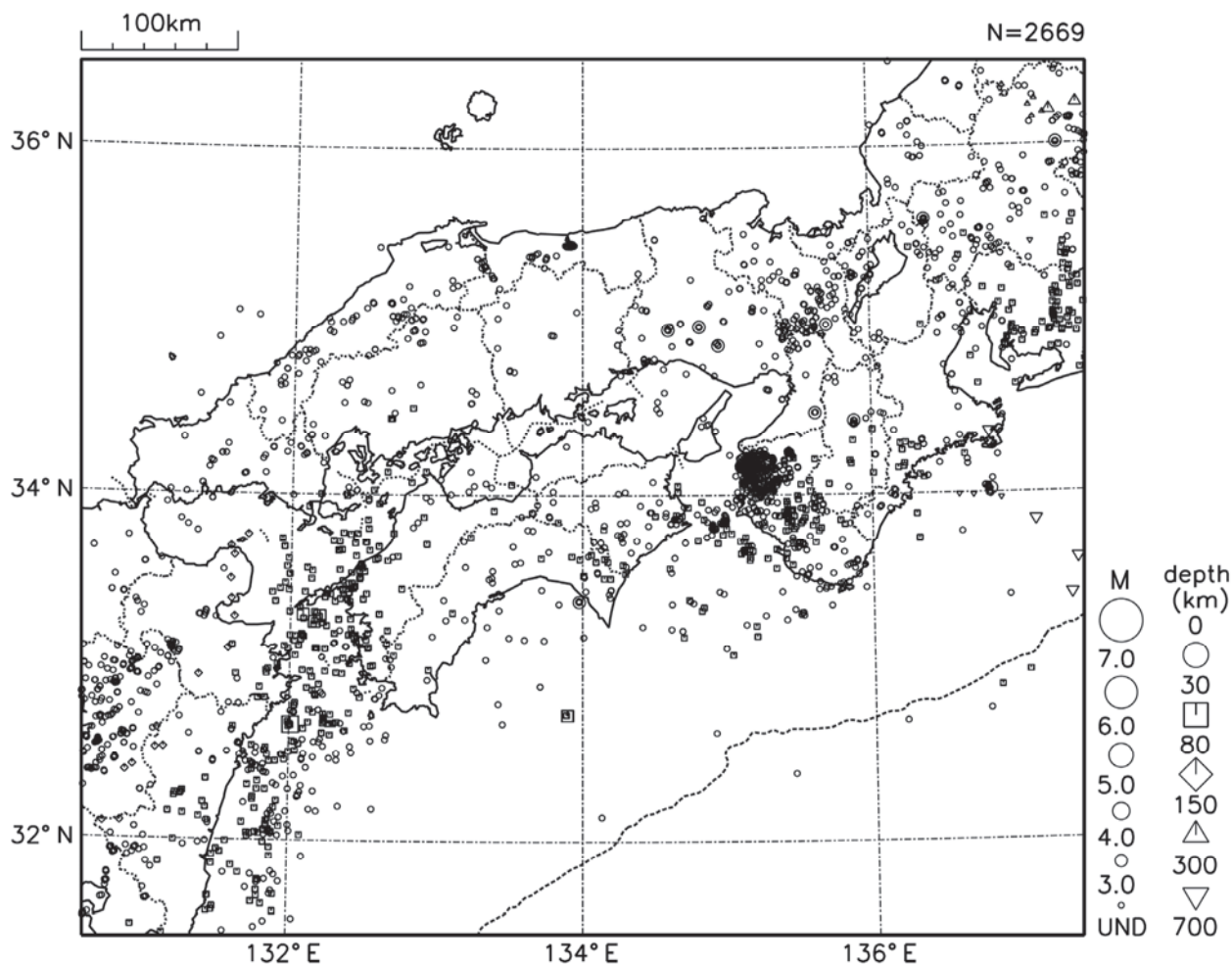


図 7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2015 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

[概況]

11 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 27 回（10 月は 41 回）であった。
11 月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

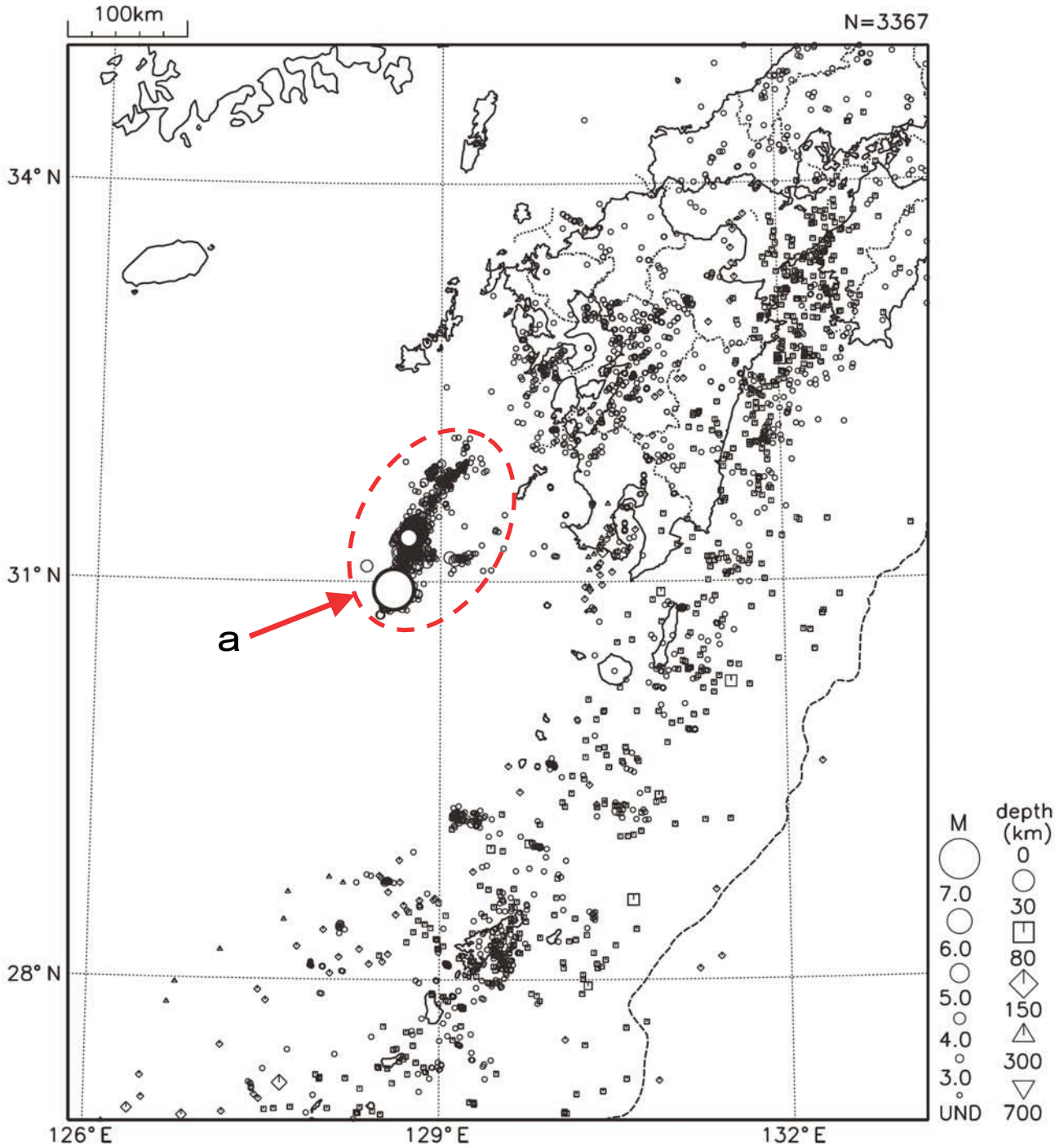


図 8 九州地方の震央分布図（2015 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

[概況]

11 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 38 回（10 月は 16 回）であった。

11 月中の主な活動は次のとおりである。

14 日 05 時 51 分に薩摩半島西方沖（図 8 中の領域 a）で M7.1 の地震が発生し、佐賀県と鹿児島県で震度 4 を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度 3～1 を観測した。この地震により、鹿児島県トカラ列島の中之島で津波を観測した。

この地震発生以降、15 日 04 時 20 分に M5.9 の地震（最大震度 3）が発生するなど、地震活動が活発になった（詳細は特集ページ（p. 50～58）を参照）。

○沖縄地方の地震活動

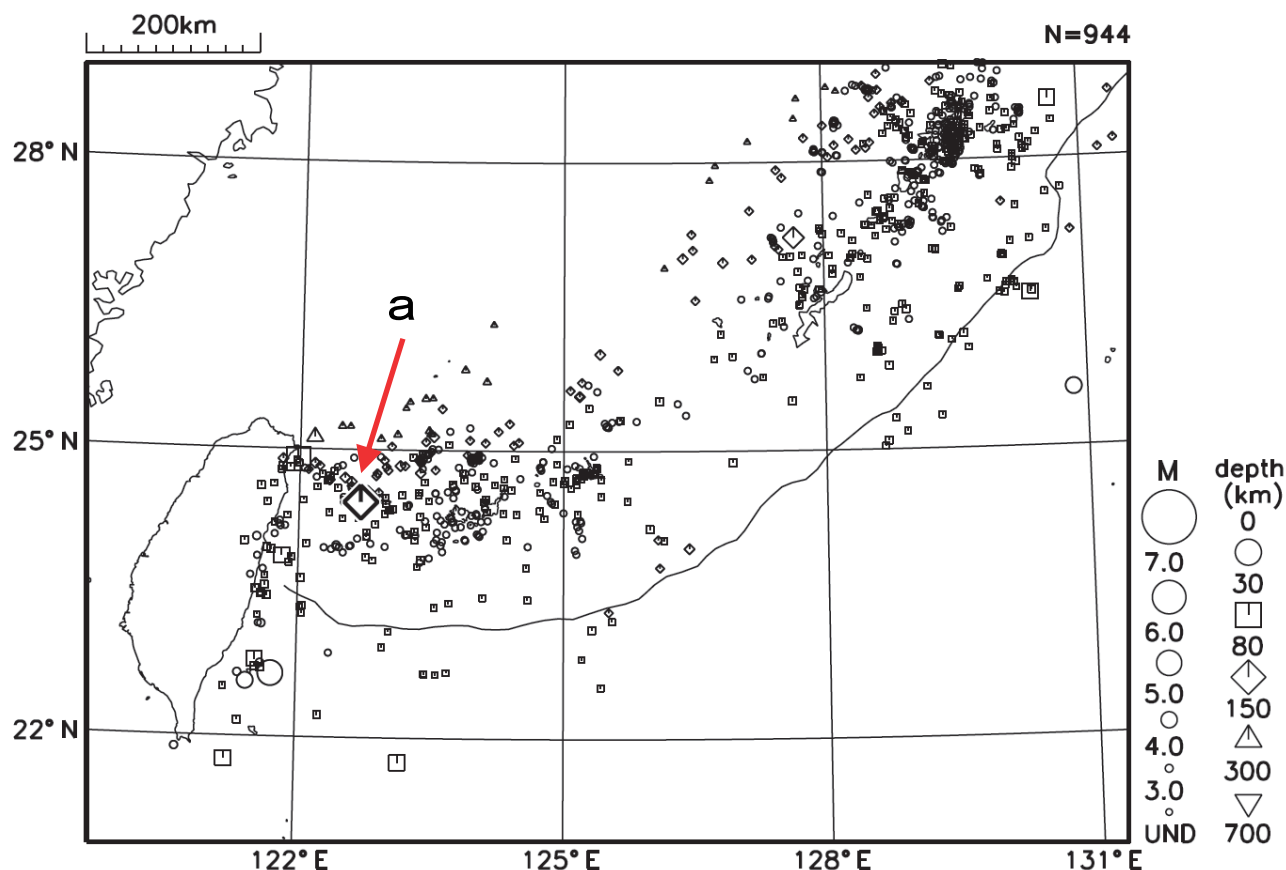


図9 沖縄地方の震央分布図（2015 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

[概況]

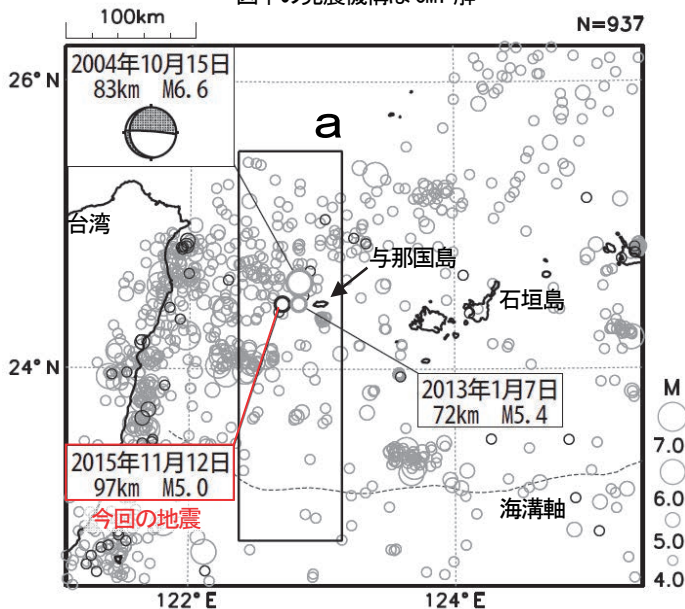
11 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 2 回（10 月は 3 回）であった。
11 月中の主な活動は次のとおりである。

12 日 00 時 33 分に与那国島近海の深さ 97km で M5.0 の地震（図 9 中の a）が発生し、沖縄県与那国町（与那国島）で震度 3 を観測したほか、石垣島から与那国島にかけて震度 2～1 を観測した（p. 4、18 参照）。

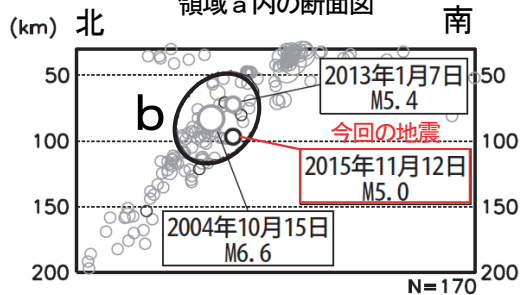
11 月 12 日 与那国島近海の地震

震央分布図

(2000 年 7 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 30～200km、 $M \geq 4.0$)
2015 年 1 月 1 日以降の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

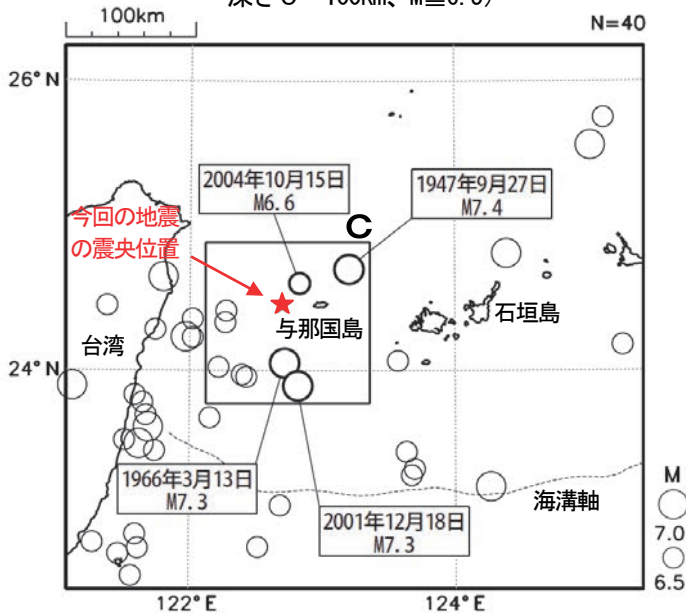


領域 a 内の断面図



震央分布図

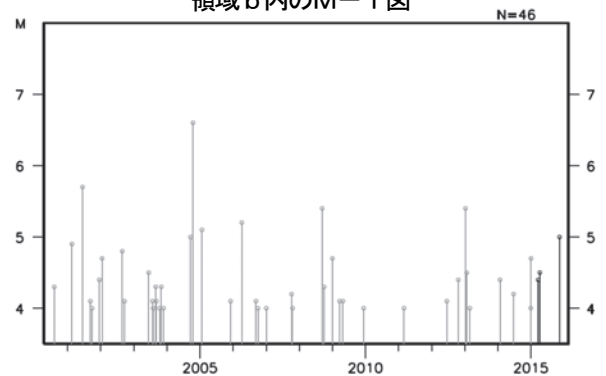
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 6.5$)



2015年11月12日00時33分に与那国島近海(与那国島の西約30km)の深さ97kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

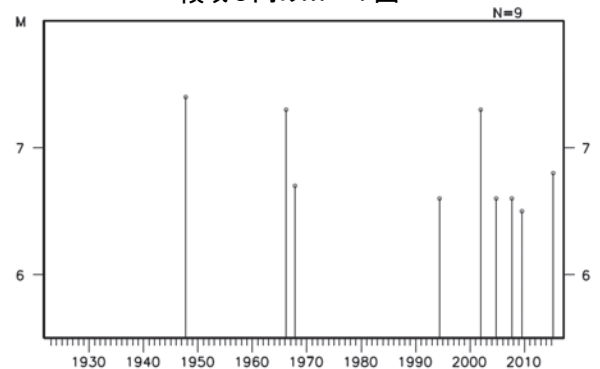
2000年7月以降の活動を見ると、この地震の震源付近(領域b)では、2004年10月15日にM6.6の地震(最大震度5弱)が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1947年9月27日にM7.4の地震が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人などの被害が生じた。1966年3月13日にM7.3の地震が発生し、与那国島で死者2人、家屋の全半壊などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。2001年12月18日に発生した地震(M7.3、最大震度4)では、与那国島で12cmなどの津波を観測した。

領域 c 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)

○その他の地域の地震活動

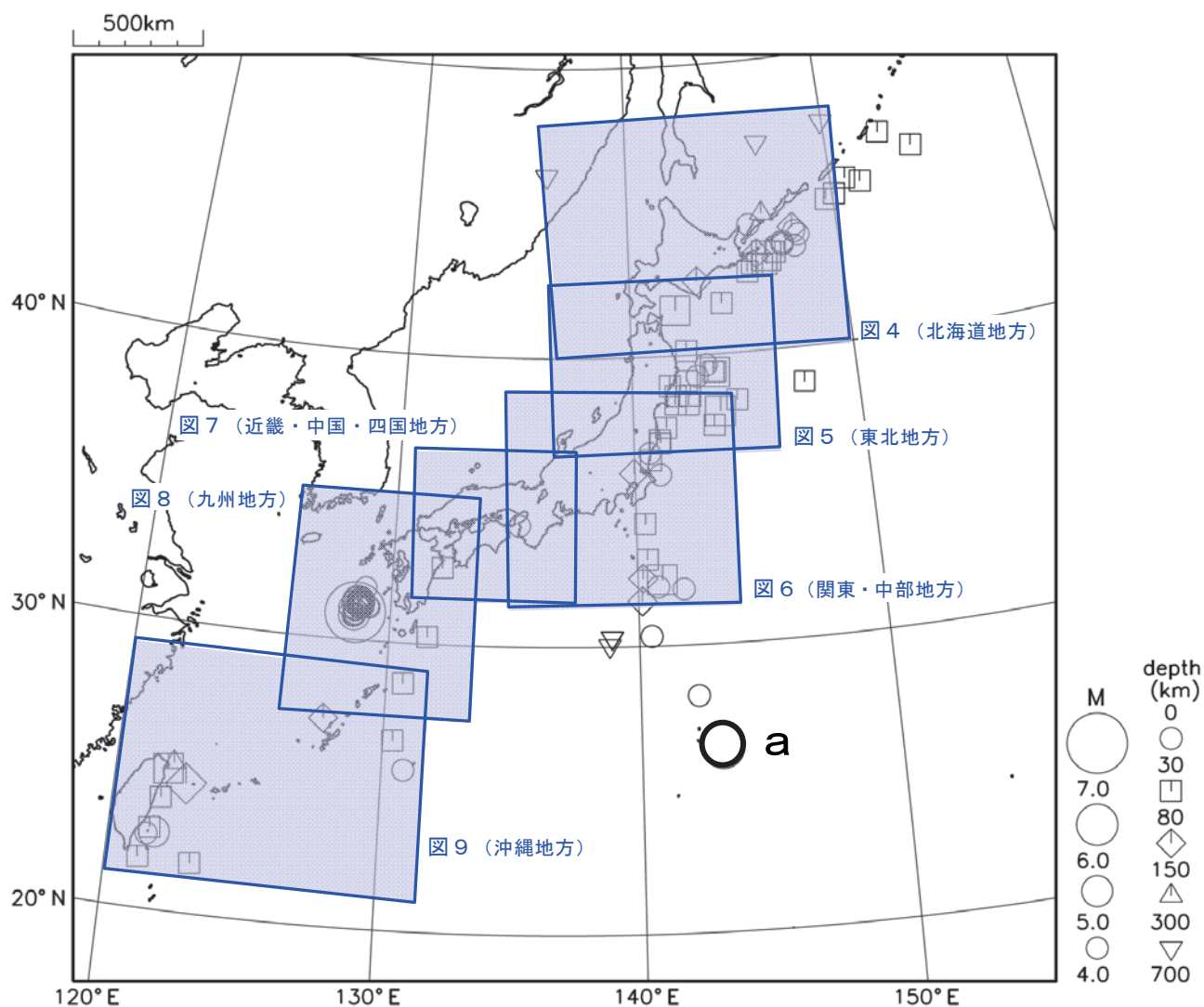


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2015 年 11 月 1 日～11 月 30 日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

11 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 2 回であった（10 月はなかった）。

11 月中、図 4～9 の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

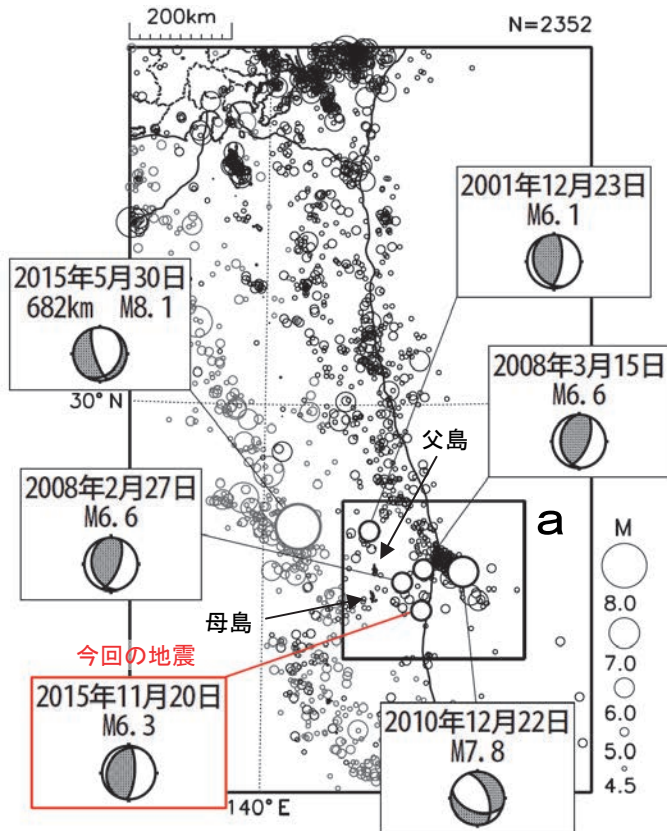
20 日 14 時 31 分に父島近海で $M6.3$ の地震（図 10 中の a）が発生し、東京都小笠原村（母島、父島）で震度 2 を観測した（p. 5、20 参照）。

11 月 20 日 父島近海の地震

情報発表に用いた震央地名は「硫黄島近海」である。

震央分布図

(2000 年 4 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～700km、 $M \geq 4.5$)
100km より浅い地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



2015 年 11 月 20 日 14 時 31 分に父島近海で M6.3 の地震（最大震度 2）が発生した。発震機構（CMT 解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

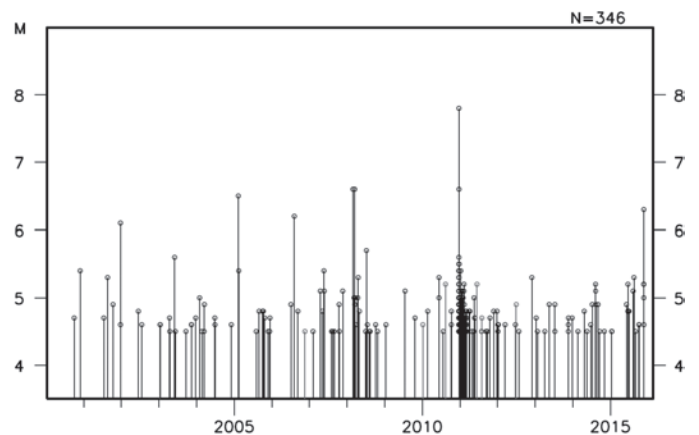
ほぼ同じ場所で、震度 1 以上を観測した地震が今回の地震を含めて 5 回発生した。

2000 年 4 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。

今回の地震の震央から約 100km 北東側に離れた場所では、2010 年 12 月 22 日に M7.8（最大震度 4）の地震が発生し、八丈島八重根で 0.5m、父島二見で 22cm などの津波を観測した。

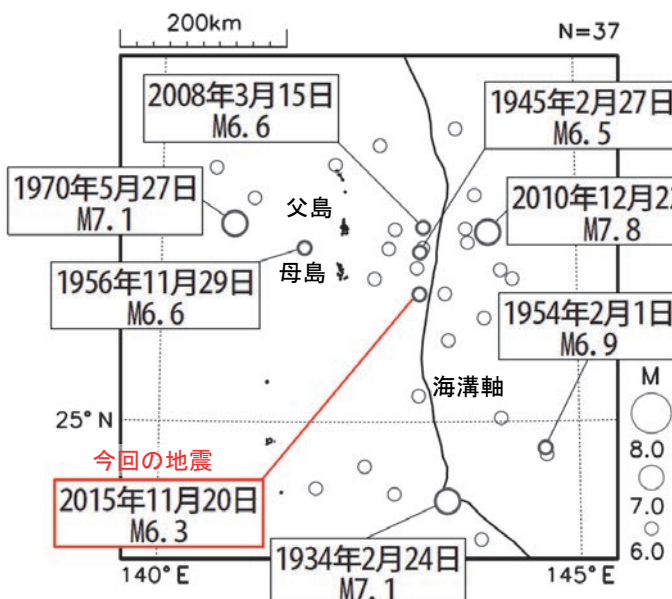
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（左下の震央分布図の範囲）では、M6.5 以上の地震が時々発生している。

領域 a 内の M-T 図

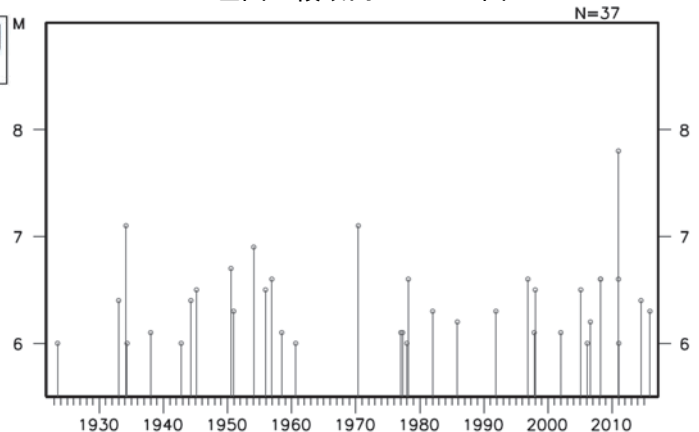


震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～400km、 $M \geq 6.0$)



左図の領域内の M-T 図



●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

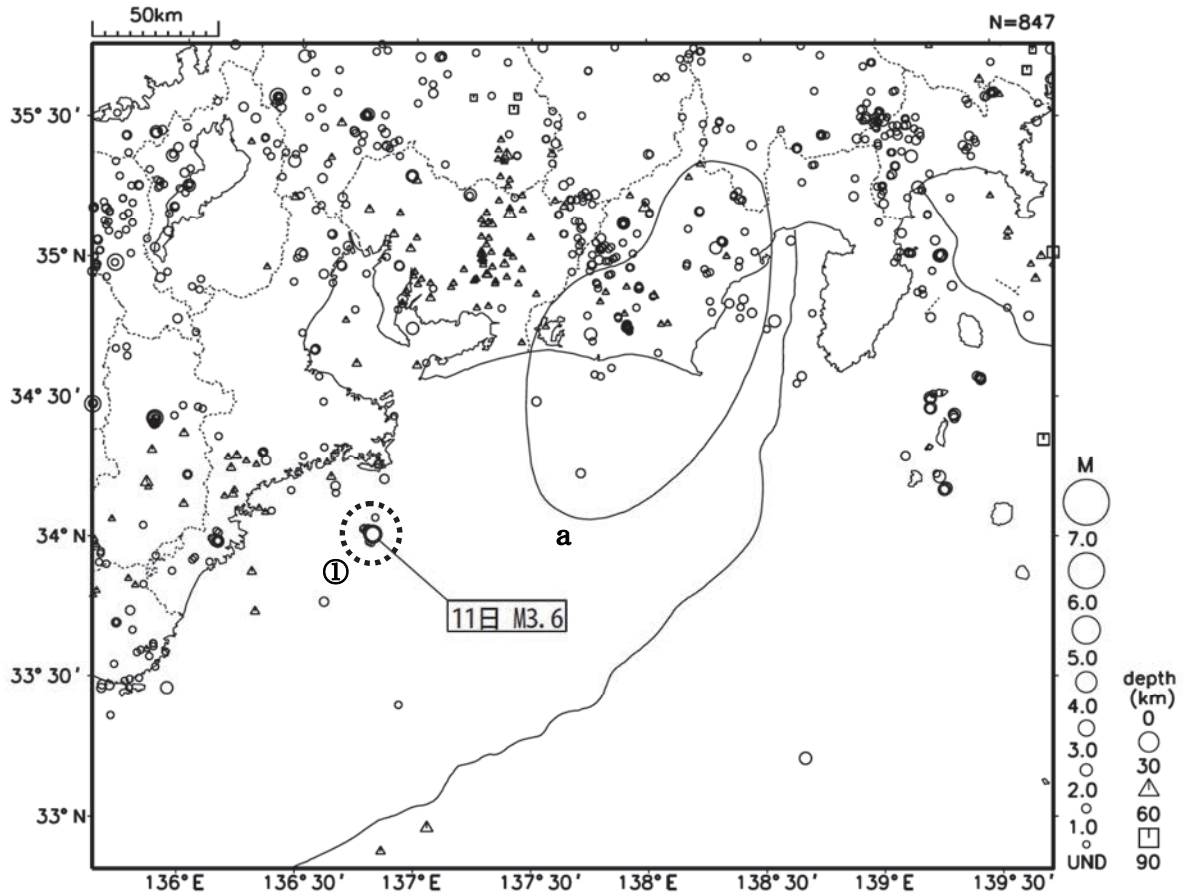


図1 震央分布図（2015年11月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

特に目立った活動はなかった。

- ① 11月5日から、三重県南東沖で、ややまとまった地震活動が見られた。11月末までの最大規模の地震は、11月11日13時51分のM3.6の地震（深さ24km、最大震度1）である。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

11 月 17 日に気象庁において第 355 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した（図 2～図 8）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度の低い状態が続いています。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNSS観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在も継続しています。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

なお、GNSS観測の結果によると「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、前回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008) * によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

* Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

(参考)

2015年11月11日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域	余震 除去
短期活動指数	5	2	7	5	1	2	2	4	3
短期地震回数 (平均)	6 (5.29)	3 (7.00)	19 (13.16)	16 (14.15)	1 (6.16)	0 (2.46)	1 (3.70)	5 (6.06)	2 (3.89)
中期活動指数	7	3	4	4	2	5	1	4	4
中期地震回数 (平均)	25 (15.87)	16 (21.00)	41 (39.48)	44 (42.44)	8 (12.32)	6 (4.93)	2 (7.39)	13 (12.12)	7 (7.79)

* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M $\geq$ 1.1、駿河湾：M $\geq$ 1.4

* クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$

駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$

* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

* 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、

浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

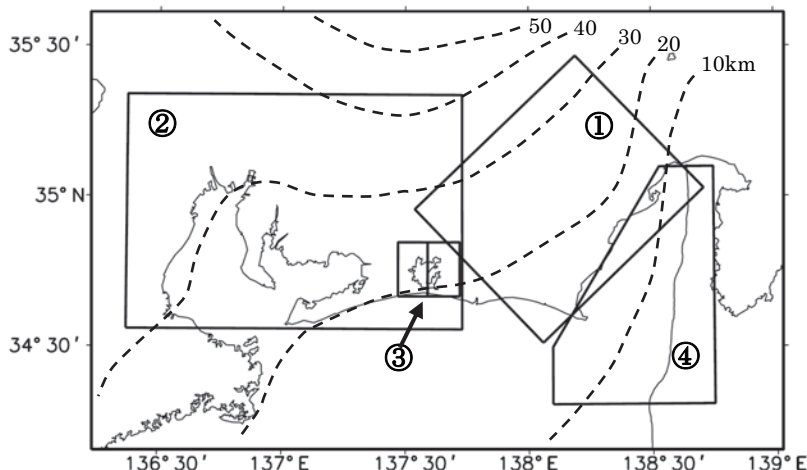
[各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	
4	40	ほぼ平常
3	15	
2	10	
1	4	やや少ない
0	1	
		少ない

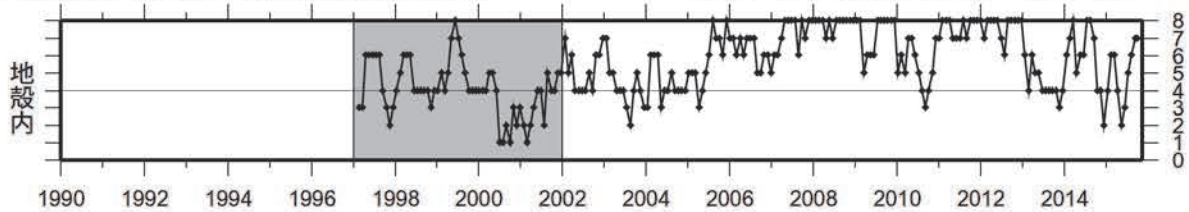
図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

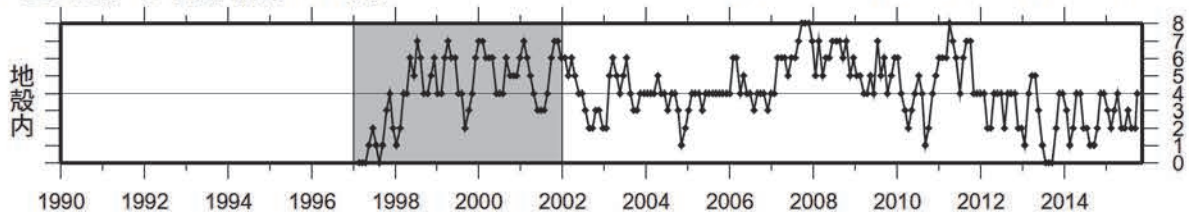
① 静岡県中西部（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2015/11/11 M ≥ 1.1



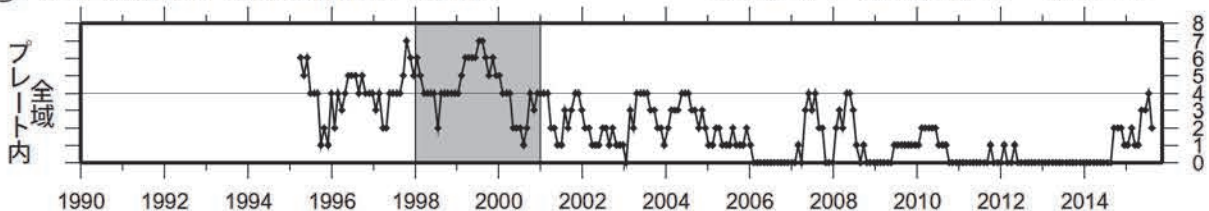
② 愛知県（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2015/11/11 M ≥ 1.1



③ 浜名湖周辺（対象期間：180日）

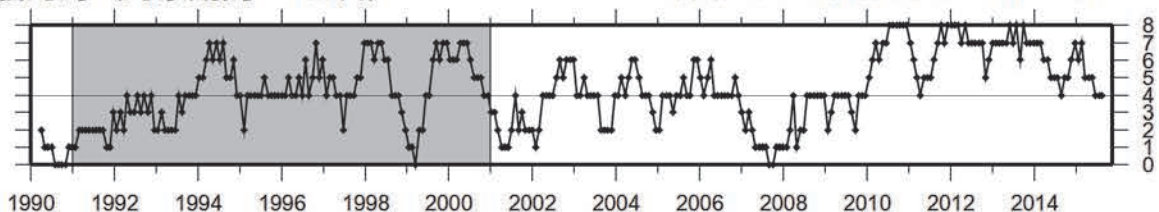
1995/ 1/ 1~2015/11/11 M ≥ 1.1



少ない
(継続中)

④ 駿河湾（対象期間：180日）

1990/ 1/ 1~2015/11/11 M ≥ 1.4



2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除去した場合

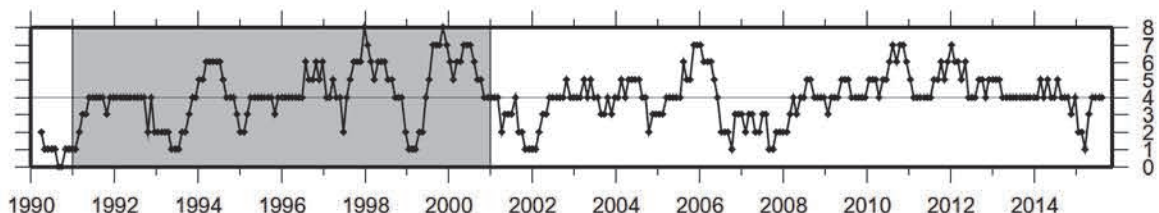


図3 東海地域の地震活動指数の推移

■：基準期間

／：地震活動指数（0－8）

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動（2000 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 11 日）

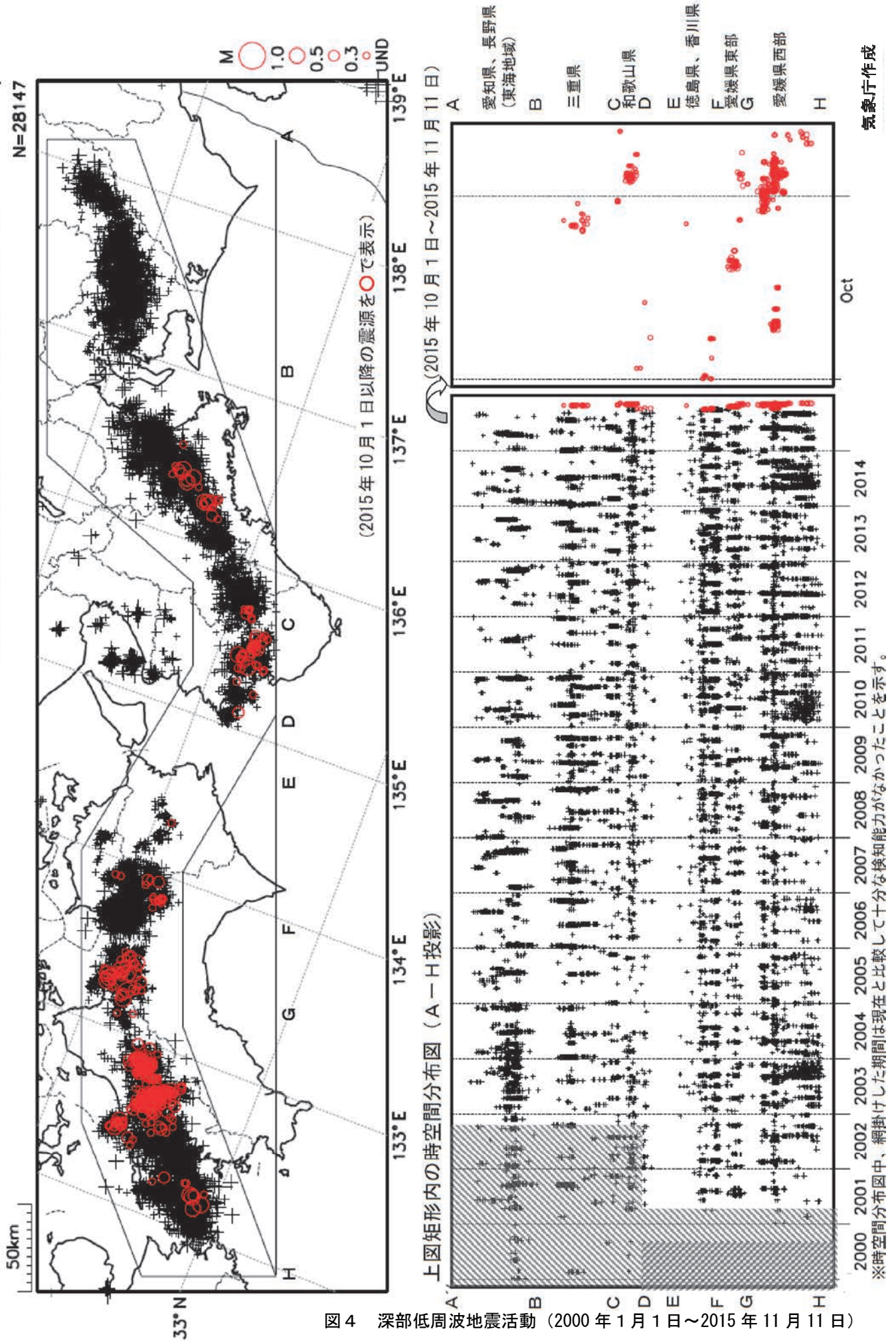


図 4 深部低周波地震活動（2000 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 11 日）

ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのモデル推定

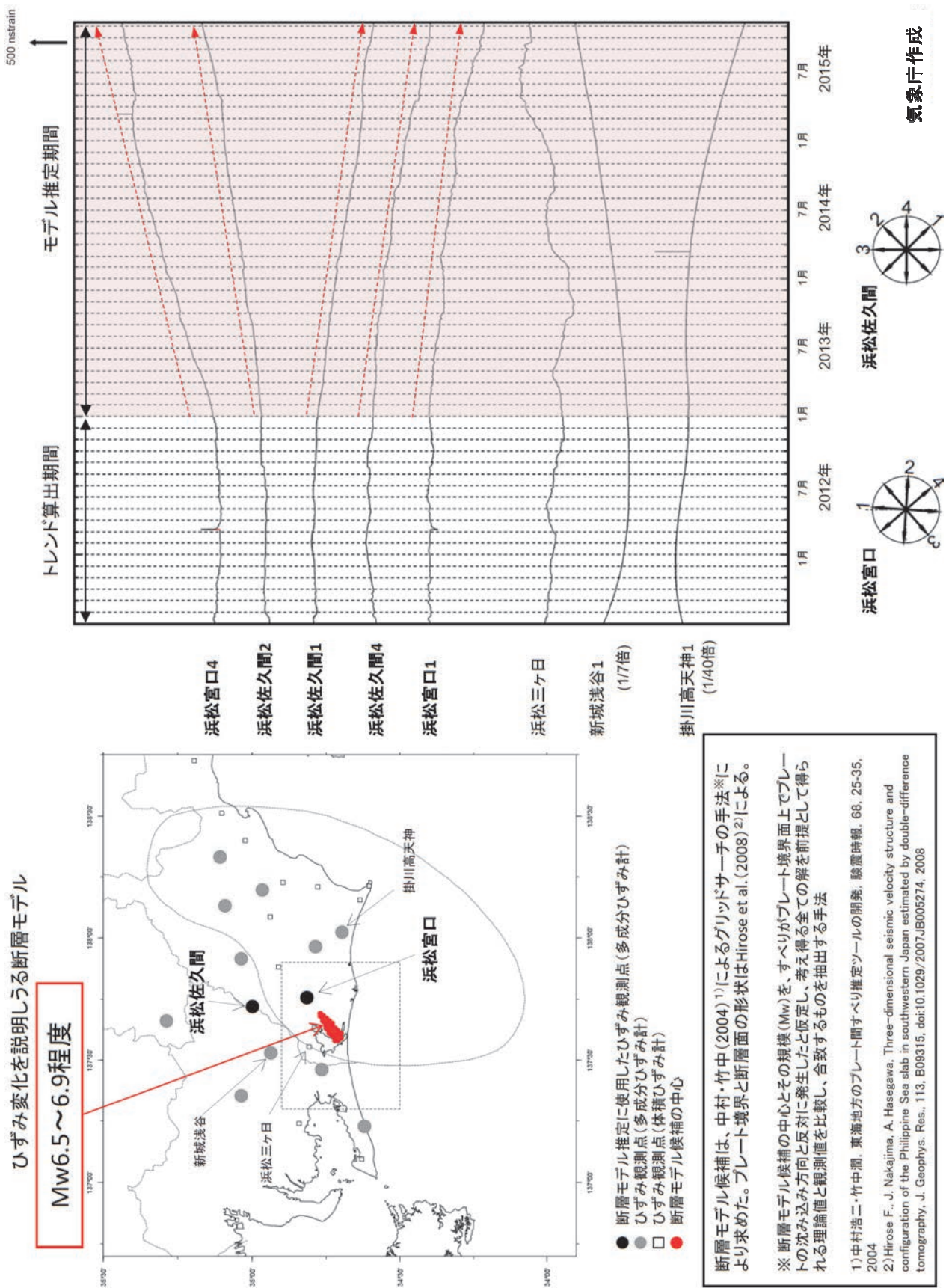
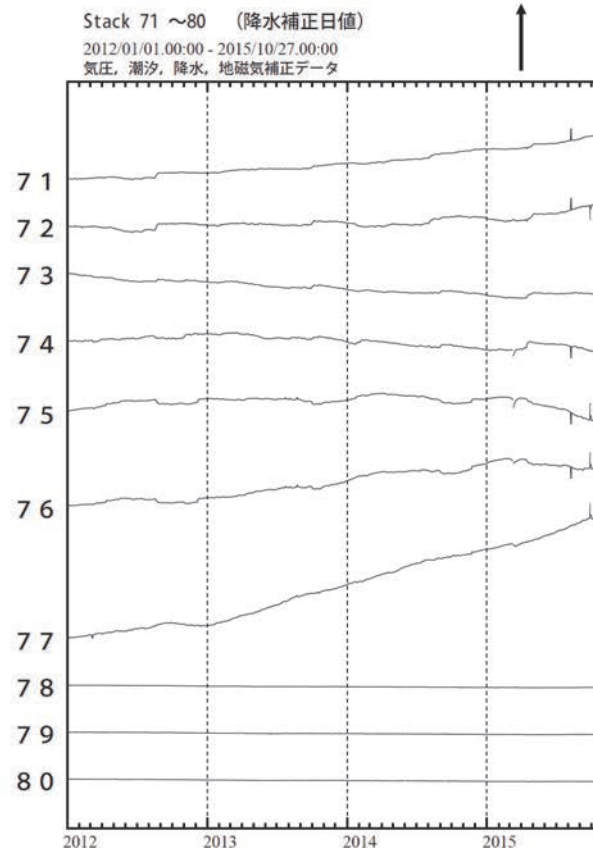
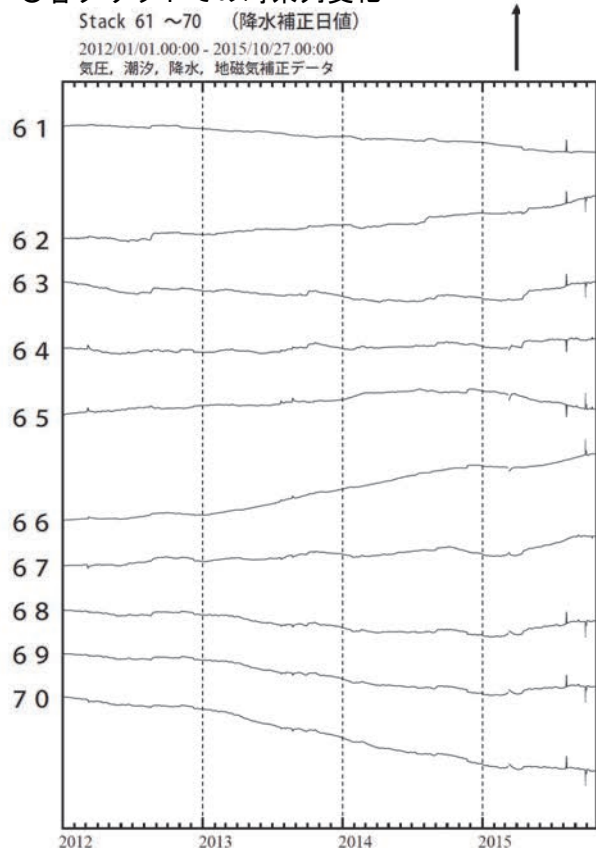


図5 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

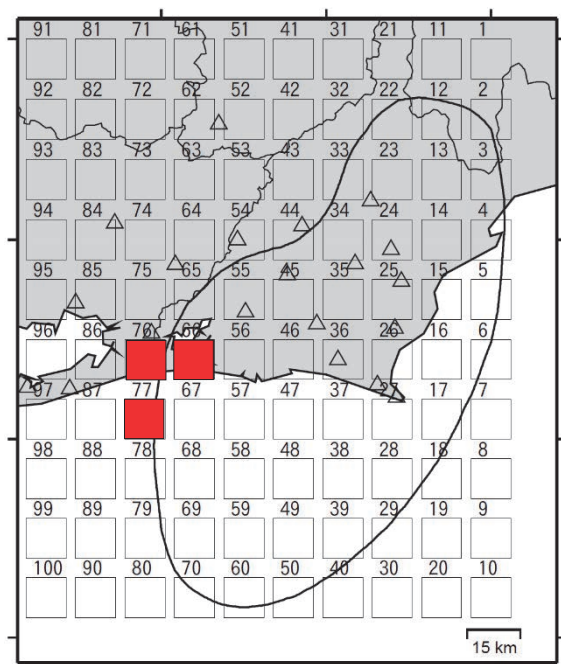
スタッキング*による長期的ゆっくりすべりの検出について

○各グリッドでの時系列変化



日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（左下図参照）を示す。

データ : 補正日値（体積ひずみ計とアナログ式多成分ひずみ計）
ノイズレベル : 2011 年 6 月～2012 年 12 月の、60 日階差（単純な階差）の標準偏差
理論値計算 : 0.15° ごとの各グリッドを中心とする、20×20km の断層



グリッド配置及びすべり位置

グリッド No.66, 76 及び No.77 に明瞭な変化が見られている。総すべり量は Mw6.6 相当となる。

スタッキンググリッド

*スタッキング手法は、ひずみ計のデータを重ね合わせることによって、微小な地殻変動のシグナルを強調させて、検知能力を向上させる解析方法である。

参考文献

宮岡一樹, 横田 崇 (2012): 地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発ー東海地域のひずみ計データによるプレート境界すべり早期検知への適用ー, 2012, 地震 2, 65, 205-218.

図 6 スタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出

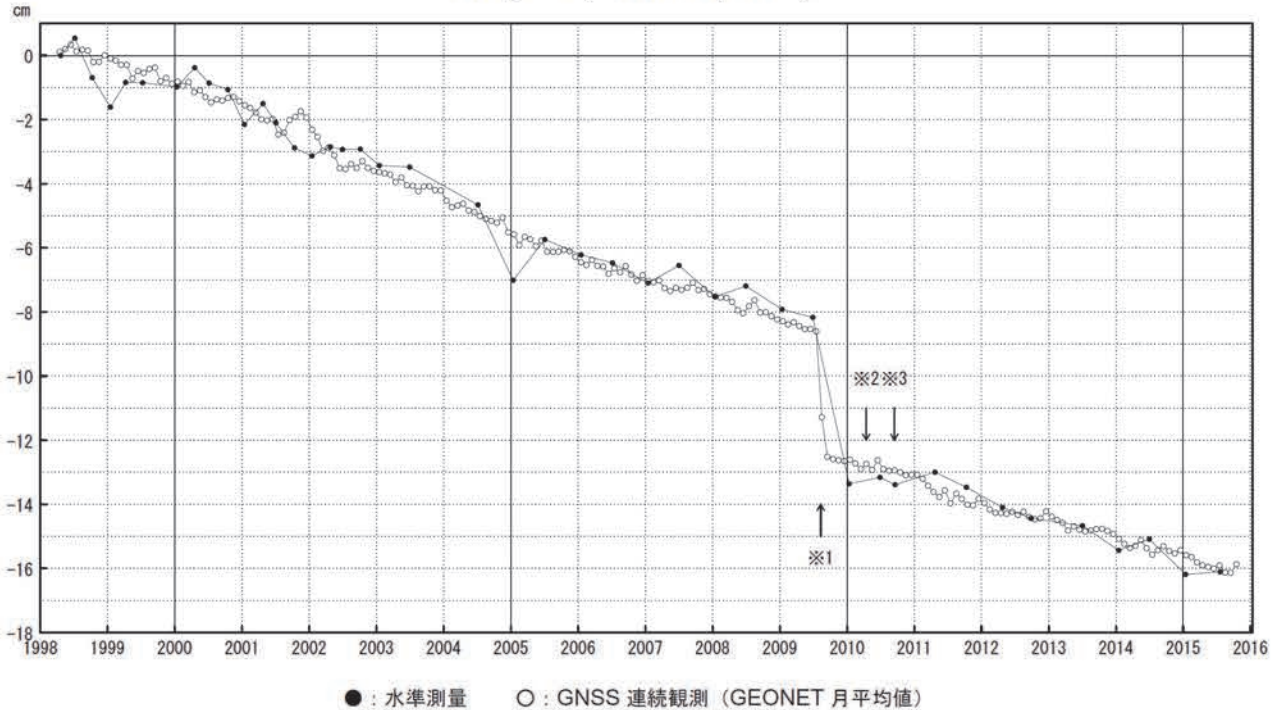
気象庁・気象研究所作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

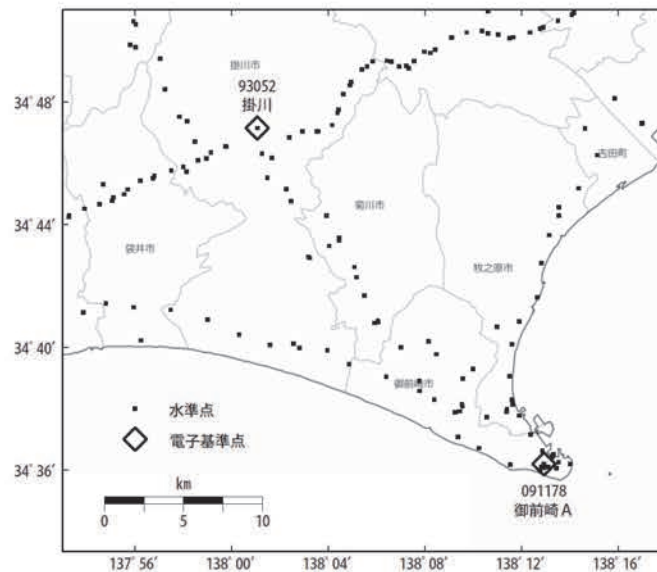
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 10/01～10/24 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。

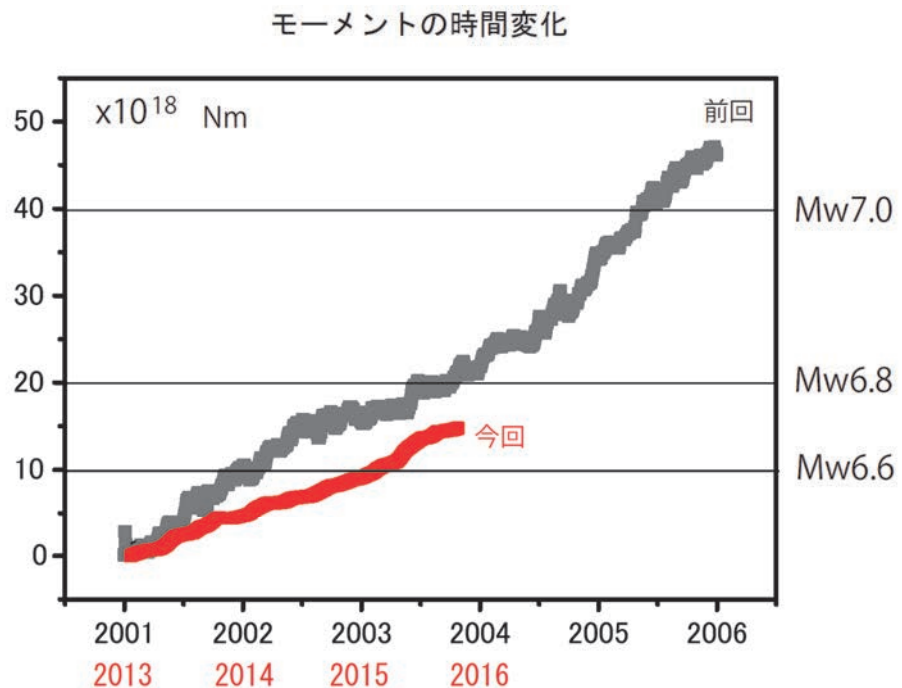
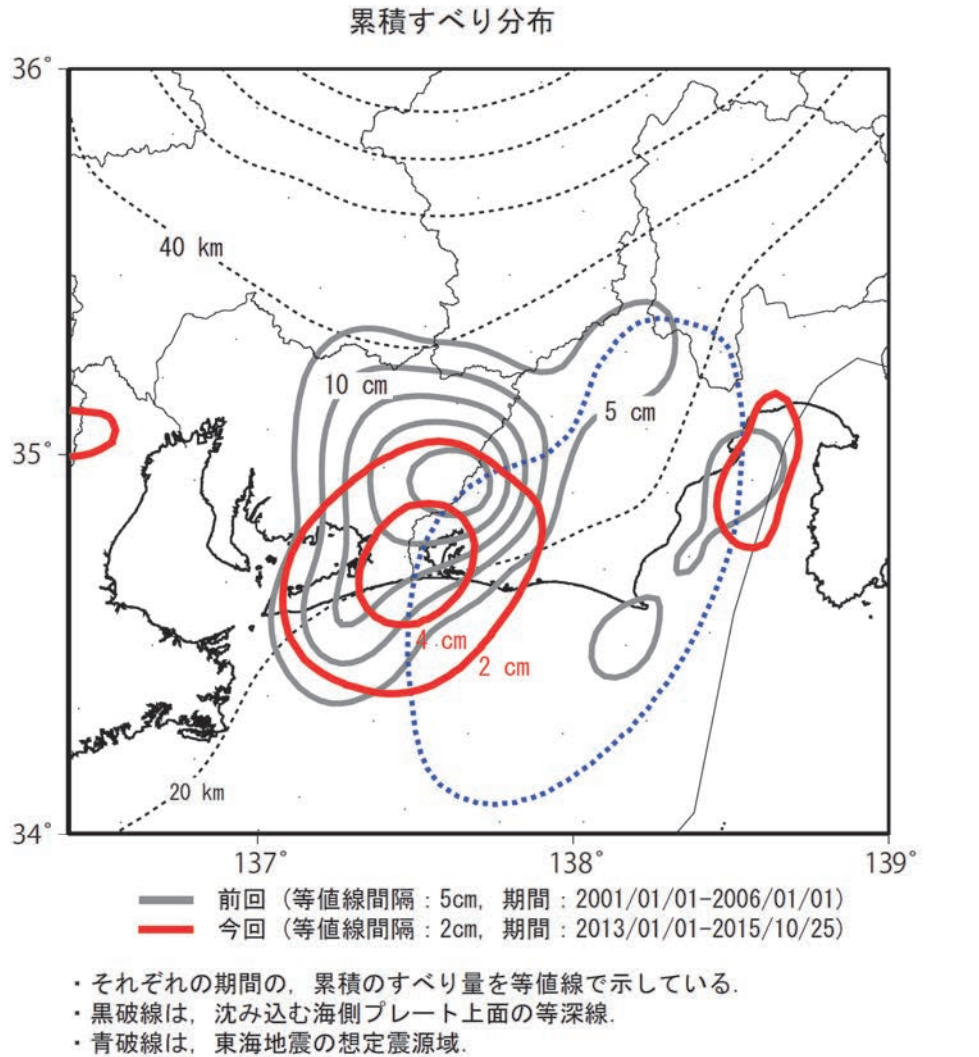


国土地理院

図 7 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

図 8 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する
 非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

国土地理院

● 日本の主な火山活動

口永良部島の新岳では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや少ない状況であった。地殻変動観測では、5 月 29 日の噴火以降に特段の変化は認められない。5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性がある、火砕流に警戒が必要である。火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域（前田地区、向江浜地区）では厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

噴火に伴う大きな噴石の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意が必要である。新岳火口から半径 1.4 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶおそれがあるので、噴火に警戒が必要である。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口からの噴気活動はやや活発な状態が続いている。

遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 100m 以下で経過した。また、2015 年 1 月以降確認している大穴火口外の噴気が引き続きみられている。

13 日に実施した現地調査では、前回（10 月 14 日から 15 日）の調査で新たに観測した一切経山西側登山道沿いの弱い噴気が引き続き認められた。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がある、大穴火口周辺（火口から概ね 500m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続している。東京工業大学によると北側噴気地帯のガス組成及び湯釜湖水の化学成分にも火山活動の活発化を示す変化が継続している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。

山頂直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震は多い状態が続いている。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も多い状態で経過しており、引き続き火山活動はやや活発な状態で経過している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、火山性地震は少ない状態で経過しているが、昨年（2014 年）8 月以前の状況には戻っていない。御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年 10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山の中岳第一火口では、10 月 23 日に噴火が発生して以降、噴火は発生していない。

火山活動の活発時にみられていた火山性微動の振幅の増大は 10 月 23 日以降、概ね小さな状態となった。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態が続いていたが、10 月下旬以降は減少している。

これらのことから、火口から 1 km を超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと

判断し、24 日 14 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げた。

中岳第一火口では、2014 年 11 月以降、活発な火山活動が続いてきたことから、当分の間は火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要である。

霧島山（新燃岳）付近を震源とする火山性地震が時々発生した。

GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞している。一方、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向がみられていたが、10 月頃から停滞している。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

桜島の昭和火口では、9 月 17 日以降爆発的噴火は発生しておらず、9 月 29 日以降は、南岳山頂火口を含めて小規模な噴火も観測されていない。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過し、山体の膨張を示す地殻変動はみられていない。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少なくなっている。これらのことから、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 1 km を超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性が低くなったと考えられるため、25 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げた。

火山活動は低下しているが、これまでも噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると考えられる。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、1 日と 20 日に噴火が発生した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

雌阿寒岳では、ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする体には感じない微小な火山性地震は少ない状態で経過している。また、2 日から 5 日にかけて実施した現地調査では、10 月 1 日の調査と比較して地熱域のさらなる拡大等は観測されず、過去の活動と比較して熱活動の高まりは小規模なものに留まっており、ポンマチネシリ火口から約 500m の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられる。

これらのことから、13 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

なお、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力の変化は継続しているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

蔵王山では、火山性微動が 3 回発生した。そのうち、30 日に発生した火山性微動は継続時間のやや長いものであった。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

箱根山では、大涌谷で 7 月 1 日にごく小規模な噴火が発生した以降、噴火は観測されていない。

地震活動は低下傾向が続いており、ほぼ 4 月の活動活発化以前の状態となっている。国土地理院の GNSS 連続観測でみられていた山体の膨張を示す地殻変動も、8 月下旬頃から停滞し、その後特段の変化はみられていない。また、気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計や体積ひずみ計では、8 月以降火山活動に関連する変動はみられていない。

これらのことから、大涌谷周辺の想定火口域において噴火の可能性は低くなったと判断し、20 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

一方、大涌谷周辺の想定火口域では、緩やかな低下傾向はみられるものの、噴気活動が活発なところがある。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

表 1 11 月 30 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル 5（避難）	口永良部島※
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、 霧島山（新燃岳）、桜島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の活火山

※噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 11 月 30 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

各火山の 11 月の活動解説

【北海道地方】

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕←13 日に噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）から引下げ

2 日から 5 日にかけて実施した現地調査では、10 月 1 日の現地調査と比較して、ポンマチネシリ第 3・第 4 火口の地熱域にさらなる拡大等は認められず、その他の火口の状況についても特段の変化はみられなかった。ポンマチネシリ第 3・第 4 火口の地熱域の広がり、今回の活動と同様に噴煙の増加及び全磁力¹⁾の減少が観測された 2013 年と同程度であり、2008 年噴火前と比較して小規模なものに留まっている。

ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする体には感じない微小な火山性地震は、4 月中旬以降増減を繰り返しながら多い状態となっていたが、8 月以降徐々に減少し、8 月下旬以降は 1 日あたり概ね 10 回以下と少ない状態で経過している。火山性微動は観測されなかった。以上のように、雌阿寒岳ではポンマチネシリ火口から約 500m の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられることから、13 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

なお、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力¹⁾の変化は継続しているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

62-2 火口及び大正火口の噴煙の高さは火口縁上概ね 200m 以下で経過した。

GNSS²⁾ 連続観測では、2006 年以降、62-2 火口直下浅部の膨張を示すと考えられる変動が引き続き認められている。

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

樺前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周

辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

山頂溶岩ドーム周辺では 1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

恵山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

【東北地方】

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

女岳では、2009 年から地熱域の拡大が認められている。

地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられないが、地熱活動が継続しているので今後の火山活動の推移に注意が必要である。

蔵王山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

18 日と 27 日に規模の小さい火山性微動が発生した。30 日に発生した火山性微動は継続時間がやや長く、傾斜計³⁾では微動発生に先行してわずかな南東（山頂の南側）上がりの変化がみられた。この傾斜変化は微動終了後、元に戻っている。微動発生前後に火山性地震は観測されておらず、他のデータにも特段の異常は認められない。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

吾妻山〔火口周辺警戒（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 100m 以下で経過した。また、2015 年 1 月以降確認している大穴火口外の噴気が引き続き見られている。

13 日に実施した現地調査では、前回（10 月 14 日から 15 日）の調査で新たに観測した一切経山西側登山道沿いの弱い噴気が引き続き認められた。噴気孔の周辺には硫黄の昇華物を確認した。

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震は、1 回（10 月：7 回）と少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

浄土平の傾斜計³⁾では、2014 年 4 月以降、緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動が継続し、2015 年 7 月頃から停滞していたが、9 月後半から西側下がり傾向となっている。

GNSS²⁾連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていたが、2015 年 6 月頃から停滞している。国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、2014 年 12 月頃から一部の基線で山体の膨張を示す地殻変動がみられていたが、2015 年 7 月頃から停滞している。

大穴火口から概ね 500m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾、火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきさん
岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
はつこうださん
八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
あきたやけやま
秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
いわてさん
岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
ちようかいさん
鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
くりこまやま
栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
あだたらやま
安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
ばんだいさん
磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くさつしらねさん 草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続している。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分に火山活動の活発化を示す変化が継続している。

遠望カメラによる観測では湯釜北側噴気地帯の噴気孔から弱い噴気が認められている。

全磁力¹⁾連続観測及び繰り返し観測で、2014 年 5 月頃からみられていた湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、2014 年 7 月以降停滞している。

2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加したが、2014 年 8 月下旬以降概ね少ない状態で経過している。

地殻変動観測によると、2014 年 4 月頃から湯釜付近の膨張を示す変動が認められていたが、2015 年 4 月頃より停滞している。また、湯釜周辺に設置している東京工業大学の傾斜計³⁾によると、2014 年 3 月からみられている湯釜付近浅部での膨張を示す変動は鈍化しながらも継続している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石⁴⁾が風に流されて降る恐れがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま 浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

浅間山では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。山頂火口からは、白色の噴煙が最高で火口縁上 700m まで上がった。噴煙量は 2015 年 6 月以降、増加している。山頂火口で、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映⁵⁾を引き続き観測している。

6 日及び 24 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり 1,200～1,700 トン（前回 10 月 26 日：600 トン）と引き続き多い状態で経過している。

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は多い状態が続いている。発生した地震の多くは BL 型地震（低周波地震）であった。7 月に増加した周期の短い火山性地震（BH 型地震）は、8 月以降減少している。震源の浅部への移動等の変化はみられていない。火山性微動は、9 月以降少ない状態で経過している。

光波測距観測⁷⁾では、6 月頃からの山頂と追分の間でみられていた縮みの傾向が、10 月頃から停滞している。傾斜計³⁾では、6 月上旬頃からの緩やかな変化が継続している。GNSS²⁾の観測では、5 月頃からの浅間山を挟む基線でみられていたわずかな伸びは、10 月頃から停滞している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大き

な噴石⁴⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾に注意が必要である。

みだがはら **弥陀ヶ原〔噴火予報（活火山であることに留意）〕**

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過している。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

おんたけさん **御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕**

遠望カメラによる観測では、白色の噴煙が火口縁上 400m 以下の高さで経過している。

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しているが、2014 年 8 月以前の状況には戻ってない。低周波地震及び火山性微動は観測されていない。

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。

一方、噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾に注意が必要である。

ふじさん **富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕**

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

はこねやま **箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕←20 日に噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）から引下げ**

箱根山では、大涌谷で 7 月 1 日にごく小規模な噴火が発生して以降、噴火は観測されていない。

火山性地震は 7 月以降低下傾向が続いており、ほぼ 4 月の活動活発化以前の状態となっている。国土地理院の GNSS²⁾連続観測でみられていた山

体の膨張を示す地殻変動も、8 月下旬頃から停滞し、その後特段の変化はみられていない。また、気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計³⁾や体積ひずみ計⁸⁾では、8 月以降火山活動に関連する変動はみられていない。

以上のことから、大涌谷周辺の想定火口域において噴火の可能性は低くなったと判断し、20 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

一方、大涌谷周辺の想定火口域では、緩やかな低下傾向はみられるものの、噴気活動が活発なところがある。6 日に実施した現地調査では、これまでの現地調査と同様に 15-1 火口及び 15-2～4 の各噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き噴煙や噴気が勢いよく噴出しているのを確認したが、20 日に実施した現地調査では、噴煙や噴気の勢いが若干弱くなっていた。

大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

いずおおしま **伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕**

火山性地震の発生回数は少ない状態で経過している。低周波地震や火山性微動は観測されていない。

26 日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内にある中央火孔内の温度及び地表面温度分布は、前回（10 月 26 日）の観測と比べ、特段の変化は認められなかった。その他、三原山山頂周辺の噴気温度にも特段の変化は認められない。

長期的には、GNSS²⁾による観測で、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。2011 年頃から鈍化していたが、2013 年 8 月頃から再び膨張傾向がみられる。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意が必要である。

みやけじま **三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕**

山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過している。11 日及び 19 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり約 200 トン（前回 10 月 8 日：約 100 トン）で、やや少ない状態であった。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 9 月以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過している。

17 日に実施した現地調査では、主火孔及びその周辺で引き続き高温領域が認められ、前回（10 月 9 日）と比べ、火口内の地形及び高温領域の分布に特段の変化は認められなかった。

GNSS²⁾ 連続観測によると、2000 年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013 年頃から停滞している。島内の長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続している。

火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内及び主火孔から 500 m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出が継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

にしのみま **西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】**

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。

12 日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測によると、第 7 火口から断続的に灰色の噴煙を噴出していた。また、火砕丘の南西側中腹に新たな溶岩流出口が形成され、そこから南西方向へ溶岩が長さ約 200m 流出していた。西之島の北海岸に沿って長さ約 1,800m、幅約 200～300m、南西海岸に沿って長さ約 1,700m、幅約 100～250m の海域に、ごく薄い黄緑色の変色水が分布していた。

17 日に海上保安庁及び東京大学地震研究所が実施した上空からの観測では、火砕丘の南西側中腹からの溶岩流は 12 日と比較して若干厚みを増し、拡大していた。また 2014 年 9 月 17 日以来、約 1 年間流出が継続していた火砕丘北側からの溶岩流は停止していた。第 7 火口では、1 時間に 1～2 回噴火しており、噴煙は灰褐色で高さ約 300～500m に達していた。噴火に伴い数メートル程度の火山弾が放出され、到達距離は約 500～1,000m で、南西側では海上に達していた。西之島周囲の海岸線には、薄い黄緑色の変色水が幅約 200～300m 分布していた。

観測時、西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある、海岸線に平行して走る断層やクラックは認められなかった。

新たな陸地の大きさは、東西約 1,900m、南北約 1,950m、面積は 2.63km² であった（前回 9 月 16 日：2.67km²）。

25 日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、第 7 火口から弱い白色噴気を確認した。火砕丘南西側中腹の溶岩流出口及びここから流出している溶岩流には 17 日と比較して大きな変化はなかった。西之島の北東海岸から南側を経て西側海岸に沿って長さ約 4,000

m、幅約 200～300m の海域に、ごく薄い黄緑色の変色水が分布していた。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。

また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾ や水面を高速で広がるベースサージ⁹⁾ 等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね 4 km 以内の範囲では噴火に警戒が必要である。

いおうとう **硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】**

火山性地震はやや少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

GNSS²⁾ 連続観測によると、地殻変動は 2014 年 2 月下旬頃から隆起・停滞を繰り返し、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっている。また、国土地理院の GNSS²⁾ 観測によると 2015 年 4 月中旬頃から西向きの変動速度が上がっていたが、9 月以降は停滞している。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

ふくとくおか **福徳岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】**

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

なすだけ
那須岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

にっこうしらね
日光白根山【噴火予報（活火山であることに留意）】

にいがたやけやま
新潟焼山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

のは本年（2015 年）2 月 18 日以来である。

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、7 月頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）【噴火予報（活火山であることに留意）】

火山性地震は 4 日に一時的に 14 回と増加し、月回数は 42 回（10 月：68 回）であった。震源は、主に硫黄山付近のごく浅いところから海拔下 2 km と韓国岳北東側の深さ 0～2 km に分布した。火山性微動は観測されなかった（10 月：2 回）。

1 日、5 日、27 日に実施した現地調査では、硫黄山及びその周辺では噴気は認められなかった。赤外熱映像装置¹⁰⁾による観測では、地表面温度分布に特段の変化は認められなかった。なお、硫黄山の一部で引き続き硫化水素臭が認められた。

えびの高原（硫黄山）周辺では、7 月頃から振幅の小さな火山性微動が時々発生するなど、火山活動がやや高まってきているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】←25 日噴火警戒レベル 3（入山規制）から引下げ

桜島の昭和火口では、9 月 17 日以降爆発的噴火は発生しておらず、9 月 29 日以降は、南岳山頂火口を含めて小規模な噴火も観測されていない。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過している。

桜島島内での傾斜計³⁾、伸縮計¹¹⁾による観測では、8 月の急激な変動以降、山体膨張を示す地殻変動はみられていない。GNSS²⁾による観測では、2015 年 1 月頃から島内でみられていた山体膨張の傾向は、8 月の急激な山体膨張の変動以降、収縮傾向に転じている。

4 日と 19 日に実施した現地調査及び 16 日に産業技術総合研究所が実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり 70～100 トン（10 月：70 トン）と、少ない状態で経過している。

これらのことから、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 1 km を超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性が低くなったと考えられるため、25 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げた。

火山活動は低下しているが、これまでも噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると考えられる。昭和火口及

び南岳山頂火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石⁴⁾（火山れき¹²⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。



桜島 南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km の常時立入禁止区域

（桜島では、鹿児島市が災害対策基本法第 63 条に則り、噴火警戒レベル 2 においてもレベル 3 と同様に南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内は立入り禁止としている）

薩摩硫黄島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

口永良部島【噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）及び火山現象に関する海上警報】

新岳では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。

遠望カメラによる観測では、白色の噴煙が火口縁上 600m 以下で経過した。

期間内に実施した現地調査では、火口周辺の地形や噴気等の状況に変化は見られなかった。また、赤外熱映像装置¹⁰⁾による観測では、2015 年 3 月頃から 5 月 29 日の噴火前に温度上昇が認められていた新岳火口西側割れ目付近の領域の温度は、引き続き低下した状態であった。

3 日に九州地方整備局の協力により、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した上空からの観測によると、白色の噴煙が西側の割れ目付近と北側の火口縁付近及び南側の火口壁から上がっているのを確認した。新岳火口及び火口周辺の形状に特段の変化は認められなかった。赤外熱

映像装置¹⁰⁾による観測では、新岳火口内、新岳火口西側割れ目付近及び北側と南側の火口縁で引き続き熱異常域を確認した。

10 日、28 日及び 30 日に東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、産業技術総合研究所、屋久島町及び気象庁が実施した観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり 200～300 トン（前回 10 月 14 日：300 トン）とやや少ない状況であった。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されていない。地殻変動観測では、5 月 29 日の噴火以降に特段の変化は認められない。

5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性があるため、火砕流に警戒が必要である。火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域（前田地区、向江浜地区）では厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

噴火に伴う大きな噴石⁴⁾の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石⁴⁾が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるため注意が必要である。新岳火口から半径 1.4 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがあるので、噴火に警戒が必要である。

すれのせじま 諏訪之瀬島[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、1 日と 20 日に噴火が発生し、噴煙が最高で火口縁上 1,000 m まで上がった。爆発的噴火は発生しなかった。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、1 日と 21 日に集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が確認された。また、1 日には集落で鳴動も確認された。

同火口では、夜間に高感度カメラで火映⁵⁾を時々観測した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が

発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石⁴⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらみだけ 鶴見岳・伽藍岳[噴火予報（活火山であることに留意）]

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 2) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 3) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 4) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 5) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 6) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 7) レーザなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器を用いて、山体の膨張や収縮による距離の変化を観測する。
- 8) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。
- 9) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 10) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 11) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。
- 12) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

表 2 平成 27 年 11 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 5、避難)	解説情報 第 329 号～358 号	1 日～3 日、5 日～ 30 日 16 時 00 分 4 日 16 時 10 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
		火山活動解説資料	4 日 16 時 00 分	3 日に実施した上空からの観測の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 91 号～96 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日 16 時 00 分	噴煙・火山性微動等火山活動の状況。現地調査の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	24 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ
		火山活動解説資料	24 日 14 時 15 分	
		解説情報 第 97 号～99 号	24 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙・火山性微動等火山活動の状況。現地調査の状況。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 123 号～129 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 24 日 16 時 00 分	噴火活動・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	25 日 11 時 00 分	噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ
		火山活動解説資料	25 日 11 時 20 分	
		解説情報第 130 号	27 日 16 時 00 分	地震回数等火山活動の状況。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 50 号～54 号	2 日、6 日、9 日 16 時 00 分 2 日 16 時 41 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	噴火予報	13 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ
		火山活動解説資料		
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 54 号～58 号	2 日、9 日、16 日、 24 日、30 日 16 時 00 分	噴気・地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 47 号～50 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 86 号～94 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日、30 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。現地調査及び上空からの観測の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 86 号～89 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 143 号、第 144 号	6 日、13 日 16 時 00 分	噴気・地震回数等火山活動の状況。
	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	噴火予報 火山活動解説資料	20 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ
蔵王山	噴火予報(活火山で あることに留意)	火山活動解説資料	30 日 11 時 30 分	30 日に発生した火山性微動の状況。
霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺 とその他)	噴火予報(活火山で あることに留意)	火山活動解説資料	1 日 11 時 00 分	10 月 31 日に発生した火山性微動と地震増加の状況。現地調査の状況。
		解説情報 第 47 号、第 48 号	2 日 11 時 10 分、 18 時 00 分	2 日に発生した大浪池の南西約 2 k m 付近の地震活動の状況。現地調査の状況。
		解説情報 第 49 号、第 50 号	4 日 16 時 50 分 5 日 15 時 30 分	4 日に増加した火山性地震の状況。現地調査の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。この他、三宅島においては 2015 年 11 月 30 日まで毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 27 年 11 月 30 日現在）**（1）主な活火山**

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年10月1日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩木山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意）
	吾妻山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴	
関東・中部地方	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2011年 3 月31日	噴火予報（レベル 1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2011年 3 月31日	噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2008年 3 月31日	噴火予報（レベル 1、平常）
			2014年 9 月27日	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
			2014年 9 月28日	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
伊豆・小笠原諸島			2015年 1 月19日	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
			2015年 3 月31日	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
			2015年 6 月26日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2015年 9 月 2 日	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2009年 3 月31日	噴火予報（レベル 1、平常）
			2015年 5 月 6 日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
九州地方・南西諸島			2015年 6 月30日	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
			2015年 9 月11日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
			2015年11月20日	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2011年 3 月31日	噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（レベル 1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	火口周辺警報（火口周辺危険）
九州地方・南西諸島			2008年 3 月31日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
			2015年 6 月 5 日	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
			2013年11月20日	火口周辺警報（火口周辺危険）
			2014年 6 月 3 日	火口周辺警報（入山危険）
			2014年 6 月11日	火口周辺警報（入山危険）切替
			2015年 2 月24日	火口周辺警報（入山危険）切替
九州地方・南西諸島	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日	火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月 1 日	噴火警報（周辺海域警戒）
	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日	噴火予報（レベル 1、平常）
			2011年 5 月16日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
			2011年 6 月20日	噴火予報（レベル 1、平常）
			2013年 9 月25日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
			2013年10月11日	噴火予報（レベル 1、平常）
九州地方・南西諸島			2013年12月27日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
			2014年 3 月12日	噴火予報（レベル 1、平常）
			2014年 8 月30日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
			2015年 9 月14日	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
			2015年11月24日	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日	噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 8 月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年 3 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年 4 月16日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年 5 月 6 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2011年 1 月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2011年 1 月31日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年 2 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年 3 月22日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 6 月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2013年10月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	霧島山 (御鉢)	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 噴火予報 (平常) 2014年10月24日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年 5 月 1 日 噴火予報 (平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 2 月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 7 月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 7 月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 8 月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 2 月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 7 月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年 9 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年 3 月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 3 月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 8 月15日 噴火警報 (レベル 4、避難準備) 2015年 9 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年11月25日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年 6 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年 7 月10日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	口永良部島	噴火警報 (レベル 5、避難)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 1 月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 9 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 8 月 4 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年 9 月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年 1 月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 8 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年 8 月 7 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 5 月29日 噴火警報 (レベル 5、避難) 2015年10月21日 噴火警報 (レベル 5、避難) 切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

●世界の主な地震

平成 27 年（2015 年）11 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

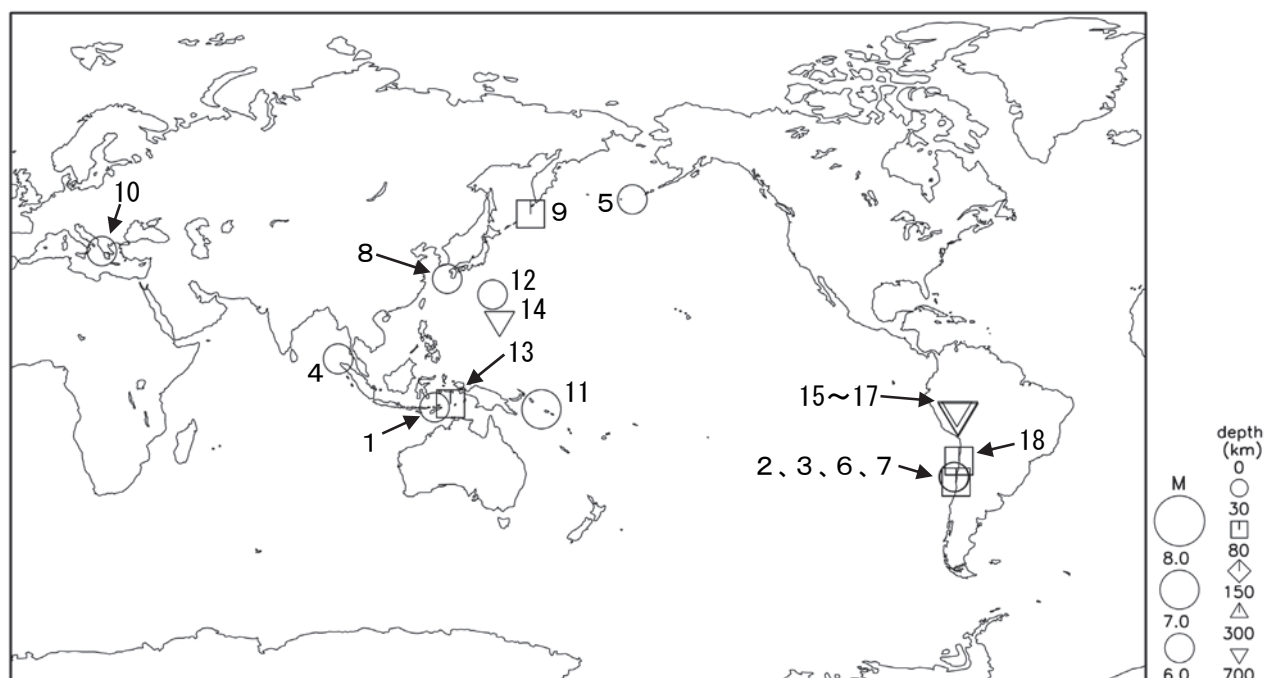


図 1 平成 27 年（2015 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake ArchiveSearch & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2015 年 12 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。

** : 数字は、表 1 の番号に対応する。

*** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Mj（気象庁マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 27 年（2015 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	11月04日12時44分	S 8° 21.1′	E124° 53.9′	14			6.3	ティモール島			
2	11月07日16時04分	S29° 27.2′	W 72° 17.4′	12			6.2	チリ中部沖			
3	11月07日16時31分	S30° 54.2′	W 71° 32.7′	38			6.8	チリ中部沿岸			
4	11月09日01時47分	N 6° 50.7′	E 94° 39.6′	10			6.4	インド、ニコ バル諸島			
5	11月10日01時03分	N51° 44.1′	W173° 03.9′	10			6.2	アリューシャ ン列島アンド リアノフ諸島			
6	11月11日10時54分	S29° 29.0′	W 72° 02.1′	12			6.9	チリ中部沖	チリのコキンボ で55cmなどの津 波を観測		
7	11月11日11時46分	S29° 28.3′	W 72° 07.7′	10			6.9	チリ中部沖			
8	11月14日05時51分	N30° 56.5′	E128° 35.4′	17		7.1	(6.7)	薩摩半島西方 沖	中之島で30cmの 津波を観測	○	
9	11月17日01時49分	N48° 13.1′	E155° 01.0′	30		6.1	(5.9)	千島列島			
10	11月17日16時10分	N38° 45.2′	E 20° 33.1′	11			6.5	ギリシャ	ギリシャで死者 2人など、イタ リアのクロトー ネで15cmの津波 を観測		
11	11月19日03時31分	S 8° 55.7′	E158° 24.6′	13			(6.8)	ソロモン諸島		○	○
12	11月20日01時43分	N26° 23.0′	E143° 06.3′	0		6.3	(5.8)	父島近海			
13	11月21日18時06分	S 7° 12.4′	E129° 55.5′	67			6.1	バンダ海			
14	11月24日22時21分	N18° 47.4′	E145° 18.6′	586			6.0	マリアナ諸島			
15	11月25日07時45分	S10° 32.9′	W 70° 54.2′	601			(7.5)	ペルー・ブラ ジル国境			○
16	11月25日07時50分	S10° 02.85′	W 71° 01.35′	612				ペルー・ブラ ジル国境	15の地震と同規 模の地震		
17	11月26日14時45分	S 9° 11.4′		599			6.7	ペルー・ブラ ジル国境			
18	11月28日06時00分	S24° 49.0′	W 70° 37.9′	35			6.2	チリ北部沿岸			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2015 年 12 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・11 月 17 日のギリシャの地震の被害は NERIT (新ギリシャ・ラジオ・インターネット・テレビジョン) による (2015 年 11 月 17 日現在)。
- ・海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (12 月 2 日現在)。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。

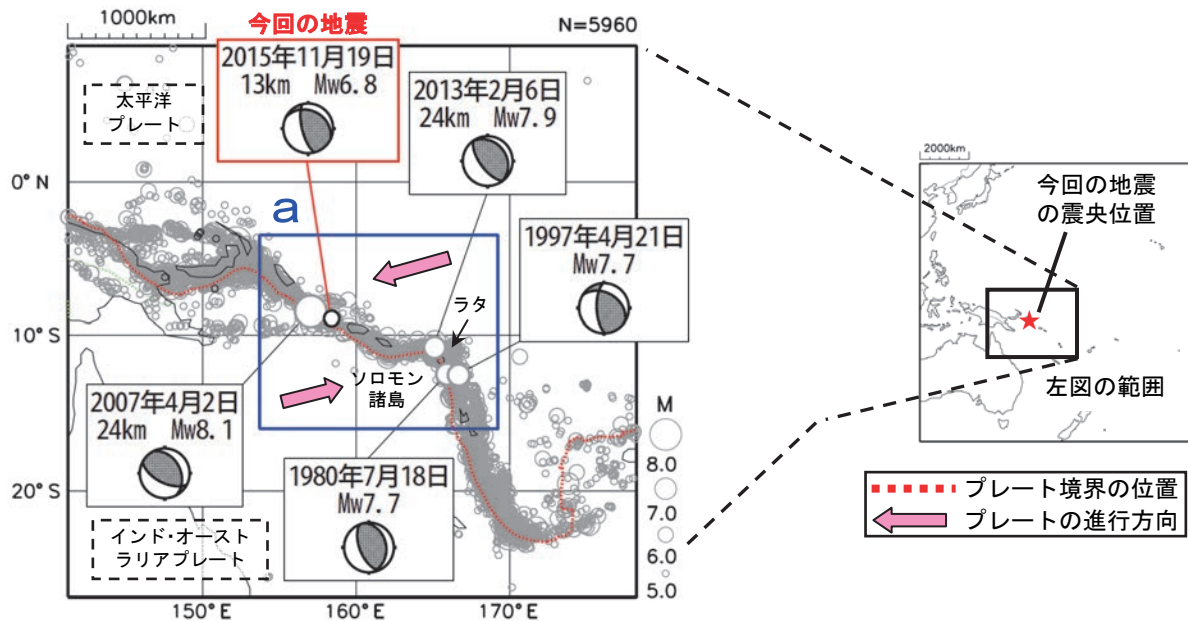
11 月 19 日 ソロモン諸島の地震

2015 年 11 月 19 日 03 時 31 分（日本時間、以下同じ）に、ソロモン諸島の深さ 13km で Mw6.8 の地震が発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1980 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M7.0 を超える規模の地震が度々発生している。2007 年 4 月 2 日には Mw8.1 の地震が発生した。この地震により津波が発生し、ソロモン諸島で死者 54 人の被害を生じた。2013 年 2 月 6 日には、Mw7.9 の地震が発生し、ソロモン諸島のラタで 104cm などの津波を観測した。日本国内でも、北海道から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆・小笠原諸島で津波を観測している。

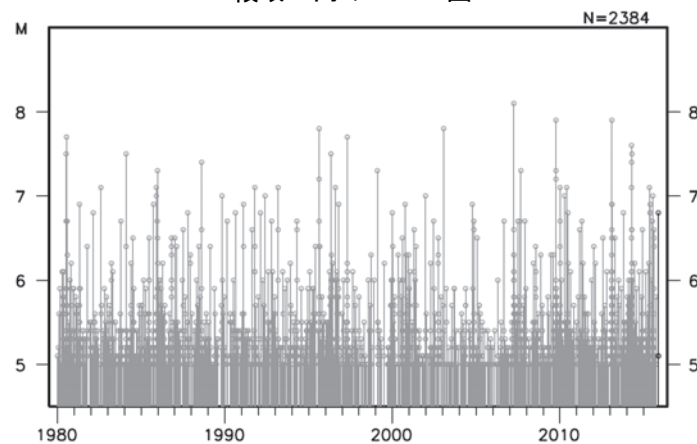
なお、気象庁は同日 04 時 03 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

震央分布図
(1980 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)
2015 年 11 月の地震を濃く表示



プレートの進行方向は、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートをそれぞれ固定した場合の相対的な方向である。

領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震及び 2009 年以降の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 12 月 2 日現在)。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

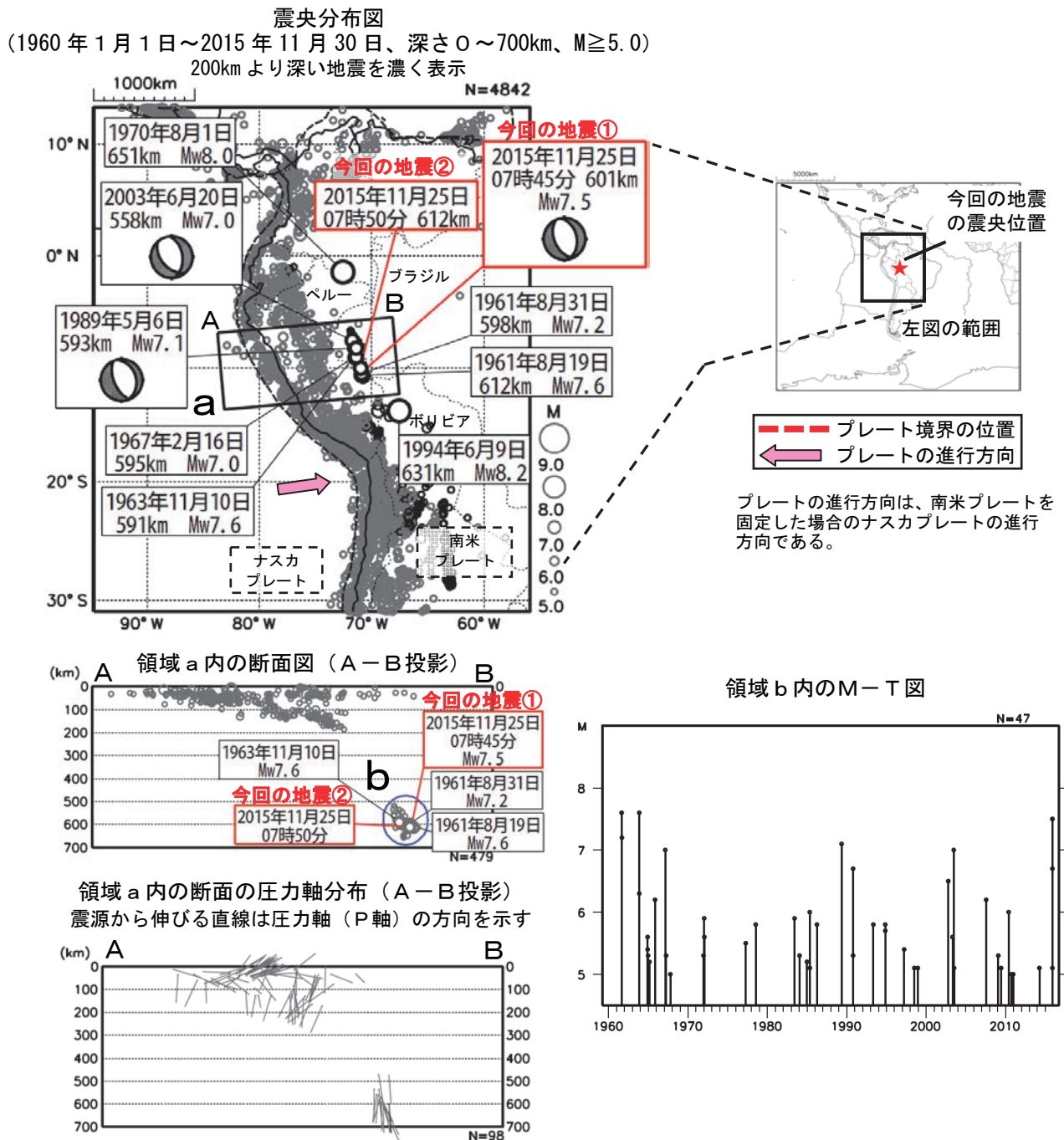
11 月 25 日 ペルー・ブラジル国境の地震

2015 年 11 月 25 日 07 時 45 分（日本時間、以下同じ）に、ペルー・ブラジル国境の深さ 601km で Mw7.5 の地震①が、同日 07 時 50 分にほぼ同じ場所で、同規模の地震②が発生した。これらの地震は、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。今回の地震①の発震機構（気象庁による CMT 解）はナスカプレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

1960 年以降の活動を見ると、今回の地震①、②の震源周辺（領域 b）では、M6.0 を超える地震がたびたび発生している。今回の地震の震源付近では、1961 年 8 月 19 日に深さ 612km で Mw7.6、同年 8 月 31 日に Mw7.2 の地震が、ほぼ同じ場所で続けて発生している。

近隣のボリビアでは、1994 年 6 月 9 日に深さ 631km で Mw8.2 の地震が発生し、死者 10 人の被害を生じた。

なお、気象庁は同日 08 時 19 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。



※本資料中、今回の地震①の発震機構と Mw は気象庁による。1960 年～1963 年の地震の震源要素及び 1960 年～1975 年の地震の Mw は国際地震センター (ISC) による。1976 年以降で今回の地震①以外の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 12 月 2 日現在)。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成 27 年（2015 年）11 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

リンジャニ（Rinjani） インドネシア（図中 A） 標高 3,726m

噴火は 10 月 25 日から始まった。ダーウィン航空路火山灰情報センターによると、噴煙は南から北西方向にかけて流れた。また、11 月 4～10 日にかけては、噴煙が海拔 4.3～6.1km まで上がり、740km まで流れた。ニュース記事によると、同国のロンボク国際空港は 11 月 3 日から 10 日まで閉鎖されるなど 3 つの空港が一時閉鎖した。観光客や住民は半径 3 km 以内の火口内には近づかないよう警戒を促している。

フエゴ（Fuego） グアテマラ（図中 B） 標高 3,763m

噴火が続き、噴煙は南東から西にかけて流れた。火山灰も広範囲に降下した。11 月 8～9 日には新しい溶岩流が 1.5km 流れ下り、10 日までに 2.5km まで流れた。29 日には爆発や、溶岩流出など、火山活動が一時活発になり、溶岩噴泉は火口から 500m まで上がり、溶岩流は 3～4 km 流れた。

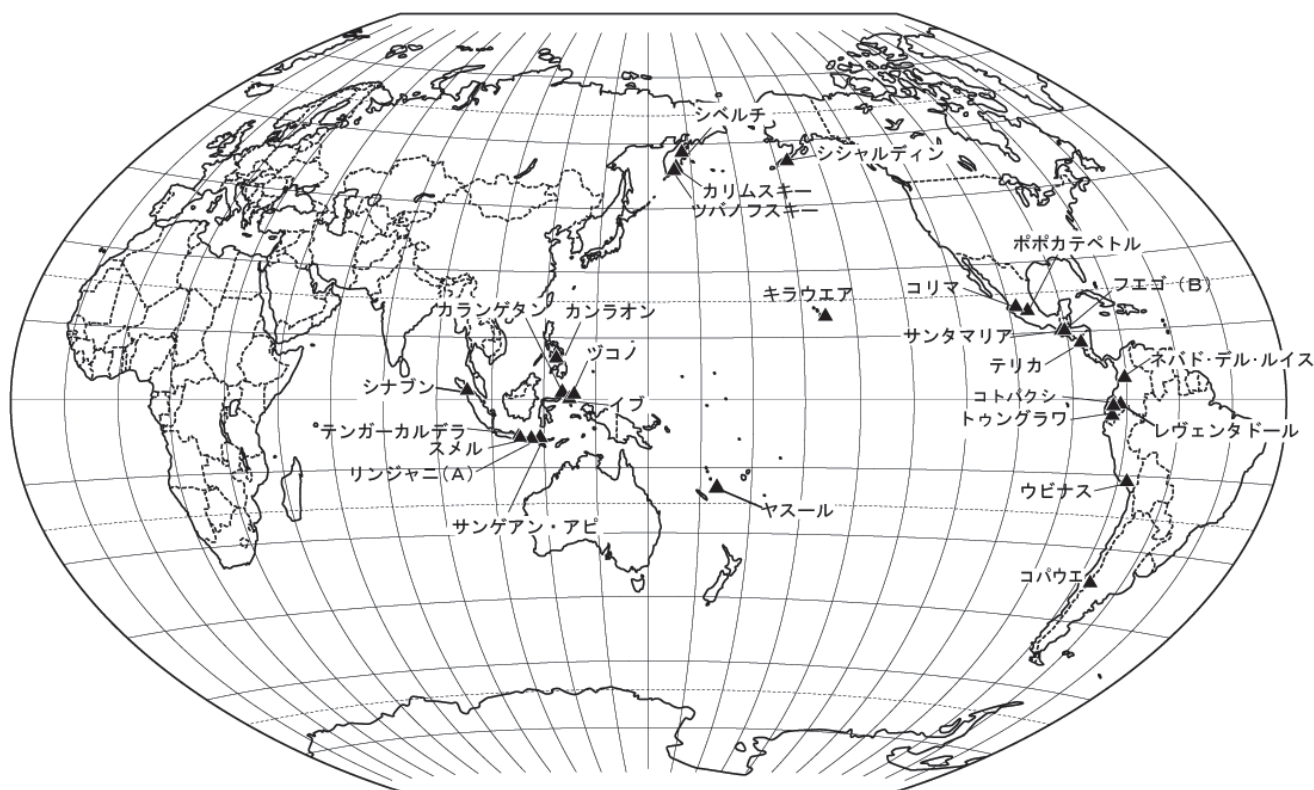


図 平成 27 年（2015 年）11 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●特集 平成 27 年 11 月 14 日の薩摩半島西方沖の地震

（１）概要

2015 年 11 月 14 日 05 時 51 分に薩摩半島西方沖で M7.1 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

気象庁はこの地震に対し、地震検知から 54.6 秒後の 05 時 52 分 51.8 秒に緊急地震速報（警報）を発表した。同日 05 時 56 分に種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島、鹿児島県西部の沿岸に津波注意報を発表した（同日 07 時 20 分に解除）。この地震により、鹿児島県の中之島（海上保安庁）で 30cm の津波を観測した。

また、この地震の震央周辺では地震活動が活発となり、15 日 04 時 20 分に M5.9 の地震（最大震度 3）が発生するなど、最大震度 1 以上を観測する地震が 11 月 30 日までに 17*回発生した。

※14 日 05 時 51 分の M7.1 の地震を含む

（２）地震活動

ア．最近の地震活動

今回の地震の震央付近（領域 a）について、1997 年 10 月以降の活動を見ると、2004 年 12 月 14 日に M5.3 の地震（最大震度 3）が発生しているほか、M4.0 以上の地震が時々発生している。

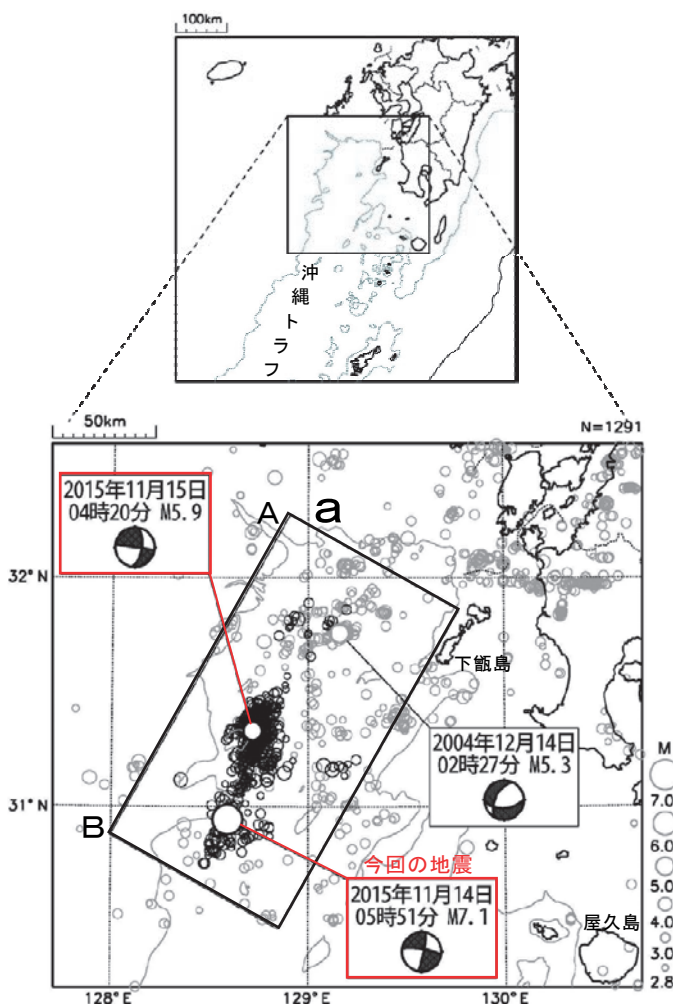


図 2-1 震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 2.8$)
2015 年 11 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解
図中の細線は水深 500m を示す

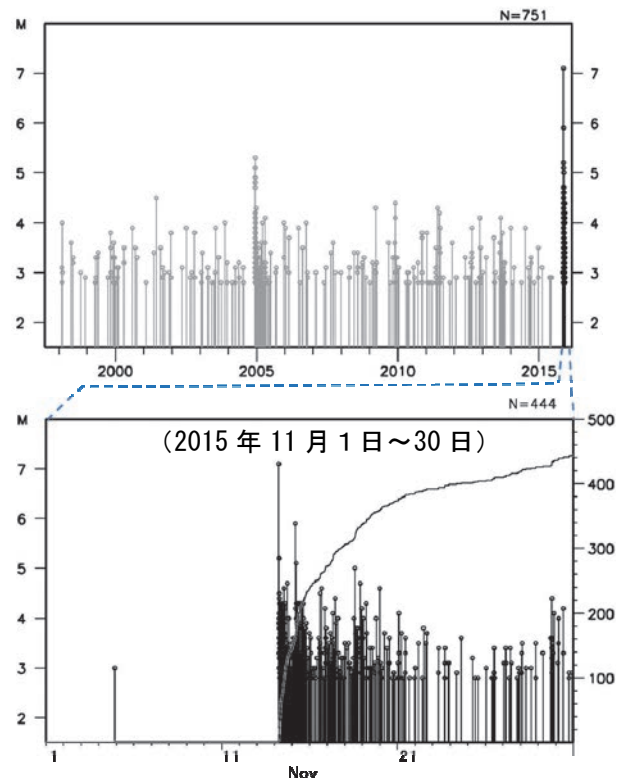


図 2-2 領域 a 内の M-T 図
下の図は回数積算図を含む

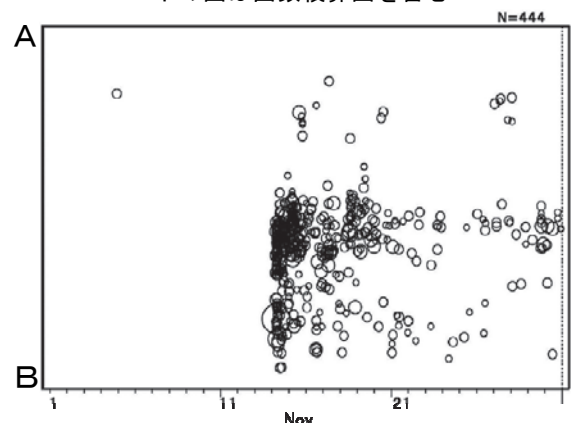


図 2-3 領域 a 内の時空間分布図（A-B 投影、
2015 年 11 月 1 日～30 日）

イ. 発震機構

沖縄トラフ沿いの浅い地震は、発震機構（CMT 解）が北西－南東方向に張力軸を持つものが多い。今回の地震活動で発生した地震の発震機構も、概ね北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であり、この地震活動は陸のプレートの地殻内で発生したと考えられる。

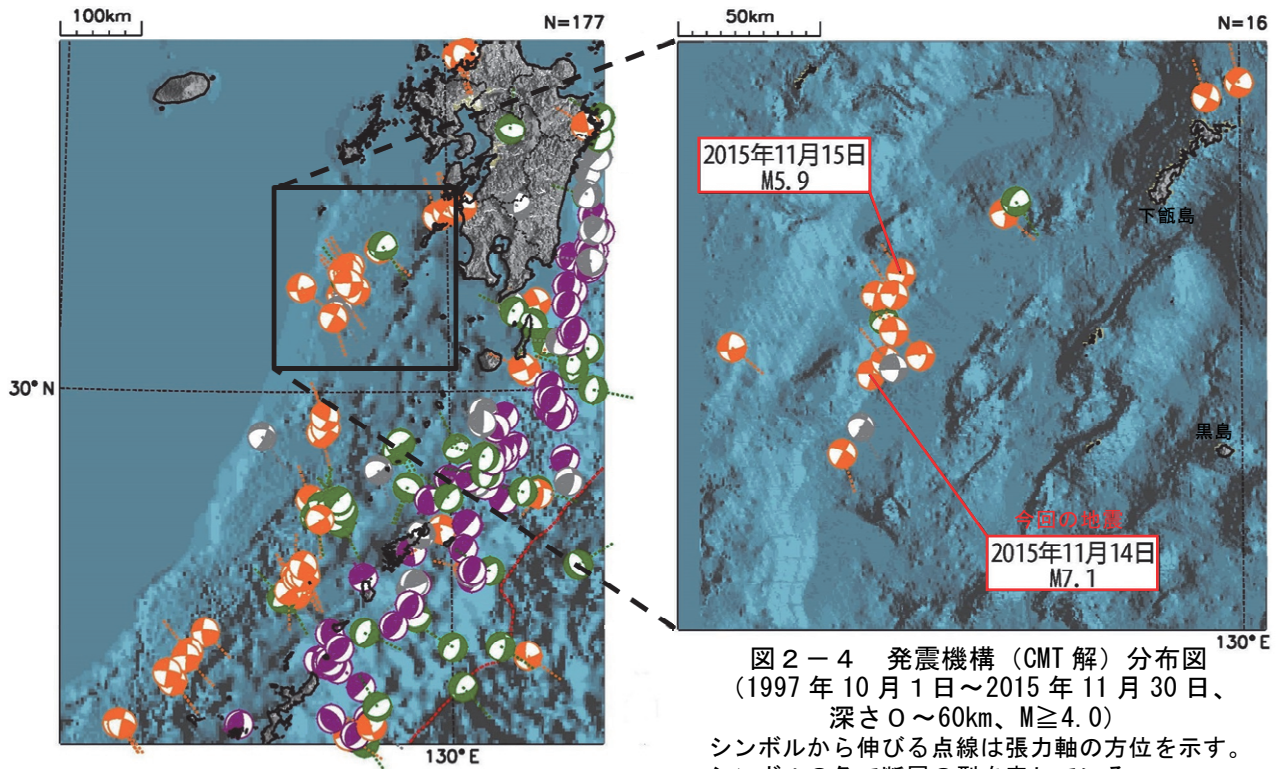


図 2-4 発震機構（CMT 解）分布図
（1997 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～60km、 $M \geq 4.0$ ）

シンボルから伸びる点線は張力軸の方位を示す。
シンボルの色で断層の型を表している。

橙：横ずれ断層型 紫：逆断層型
緑：正断層型 灰：どの型にも分類されない

ウ. 過去の地震活動

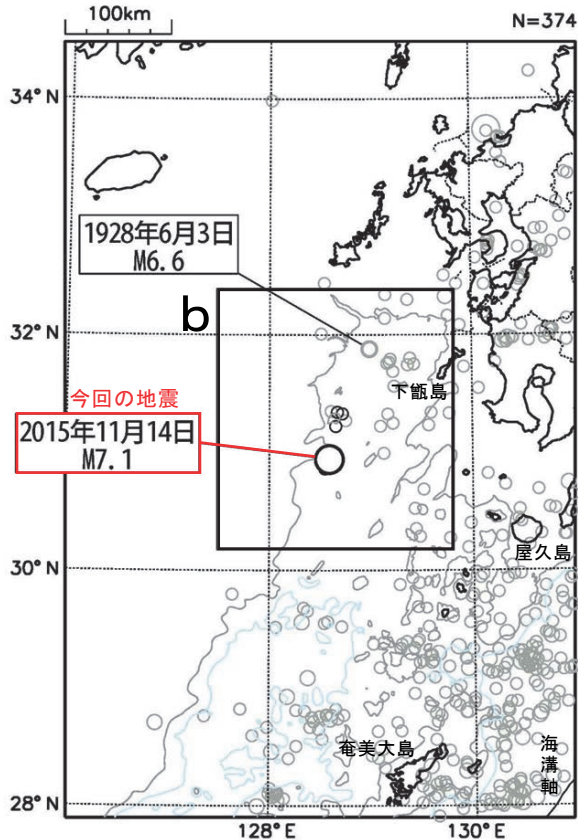


図 2-5 震央分布図
（1923 年 1 月 1 日～2015 年 11 月 30 日、
深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$ ）

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、1928 年 6 月 3 日に M6.6 の地震（最大震度 5）が発生している。

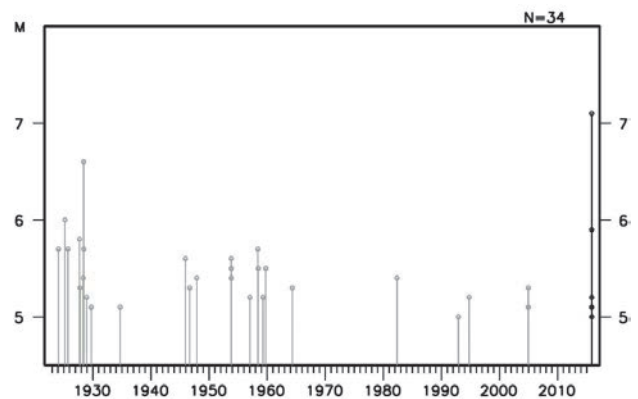


図 2-6 領域 b 内の M-T 図

（３）震度分布

今回の地震により、佐賀県白石町、鹿児島県鹿児島市・いちき串木野市・南さつま市・屋久島町（口永良部島）で震度 4 を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度 3～1 を観測した。

この地震の震度分布図を図 3－1 に示す。また、11月15日04時20分に発生した M5.9 の地震（最大震度 3）の震度分布図を図 3－2 に示す。

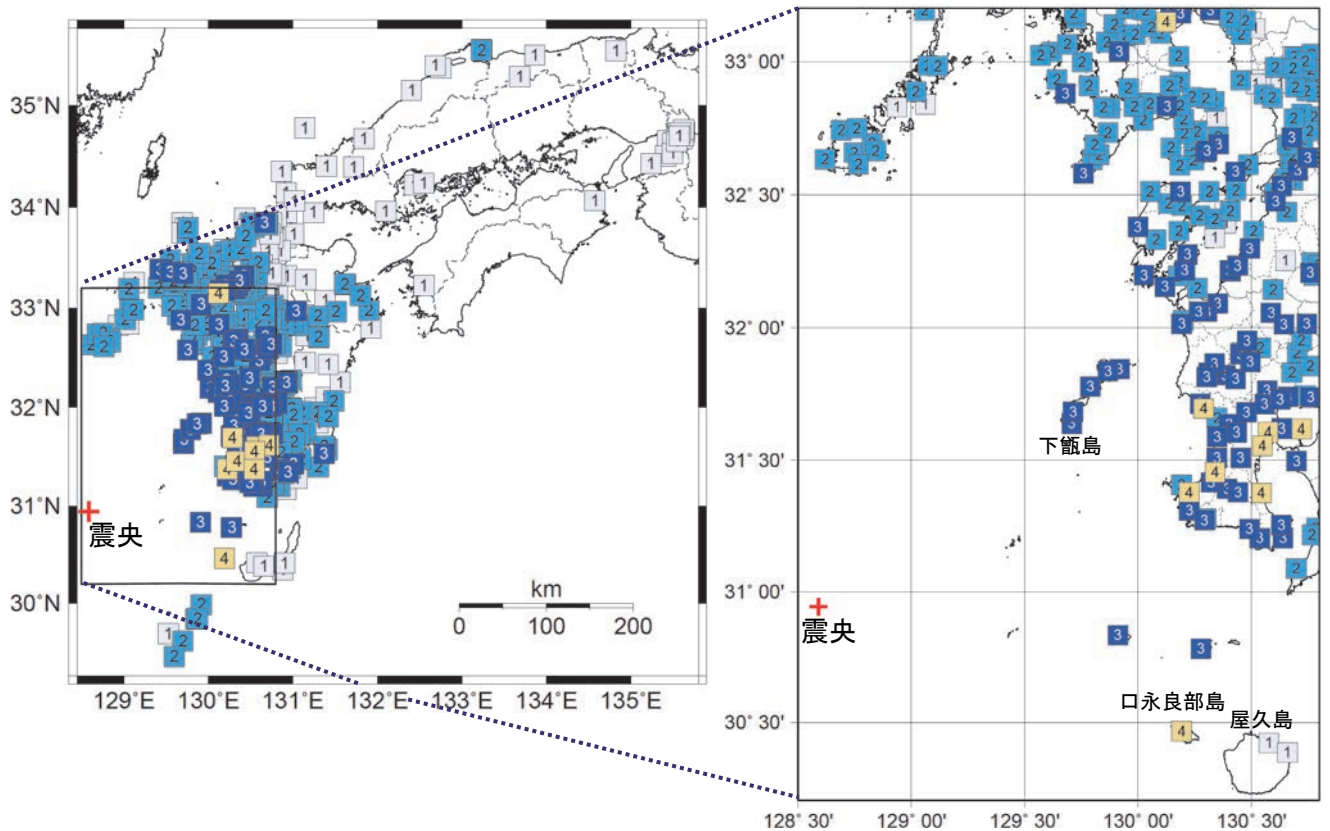


図 3－1 11 月 14 日 05 時 51 分に発生した M7.1 の地震（最大震度 4）の震度分布図

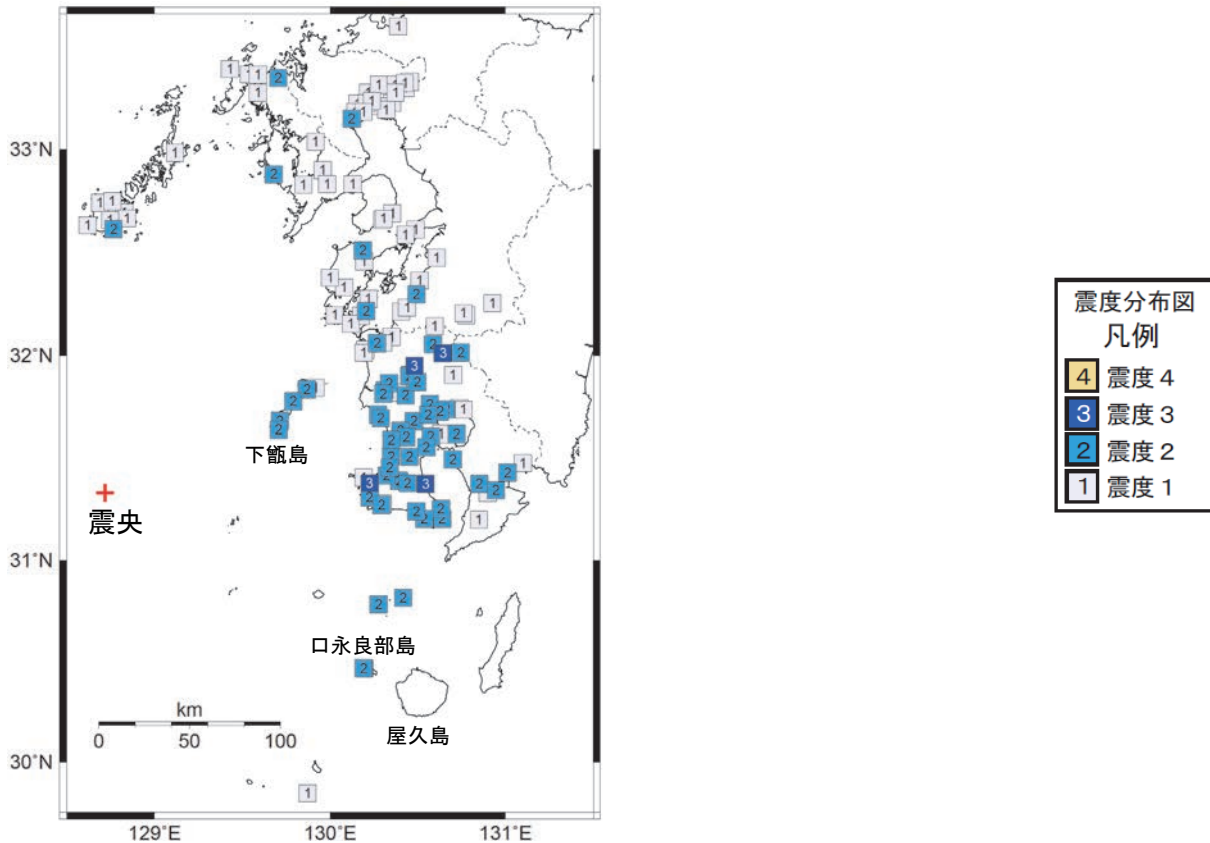


図 3－2 11 月 15 日 04 時 20 分に発生した M5.9 の地震（最大震度 3）の震度分布図

（４）緊急地震速報の内容

気象庁は今回の地震に対して、震度 5 弱以上を予測したときに発表する緊急地震速報（警報）を、口永良部島（鹿児島県屋久島町）における最初の地震波の検知から 54.6 秒後の 05 時 52 分 51.8 秒に発表した。

なお、緊急地震速報（予報）は計 7 報を発表した。

表 4－1 発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成 27 年 11 月 14 日 05 時 51 分 30.1 秒	薩摩半島西方沖	30° 56.5′	128° 35.4′	17km	7.1	4

表 4－2 緊急地震速報（予報及び警報）の詳細

（緊急地震速報（警報）は背景が灰色の時に発表）

地震波検知時刻		05 時 51 分 57.2 秒 (口永良部島)						
提供時刻		経過 時間	震源要素					予測震度
			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	05 時 52 分 14.7 秒	17.5	薩摩半島西方沖	31.0	128.7	10km	7.2	※1
第 2 報	05 時 52 分 23.9 秒	26.7	薩摩半島西方沖	30.9	128.6	10km	7.3	※1
第 3 報	05 時 52 分 27.3 秒	30.1	薩摩半島西方沖	30.9	128.6	10km	7.3	※1
第 4 報	05 時 52 分 32.9 秒	35.7	薩摩半島西方沖	30.9	128.7	10km	7.1	※2
第 5 報	05 時 52 分 51.8 秒	54.6	薩摩半島西方沖	30.9	128.7	10km	7.4	※3
第 6 報	05 時 53 分 11.2 秒	74.0	薩摩半島西方沖	30.9	128.7	10km	7.4	※3
第 7 報	05 時 53 分 27.0 秒	89.8	薩摩半島西方沖	30.9	128.7	10km	7.4	※3

※1 震度 4 程度

鹿児島県種子島、鹿児島県屋久島、鹿児島県十島村、鹿児島県甑島、鹿児島県薩摩、長崎県五島、鹿児島県大隅、熊本県天草・芦北、長崎県南西部

震度 3 から 4 程度

長崎県島原半島、宮崎県南部山沿い、熊本県熊本、福岡県筑後

※2 震度 4 程度

鹿児島県種子島、鹿児島県屋久島、鹿児島県十島村、鹿児島県甑島、鹿児島県薩摩、鹿児島県大隅

震度 3 から 4 程度

長崎県五島、熊本県天草・芦北、長崎県南西部

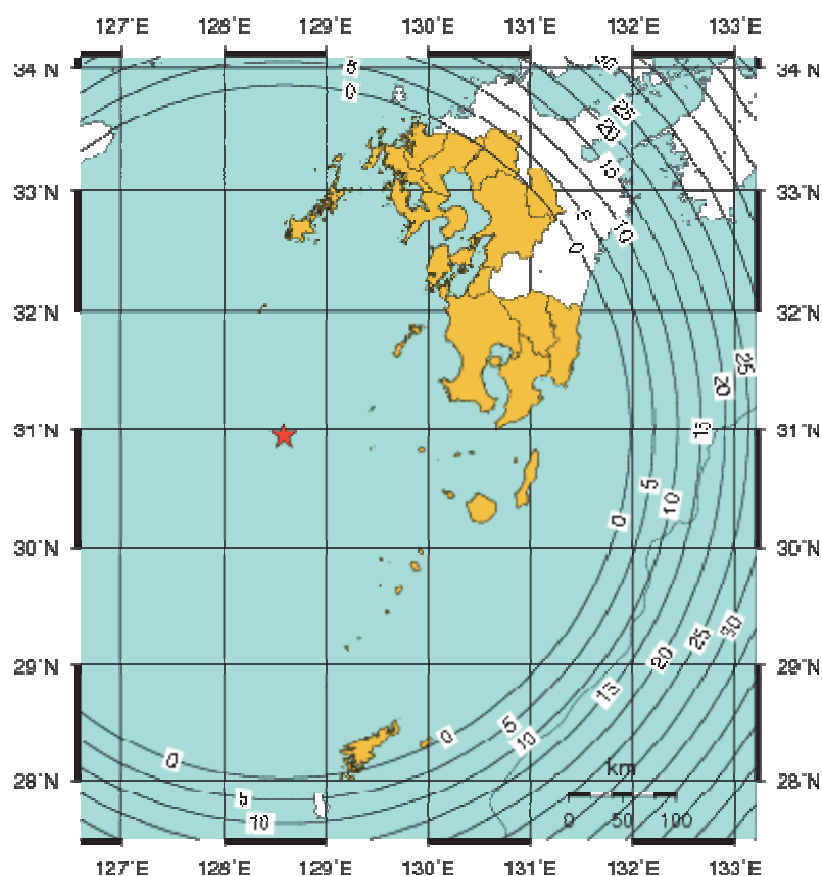
※3 震度 4 から 5 弱程度 鹿児島県種子島

震度 4 程度

鹿児島県屋久島、鹿児島県薩摩、鹿児島県十島村、鹿児島県甑島、長崎県五島、鹿児島県大隅、熊本県天草・芦北、長崎県南西部、長崎県島原半島、宮崎県南部山沿い、熊本県熊本、福岡県筑後

震度 3 から 4 程度

長崎県北部、佐賀県南部、宮崎県南部平野部、鹿児島県奄美北部、佐賀県北部、熊本県阿蘇



緊急地震速報(警報)を発表した地域 ★ : 震源

図 4 - 1 警報第 1 報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図

※緊急地震速報（警報）は、予想した最大震度が 5 弱以上の場合に、震度 4 以上の揺れが予想される地域に対して、強い揺れに警戒していただくよう発表します。

（５）津波

気象庁は、今回の地震に対し、05 時 56 分に種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島、鹿児島県西部の沿岸に津波注意報を発表した（同日 07 時 20 分に解除）ほか、高知県、有明・八代海、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、沖縄本島地方に若干の海面変動（20cm 未満）を予想する津波予報を発表した。

この地震により、鹿児島県（トカラ列島）の中之島（海上保安庁）で 30cm の津波を観測した。

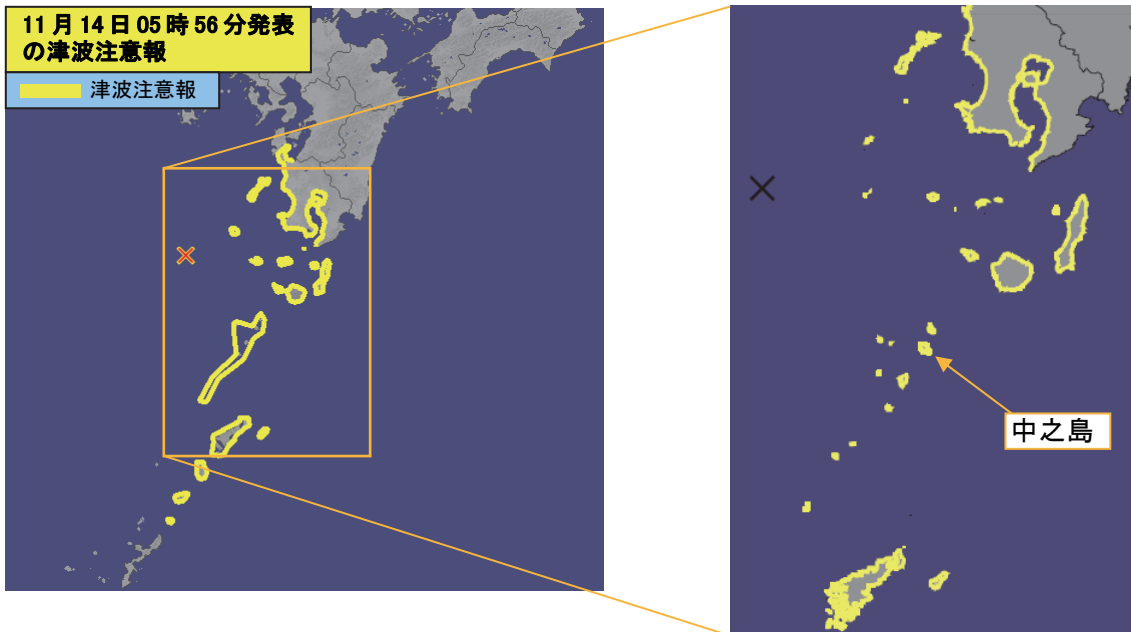


図 5－1 11 月 14 日 05 時 51 分の薩摩半島西方沖の地震による津波に対して発表した津波注意報（×印は津波注意報発表時の震央を示す）

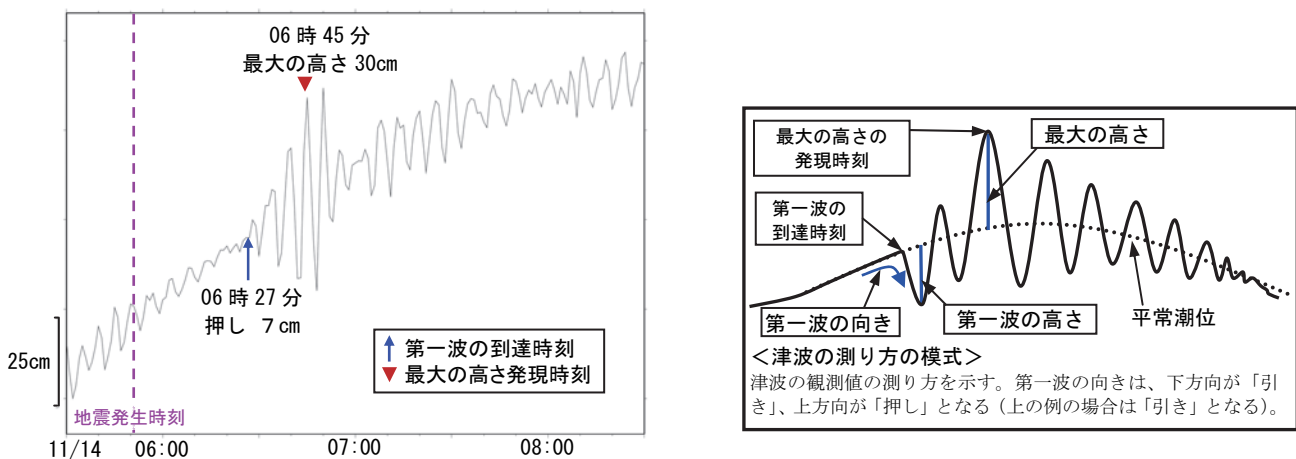


図 5－2 中之島津波観測施設で観測した津波の津波波形と津波観測値

※観測値は後日の精査により変更される場合がある
※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値

（6）長周期地震動

ア．長周期地震動に関する観測情報（試行）

この地震により、九州地方で長周期地震動階級 1 以上（表 6－1 参照）の長周期地震動が観測され、気象庁は長周期地震動に関する観測情報（試行）を発表した（図 6－1）。各地の観測結果は、鹿児島県薩摩地方で最大の長周期地震動階級 2、佐賀県南部地方と熊本県球磨地方で長周期地震動階級 1 であった。長周期地震動階級 1 以上が観測された地域・地点とその階級を表 6－2 に示す。鹿児島県で長周期地震動階級 1 以上を観測したのは、平成 25 年 3 月の観測情報（試行）発表開始以来初めてである。

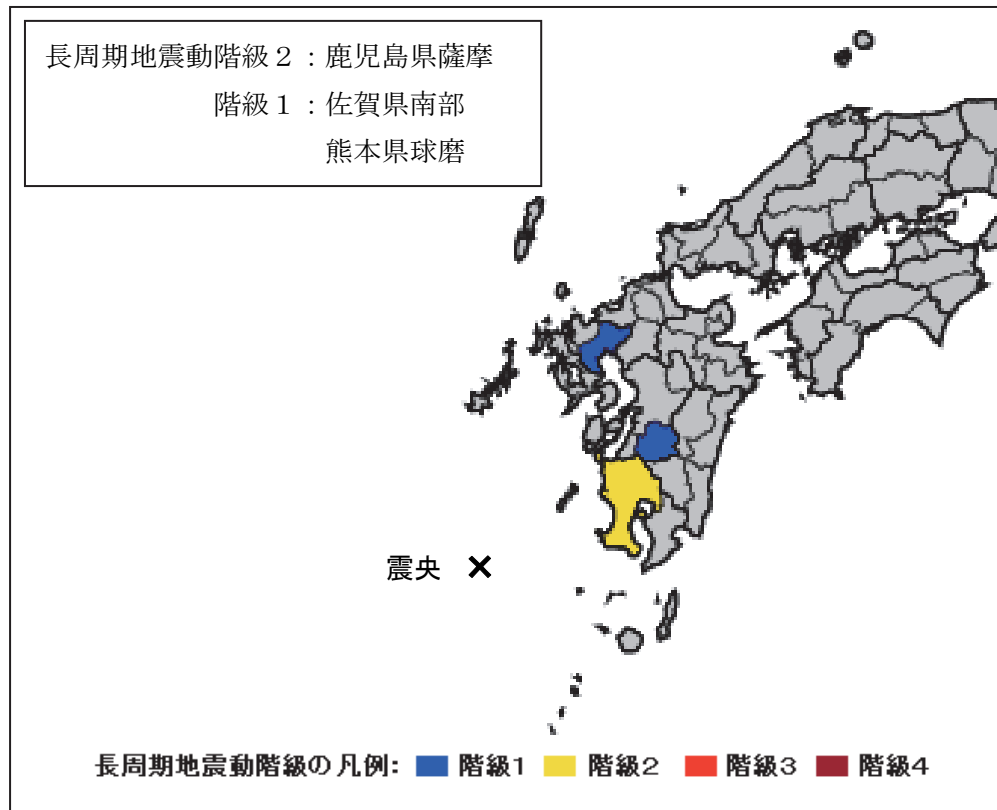


図 6－1 長周期地震動階級 1 以上が観測され、長周期地震動に関する観測情報を発表した地域

表 6－1 長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	－
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に当たりたいと感じる。物につかまらないうち歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	－
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 26 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

表 6-2 長周期地震動階級 1 以上が観測された地域・地点

2015 年 11 月 14 日 05 時 51 分 薩摩半島西方沖 北緯 30 度 56.5 分 東経 128 度 35.4 分 深さ 17km M7.1			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
鹿児島県	鹿児島県薩摩	鹿児島市東郡元	2
鹿児島県	鹿児島県薩摩	指宿市山川新生町	1
鹿児島県	鹿児島県薩摩	霧島市隼人町内山田	1
熊本県	熊本県球磨	人吉市西間下町	1
熊本県	熊本県球磨	多良木町多良木	1
佐賀県	佐賀県南部	佐賀市駅前中央	1

イ. 地震の特徴

この地震で最大の長周期地震動階級 2 を観測した鹿児島市東郡元では、2 秒台の周期成分で階級 2 を、3 秒台でも階級 1 を観測している（図 6-2 参照）。また、長周期地震動階級 1 を観測した霧島市隼人町内山田では 1 秒台、2 秒台に加え、7 秒台でも階級 1 を観測しているが、絶対速度応答スペクトルでは周期 5 秒付近から長周期側で振幅が大きくなる傾向が見られる（図 6-3 参照）。これら以外の他の多くの観測点でも長周期成分が卓越したが、これは震源が浅かったために表面波が強く励起されたことによると考えられる。このことは、表面波の影響を受けやすい気象庁マグニチュード (Mj7.1) がモーメントマグニチュード (Mw6.7) より大きめに算出されたことから推測される。

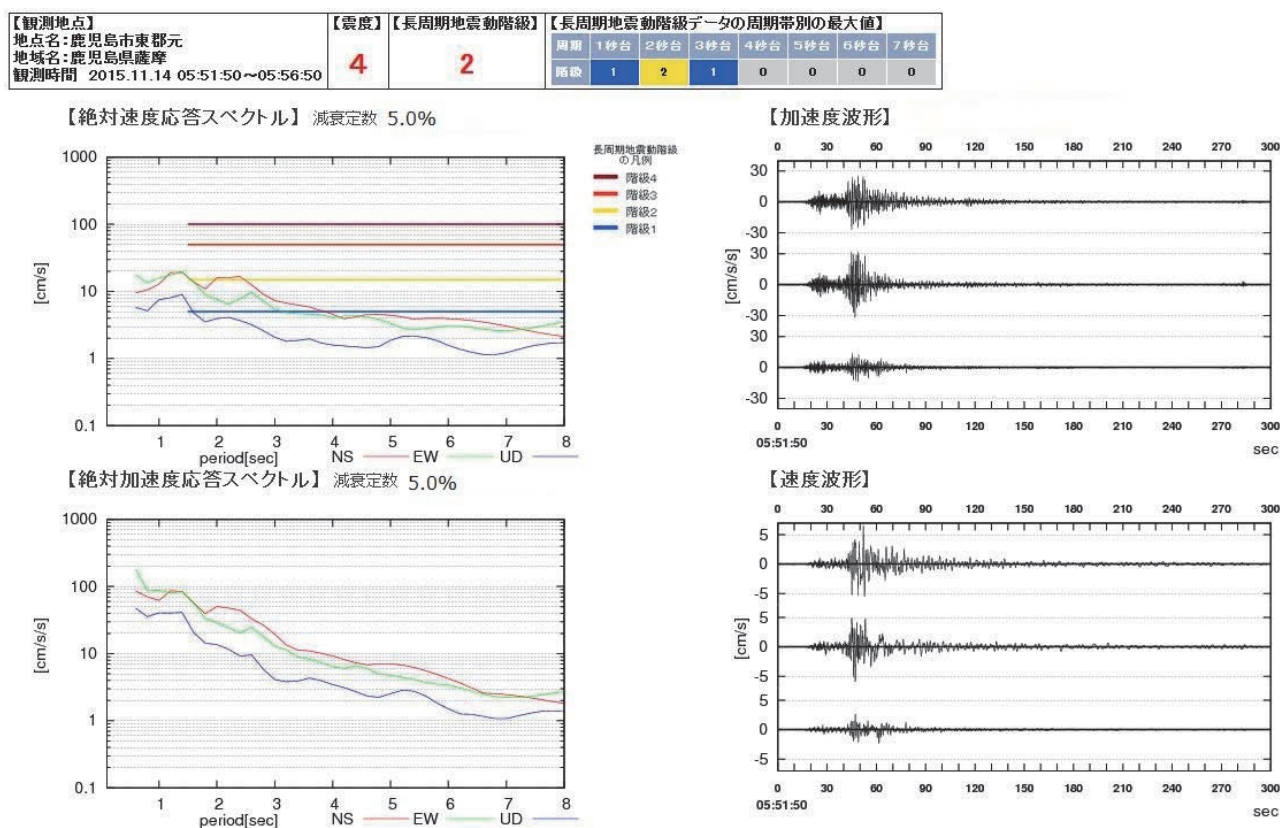


図 6-2 鹿児島市東郡元で観測された地震波形・応答スペクトルと長周期地震動階級

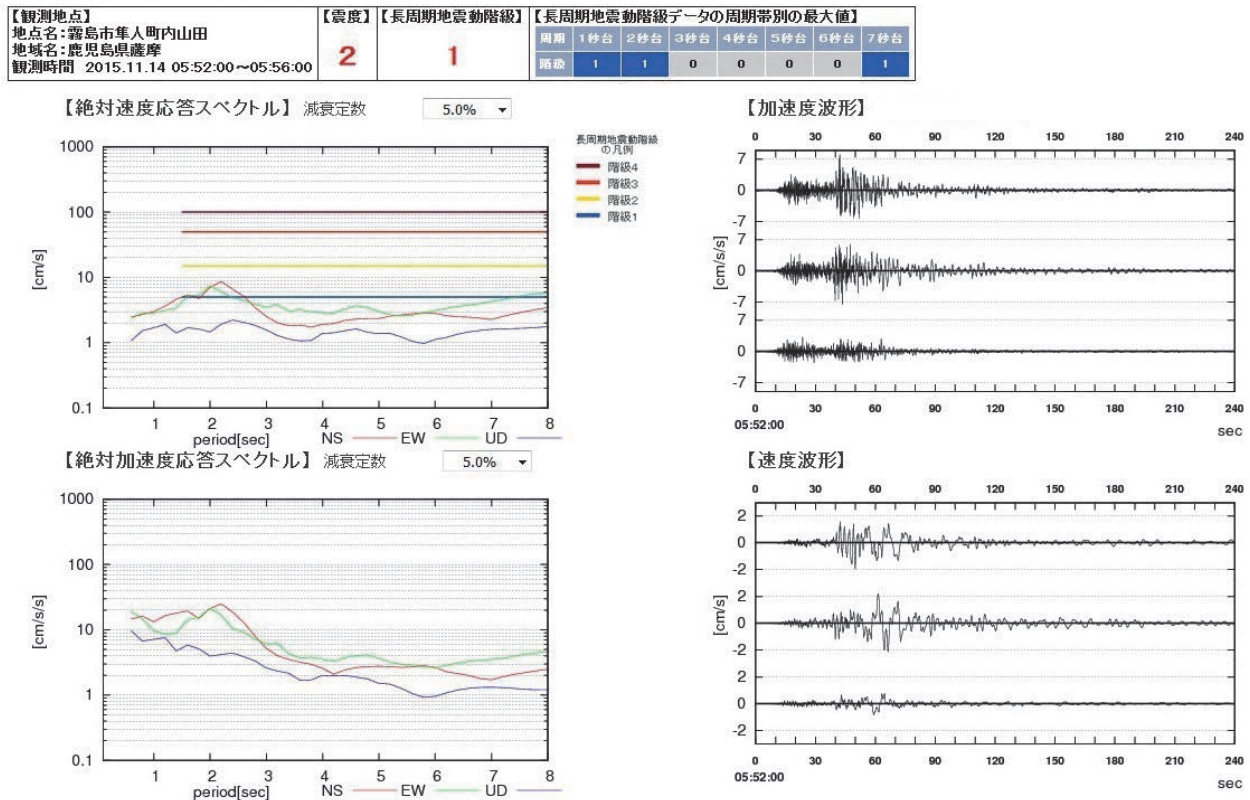


図 6－3 霧島市隼人町内山田で観測された地震波形・応答スペクトルと長周期地震動階級

図 6－2、図 6－3 の説明

- 上 観測点名，地域名称，地震波形の観測時間，観測点における震度，観測点における長周期地震動階級，観測点における周期区分別の長周期地震動階級データの最大値．周期区分は，周期 1.6 秒～周期 1.8 秒を 1 秒台，周期 2.0 秒～周期 2.8 秒を 2 秒台，周期 3.0 秒～周期 3.8 秒を 3 秒台，周期 4.0 秒～周期 4.8 秒を 4 秒台，周期 5.0 秒～周期 5.8 秒を 5 秒台，周期 6.0 秒～周期 6.8 秒を 6 秒台，周期 7.0 秒～周期 7.8 秒を 7 秒台と表示している．長周期地震動階級に関する詳細は，地震・火山月報（防災編）平成 26 年 12 月号「付録 5．長周期地震動階級関連解説表」を参照．
- 中左 絶対速度応答スペクトルグラフ．横軸は周期（秒），縦軸は速度応答値（単位は cm/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の 3 成分について表示した．減衰定数 5% はビル設計に一般的に用いられている値である．
- 下左 絶対加速度応答スペクトルグラフ．横軸は周期（秒），縦軸は加速度応答値（単位は cm/sec/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の 3 成分について表示した．減衰定数 5% はビル設計に一般的に用いられている値である．
- 中右 加速度波形表示．成分は、上から南北成分（NS），東西成分（EW），上下成分（UD）である 3 成分とも同一スケール．
- 下右 速度波形表示．成分は、上から南北成分（NS），東西成分（EW），上下成分（UD）である 3 成分とも同一スケール．

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 12 48	青森県東方沖 北海道 3 函館市泊町*=2.9 様似町栄町*=2.8 むかわ町松風*=2.6 2 千歳市若草*=2.4 新冠町北星町*=2.4 安平町早来北進*=2.3 日高地方日高町門別*=2.3 平取町振内*=2.3 厚真町鹿沼=2.3 新ひだか町静内山手町=2.3 むかわ町穂別*=2.2 浦幌町桜町*=2.1 函館市新浜町*=2.1 えりも町えりも岬*=2.1 新千歳空港=2.0 新ひだか町三石旭町*=2.0 浦河町潮見=2.0 苫小牧市旭町*=2.0 苫小牧市末広町=1.9 浦河町築地*=1.9 千歳市北栄=1.9 恵庭市京町*=1.8 新ひだか町静内御幸町*=1.8 厚真町京町*=1.8 千歳市支笏湖温泉*=1.8 安平町追分柏が丘*=1.8 十勝大樹町東本通*=1.7 胆振伊達市大滝区本町*=1.7 札幌東区元町*=1.7 南幌町栄町*=1.7 三笠市幸町*=1.6 室蘭市寿町*=1.6 幕別町忠類錦町*=1.6 札幌南区真駒内*=1.6 浦河町野深=1.6 長沼町中央*=1.6 新篠津村第 4 7 線*=1.5 壮瞥町滝之町*=1.5 江別市緑町*=1.5 釧路市音別町中園*=1.5 渡島森町砂原*=1.5 1 北広島市共栄*=1.4 函館市日ノ浜町*=1.4 登別市鉱山=1.4 登別市桜木町*=1.4 白老町大町=1.4 帯広市東 4 条=1.4 帯広市東 6 条*=1.4 十勝清水町南 4 条=1.3 芽室町東 2 条*=1.3 十勝池田町西 1 条*=1.3 広尾町並木通=1.3 胆振伊達市梅本=1.3 洞爺湖町洞爺町*=1.3 札幌清田区平岡*=1.3 札幌白石区北郷*=1.3 札幌厚別区もみじ台*=1.3 岩見沢市栗沢町東本町*=1.3 栗山町松風*=1.3 白老町緑丘*=1.2 新得町 2 条*=1.2 豊頃町茂岩本町*=1.2 十勝大樹町生花*=1.2 函館市川汲町*=1.2 釧路市阿寒町中央*=1.2 標津町北 2 条*=1.2 洞爺湖町栄町*=1.2 音更町元町*=1.2 鹿部町宮浜*=1.2 夕張市若菜=1.1 岩見沢市 5 条=1.1 広尾町白樺通=1.1 札幌北区新琴似*=1.1 白糠町西 1 条*=1.1 平取町本町*=1.1 新ひだか町静内御園=1.1 鹿追町東町*=1.1 札幌北区太平*=1.1 本別町向陽町*=1.1 更別村更別*=1.1 札幌手稲区前田*=1.0 別海町常盤=1.0 由仁町新光*=1.0 江別市高砂町=1.0 札幌北区篠路*=1.0 月形町円山公園*=0.9 札幌南区簾舞*=0.9 札幌豊平区月寒東*=0.9 本別町北 2 丁目=0.9 岩見沢市鳩が丘*=0.9 中札内村東 2 条*=0.9 七飯町桜町=0.9 美唄市西 5 条=0.9 七飯町本町*=0.9 長万部町平里*=0.9 えりも町目黒*=0.8 標茶町塘路*=0.8 福島町福島*=0.8 美唄市西 3 条*=0.8 小樽市勝納町=0.8 函館市美原=0.8 石狩市聚富=0.8 土幌町土幌*=0.8 恵庭市漁平=0.8 渡島森町上台町*=0.8 ニセコ町中央通*=0.7 喜茂別町喜茂別*=0.7 渡島森町御幸町=0.7 函館市尾札部町=0.7 新ひだか町静内農屋*=0.7 別海町本別海*=0.7 えりも町本町=0.7 当別町白樺*=0.6 厚沢町町木間内*=0.6 平取町仁世字=0.6 渡島北斗市本町*=0.6 豊浦町大岸*=0.6 釧路市音別町尺別=0.6 札幌中央区北 2 条=0.5 上士幌町清水谷*=0.5 青森県 3 東通村砂子又沢内*=3.2 階上町道仏*=3.1 東通村砂子又蒲谷地=2.9 むつ市金曲=2.5 2 八戸市南郷*=2.2 野辺地町田狭沢*=2.2 八戸市湊町=2.1 八戸市内丸*=2.1 六ヶ所村尾駈=2.1 青森南部町苦米地*=2.1 五戸町古館=2.0 むつ市金谷*=2.0 三沢市桜町*=1.9 おいらせ町中下田*=1.9 むつ市大畑町中島*=1.9 大間町大間*=1.9 野辺地町野辺地*=1.9 青森南部町平*=1.8 七戸町森ノ上*=1.8 六戸町大落瀬*=1.8 東北町上北南*=1.8 五戸町倉中市*=1.7 東通村尻屋*=1.7 東通村白糠*=1.7 おいらせ町上明堂*=1.6 横浜町林ノ脇*=1.6 平内町小湊=1.6 外ヶ浜町蟹田*=1.5 七戸町七戸*=1.5 岩手県 1 十和田市西十二番町*=1.4 東北町塔ノ沢山*=1.4 六ヶ所村出戸=1.4 むつ市川内町*=1.4 十和田市西二番町*=1.3 横浜町寺下*=1.3 三戸町在府小路町*=1.3 青森南部町沖田面*=1.3 風間浦村易国間*=1.3 佐井村佐井*=1.3 むつ市大畑町奥薬研=1.2 十和田市奥瀬*=1.2 青森市浪岡*=1.1 青森市花園=1.0 青森市中央*=1.0 今別町今別*=1.0 藤崎町西豊田*=1.0 藤崎町水木*=1.0 田舎館村田舎館*=0.9 平内町東田沢*=0.9 中泊町中里*=0.9 つがる市稲垣町*=0.8 八戸市島守*=0.8 五所川原市敷島町*=0.8 五所川原市金木町*=0.8 蓬田村蓬田*=0.8 つがる市木造*=0.8 むつ市脇野沢*=0.8 つがる市車力町*=0.8 つがる市柏*=0.7 佐井村長後*=0.7 平川市猿賀*=0.7 2 盛岡市玉山区薮川*=2.1 久慈市枝成沢=2.0 軽米町軽米*=1.9 宮城県 1 普代村銅屋*=1.4 岩手洋野町種市=1.4 二戸市浄法寺町*=1.4 八幡平市田頭*=1.3 盛岡市玉山区洪民*=1.2 宮古市田老*=1.1 久慈市川崎町=1.1 野田村野田*=1.1 岩手洋野町大野*=1.1 九戸村伊保内*=1.1 矢巾町南矢幅*=1.1 一戸町高善寺*=1.0 宮古市区界*=1.0 二戸市福岡=0.9 遠野市青笹町*=0.9 宮古市川井*=0.9 宮古市五月町*=0.8 久慈市長内町*=0.8 釜石市中妻町*=0.8 盛岡市山王町=0.8 二戸市石切所*=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 八幡平市大更=0.8 岩手町五日市*=0.7 住田町世田米*=0.7 久慈市山形町*=0.6 山田町大沢*=0.6 花巻市大迫町=0.6 花巻市石鳥谷町*=0.6 北上市相去町*=0.6 遠野市宮守町*=0.6 一関市室根町*=0.6 宮古市茂市*=0.6 一関市千厩町*=0.5 葛巻町消防分署*=0.5 1 登米市迫町*=1.0 登米市南方町*=0.8 登米市登米町*=0.7 石巻市桃生町*=0.7 気仙沼市赤岩=0.6 気仙沼市笹が陣*=0.5	41° 34.0' N	142° 04.0' E	65km	M: 5.2
2	1 16 13	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 下呂市小坂町*=0.6 高山市久々野町*=0.5	36° 00.3' N	137° 20.1' E	5km	M: 2.7
3	1 21 04	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5	36° 44.0' N	140° 36.6' E	8km	M: 3.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
4	1 21 06	茨城県北部 茨城県	36° 44.1' N	140° 36.3' E	8km	M: 3.0
5	1 21 12	岩手県沖 岩手県	39° 06.7' N	142° 25.2' E	33km	M: 4.4
		1 高萩市安良川*=1.1				
		2 山田町大沢*=1.9 釜石市中妻町*=1.5 矢巾町南矢幅*=1.5 山田町八幡町=1.5				
		1 大船渡市大船渡町=1.4 花巻市東和町*=1.4 遠野市青笹町*=1.4 花巻市大迫町=1.3				
		一関市室根町*=1.3 宮古市川井*=1.2 宮古市五月町*=1.2 盛岡市山王町=1.2 滝沢市鶴飼*=1.2				
		宮古市区界*=1.1 遠野市宮守町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1				
		住田町世田米*=1.0 花巻市石鳥谷町*=1.0 宮古市鯉ヶ崎=1.0 盛岡市玉山区薮川*=1.0				
		盛岡市玉山区渋民*=1.0 八幡平市田頭*=1.0 釜石市只越町=1.0 西和賀町沢内川舟*=1.0				
		宮古市田老*=0.9 大船渡市猪川町=0.8 奥州市胆沢区*=0.8 一関市千厩町*=0.8 一関市花泉町*=0.7				
		花巻市大迫総合支所*=0.7 北上市相去町*=0.7 宮古市長沢=0.6 一関市大東町=0.6				
		盛岡市馬場町*=0.6 大槌町小槌*=0.6 宮古市茂市*=0.5 一関市東山町*=0.5 八幡平市大更=0.5				
		北上市柳原町=0.5				
		宮城県				
		2 南三陸町志津川=1.6				
		1 気仙沼市笹が陣*=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.8 栗原市栗駒=0.7				
		青森県				
		1 八戸市南郷*=0.9 階上町道仏*=0.9 五戸町古館=0.8 青森南部町苫米地*=0.8 八戸市湊町=0.5				
		秋田県				
		1 大仙市北長野*=0.5 大仙市高梨*=0.5				
6	2 03 02	福島県沖 福島県	37° 18.0' N	141° 11.3' E	37km	M: 3.6
		1 田村市都路町*=1.2 白河市新白河*=1.1 福島広野町下北迫大谷地原*=1.1 いわき市三和町=0.7				
		檜葉町北田*=0.7 田村市船引町=0.6 川内村上川内小山平*=0.6 川内村下川内=0.5				
7	2 08 08	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 54.7' N	130° 49.8' E	0km	M: 2.1
		1 霧島市横川町中ノ*=1.4				
8	2 12 34	青森県東方沖 青森県	40° 27.0' N	141° 58.3' E	66km	M: 3.9
		3 階上町道仏*=2.5				
		2 八戸市内丸*=1.7 青森南部町平*=1.7 八戸市湊町=1.7 青森南部町苫米地*=1.6				
		1 野辺地町田狭沢*=1.4 五戸町古館=1.4 東通村砂子又沢内*=1.3 八戸市南郷*=1.3				
		三戸町在府小路町*=1.2 五戸町倉中市*=1.1 十和田市奥瀬*=1.1 十和田市西二番町*=1.0				
		野辺地町野辺地*=1.0 横浜町林ノ脇*=0.9 佐井村長後*=0.9 七戸町森ノ上*=0.8				
		青森南部町沖田面*=0.8 東通村白糠*=0.8 六戸町大落瀬*=0.7 七戸町七戸*=0.7				
		東北町上北南*=0.7 おいらせ町中下田*=0.7 三沢市桜町*=0.7 おいらせ町上明堂*=0.6				
		外ヶ浜町蟹田*=0.6 横浜町寺下*=0.6 十和田市西十二番町*=0.5 八戸市島守=0.5				
		岩手県				
		2 岩手洋野町種市=2.0				
		1 野田村野田*=1.4 久慈市枝成沢=1.3 岩手洋野町大野*=1.3 久慈市川崎町=1.2 田野畑村田野畑=1.1				
		田野畑村役場*=1.1 二戸市浄法寺町*=1.1 軽米町軽米*=1.1 九戸村伊保内*=1.1 宮古市田老*=1.0				
		普代村銅屋*=1.0 二戸市福岡=0.9 宮古市鯉ヶ崎=0.9 八幡平市田頭*=0.8 久慈市長内町*=0.7				
		二戸市石切所*=0.6 葛巻町葛巻元木=0.5 葛巻町役場*=0.5 住田町世田米*=0.5				
		盛岡市玉山区渋民*=0.5 宮古市茂市*=0.5				
9	2 18 07	宮城県沖 宮城県	38° 36.1' N	142° 31.6' E	38km	M: 4.0
		1 気仙沼市笹が陣*=0.5				
10	3 01 43	沖縄本島近海 鹿児島県 沖縄県	27° 12.8' N	127° 39.2' E	90km	M: 4.3
		1 与論町茶花*=1.0 知名町瀬利覚=0.9 和泊町国頭=0.6				
		1 渡嘉敷村渡嘉敷*=1.3 渡名喜村渡名喜*=1.3 国頭村奥=1.2 国頭村辺土名*=1.2				
		今帰仁村仲宗根*=1.0 座間味村座間味*=0.9 本部町役場*=0.8 名護市港*=0.6 名護市豊原=0.5				
		東村平良*=0.5 伊平屋村我喜屋=0.5				
11	3 11 51	宮城県沖 岩手県	38° 27.1' N	141° 54.9' E	61km	M: 3.6
		1 一関市大東町=0.6 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.6 住田町世田米*=0.5				
12	3 12 46	福島県沖 福島県	37° 31.6' N	141° 23.5' E	51km	M: 3.2
		1 川内村下川内=0.6				
13	3 14 11	茨城県北部 茨城県	36° 40.3' N	140° 38.8' E	10km	M: 2.8
		1 高萩市安良川*=1.0 日立市助川小学校*=0.5				
14	3 14 38	福島県会津 福島県	37° 01.4' N	139° 20.9' E	7km	M: 2.3
		2 檜枝岐村上河原*=1.8				
15	3 19 04	福島県浜通り 福島県	37° 20.1' N	140° 53.0' E	97km	M: 3.5
		1 田村市都路町*=1.2 葛尾村落合落合*=0.9 いわき市三和町=0.6 小野町小野新町*=0.6				
		川内村下川内=0.5				
16	4 00 01	大阪府南部 大阪府	34° 28.3' N	135° 36.6' E	12km	M: 3.5
		2 河内長野市清見台*=2.4 河内長野市役所*=1.9				
		1 千早赤阪村水分*=1.3 河内町白木*=1.3 富田林市高辺台*=1.2 大阪狭山市狭山*=1.0				
		大阪太子町山田*=1.0 大阪堺市南区桃山台*=1.0 大阪堺市西区鳳東町*=0.9 富田林市本町=0.9				
		大阪堺市美原区黒山*=0.9 大阪住吉区遠里小野*=0.8 熊取町野田*=0.7 大阪和泉市府中町*=0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度	緯度 (計 測 震 度)	経度	深さ	規模		
17	4 00 55	奈良県	大阪堺市中区深井清水町=0.6 泉大津市東雲町*=0.6 泉南市男里*=0.5 忠岡町忠岡東*=0.5 2 御所市役所*=1.7 高取町観覚寺*=1.5 1 広陵町南郷*=1.4 香芝市本町*=1.0 葛城市長尾*=1.0 大和高田市野口*=0.8 大和高田市大中*=0.7 宇陀市大宇陀迫間*=0.7 上牧町上牧*=0.7 吉野町上市*=0.5 天川村洞川=0.5 橿原市八木町*=0.5 桜井市粟殿*=0.5 五條市本町*=0.5 斑鳩町法隆寺西*=0.5					
		兵庫県	1 三木市細川町=0.9 明石市中崎=0.5					
		和歌山県	1 橋本市東家*=1.2 かつらぎ町丁ノ町*=1.1 橋本市高野口町名倉*=0.7 高野町高野山中学校=0.7 紀の川市粉河=0.6					
		日向灘	32° 39.9' N 132° 00.6' E 36km M: 4.0					
		大分県	3 佐伯市蒲江蒲江浦=2.5 2 佐伯市鶴見*=2.4 佐伯市米水津*=2.1 豊後大野市清川町*=1.7 佐伯市上浦*=1.7 佐伯市春日町*=1.6 佐伯市蒲江猪串浦=1.6 1 津久見市宮本町*=1.4 佐伯市直川*=1.4 佐伯市弥生*=1.4 竹田市会々*=1.4 竹田市荻町*=1.3 佐伯市宇目*=1.2 佐伯市役所*=1.1 臼杵市臼杵*=1.1 津久見市立花町*=1.1 竹田市竹田小学校*=1.0 大分市佐賀関*=1.0 佐伯市本匠*=0.9 佐伯市堅田=0.8 大分市新春日町*=0.5					
		高知県	2 宿毛市桜町*=1.6 1 宿毛市片島=0.8 黒潮町佐賀*=0.5 黒潮町入野=0.5					
		宮崎県	2 延岡市北川町川内名白石*=1.8 延岡市北浦町古江*=1.6 1 延岡市天神小路=1.4 宮崎美郷町田代*=1.3 高千穂町三田井=1.0 延岡市北方町卯*=0.8 日向市大王谷運動公園=0.7 延岡市東本小路*=0.5 高千穂町寺迫*=0.5					
		愛媛県	1 愛南町一本松*=1.4 西予市明浜町*=1.1 愛南町船越*=1.1 宇和島市津島町*=1.0 愛南町城辺*=0.9 宇和島市住吉町=0.6 愛南町柏*=0.6					
		熊本県	1 産山村山鹿*=1.4 阿蘇市一の宮町*=0.5					
		18	4 03 55	三河湾	34° 45.3' N 136° 59.1' E 11km M: 2.6			
愛知県	1 愛知美浜町河和*=0.7							
19	4 08 56	茨城県沖	35° 55.4' N 141° 05.3' E 21km M: 4.2					
		茨城県	2 茨城鹿嶋市宮中*=1.9 小美玉市堅倉*=1.8 水戸市内原町*=1.8 ひたちなか市南神敷台*=1.7 潮来市辻*=1.7 鉾田市造谷*=1.7 笠間市石井*=1.7 稲敷市役所*=1.6 稲敷市須賀津*=1.6 土浦市常名=1.6 石岡市柿岡=1.6 行方市麻生*=1.5 稲敷市江戸崎甲*=1.5 鉾田市汲上*=1.5 東海村東海*=1.5 日立市助川小学校*=1.5 1 土浦市下高津*=1.4 つくば市研究学園*=1.4 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 美浦村受領*=1.4 鉾田市鉾田=1.3 潮来市堀之内=1.3 水戸市千波町*=1.3 笠間市笠間*=1.2 稲敷市柴崎*=1.2 稲敷市結佐*=1.2 筑西市門井*=1.2 かすみがうら市上土田*=1.2 行方市玉造*=1.2 桜川市羽田*=1.2 土浦市藤沢*=1.2 茨城町小堤*=1.2 大洗町磯浜町*=1.2 城里町石塚*=1.2 神栖市溝口*=1.1 行方市山田*=1.1 石岡市若宮*=1.1 牛久市城中町*=1.1 小美玉市上玉里*=1.1 筑西市舟生=1.1 那珂市福田*=1.1 水戸市金町=1.1 ひたちなか市東石川*=1.0 かすみがうら市大和田*=1.0 笠間市中央*=1.0 高萩市下手綱*=1.0 八千代町菅谷*=0.9 つくば市天王台*=0.9 日立市十王町友部*=0.9 那珂市瓜連*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 日立市役所*=0.9 ひたちなか市山ノ上町=0.9 高萩市安良川*=0.8 茨城古河市仁連*=0.8 笠間市下郷*=0.8 石岡市八郷*=0.8 取手市寺田*=0.8 筑西市海老ヶ島*=0.8 桜川市真壁*=0.7 つくば市小茎*=0.7 牛久市中央*=0.7 常陸大宮市北町*=0.6 常陸大宮市山方*=0.6 阿見町中央*=0.5					
		栃木県	2 真岡市石島*=1.8 1 宇都宮市中里町*=1.1 益子町益子=1.0 小山市神鳥谷*=0.9 下野市石橋*=0.8 下野市田中*=0.8 那須烏山市中央=0.7 宇都宮市明保野町=0.5					
		千葉県	2 野田市鶴奉*=1.6 1 香取市役所*=1.4 香取市仁良*=1.4 香取市佐原平田=1.3 神崎町神崎本宿*=1.1 成田市花崎町=1.0 香取市佐原諏訪台*=0.9 成田市松子*=0.9 白井市復*=0.9 多古町多古=0.8 芝山町小池*=0.7 栄町安食台*=0.7 香取市岩部*=0.5 柏市旭町=0.5 八千代市大和田新田*=0.5					
		埼玉県	1 春日部市粕壁*=0.8 春日部市谷原新田*=0.8 加須市大利根*=0.6 春日部市金崎*=0.6 久喜市下早見=0.5 久喜市青葉*=0.5					
		20	4 15 28	茨城県北部	36° 47.6' N 140° 35.2' E 7km M: 3.1			
				福島県	1 矢祭町戸塚*=0.6			
		21	4 22 47	茨城県	1 高萩市安良川*=0.8			
				根室半島南東沖	43° 20.2' N 146° 02.7' E 92km M: 4.6			
		22	4 23 01	北海道	2 根室市牧の内*=2.2 根室市落石東*=2.2 別海町西春別*=2.1 標茶町塘路*=2.1 別海町常盤=2.1 浜中町霧多布*=2.0 中標津町丸山*=2.0 釧路町別保*=1.9 根室市瑤瑠瑠*=1.9 別海町本別海*=1.8 根室市弥栄=1.7 釧路市黒金町*=1.6 釧路市幸町=1.6 標津町北2条*=1.5 厚岸町尾幌=1.5 1 釧路市阿寒町中央*=1.4 鶴居村鶴居東*=1.4 中標津町養老牛=1.4 厚岸町真栄*=1.3 標茶町川上*=1.2 浦幌町桜町*=1.2 白糠町西1条*=1.2 十勝大樹町生花*=1.2 根室市豊里=1.2 羅臼町岬町*=1.1 十勝池田町西1条*=1.1 釧路市音別町中園*=1.0 弟子屈町弟子屈*=0.9 斜里町ウトロ香川*=0.9 浜中町湯沸=0.9 弟子屈町サウンチサップ*=0.7 弟子屈町美里=0.6 羅臼町春日=0.5 本別町北2丁目=0.5 標津町薫別*=0.5			
千葉県東方沖	35° 47.0' N 141° 03.4' E 28km M: 3.6							
茨城県	1 神栖市波崎*=0.8 神栖市溝口*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.6							
千葉県	1 旭市南堀之内*=1.2 銚子市若宮町*=1.0 銚子市川口町=0.7 旭市ニ*=0.7 多古町多古=0.7 香取市仁良*=0.7 旭市萩園*=0.6							

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
23	4 23 56	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 51.4' N	142° 03.0' E	46km	M: 3.5 1 一関市室根町*=1.0 一関市千厩町*=0.7 一関市藤沢町*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.8 南三陸町志津川=0.5
24	5 13 06	福島県中通り 福島県	37° 02.7' N	140° 32.6' E	8km	M: 2.8 1 古殿町松川横川=0.9 古殿町松川新桑原*=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.5
25	5 17 23	八丈島東方沖 東京都	32° 17.5' N	140° 59.0' E	37km	M: 5.1 1 青ヶ島村=0.7
26	5 17 38	福島県会津 福島県	37° 02.8' N	139° 20.4' E	7km	M: 1.9 1 檜枝岐村上河原*=1.2
27	5 20 58	埼玉県北部 埼玉県	36° 06.2' N	139° 41.9' E	85km	M: 3.1 1 東松山市松葉町*=0.5 滑川町福田*=0.5
28	6 00 35	北海道東方沖 北海道	43° 19.1' N	146° 55.7' E	43km	M: 4.3 1 根室市瑤瑤瑠*=0.7
29	6 03 02	三陸沖 岩手県 宮城県	39° 22.3' N	143° 41.6' E	35km	M: 5.0 1 盛岡市玉山区薮川*=1.1 1 登米市迫町*=0.7 登米市登米町*=0.6
30	6 08 30	根室半島南東沖 北海道	42° 56.7' N	146° 28.7' E	57km	M: 4.1 1 根室市落石東*=0.9 根室市瑤瑤瑠*=0.9 根室市牧の内*=0.7
31	6 11 07	豊後水道 愛媛県	33° 17.8' N	132° 12.0' E	44km	M: 3.0 1 大洲市肱川町*=0.8 伊方町湊浦*=0.5
32	6 18 58	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 20.9' N	136° 28.0' E	8km	M: 2.1 1 関ヶ原町関ヶ原*=0.7
33	6 22 16	詳細不明 東京都				1 小笠原村母島=0.8
34	6 23 18	滋賀県北部 滋賀県	35° 21.8' N	135° 56.1' E	11km	M: 2.2 1 高島市朽木柏*=1.0 高島市朽木市場*=0.8
35	7 01 55	兵庫県南西部 兵庫県	34° 58.2' N	134° 48.6' E	14km	M: 3.1 1 多可町八千代区*=1.4 朝来市生野町*=1.1 市川町西川辺*=1.0 加東市河高*=0.8 加西市下万願寺町=0.7 多可町加美区*=0.6
36	7 03 19	兵庫県南西部 兵庫県	34° 57.1' N	134° 35.6' E	14km	M: 3.1 1 姫路市豊富*=0.7 市川町西川辺*=0.7 加古川市加古川町=0.6 多可町八千代区*=0.5
37	7 04 20	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 48.3' N	140° 51.9' E	15km	M: 3.2 1 神栖市波崎*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 1 香取市仁良*=0.6
38	7 13 58	十勝地方南部 北海道	42° 20.8' N	143° 06.3' E	49km	M: 3.4 1 更別村更別*=0.8
39	7 15 10	福島県中通り 福島県	36° 53.1' N	140° 30.5' E	7km	M: 2.7 1 矢祭町戸塚*=0.8
40	7 20 22	釧路沖 北海道	42° 23.5' N	144° 36.6' E	28km	M: 3.8 1 標茶町塘路*=0.5
41	7 22 44	茨城県南部 栃木県	35° 59.3' N	139° 57.6' E	101km	M: 4.9 4 下野市田中*=3.6 3 高根沢町石末*=3.3 宇都宮市中里町*=3.2 鹿沼市晃望台*=3.1 宇都宮市明保野町=3.1 宇都宮市白沢町*=3.0 下野市石橋*=2.9 日光市鬼怒川温泉大原*=2.7 真岡市石島*=2.7 小山市神鳥谷*=2.6 真岡市田町*=2.6 栃木市西方町本城*=2.6 栃木市藤岡町藤岡*=2.5 下野市小金井*=2.5 佐野市亀井町*=2.5 日光市中鉢石町*=2.5 鹿沼市口栗野*=2.5 日光市今市本町*=2.5 足利市大正町*=2.5 栃木市大平町富田*=2.5 壬生町通町*=2.5 2 大田原市湯津上*=2.4 栃木市旭町=2.4 栃木市岩舟町静*=2.4 佐野市葛生東*=2.4 小山市中央町*=2.4 真岡市荒町*=2.4 上三川町しらさぎ*=2.4 益子町益子=2.4 芳賀町祖母井*=2.4 鹿沼市今宮町*=2.3 日光市芹沼*=2.3 日光市日蔭*=2.3 宇都宮市塙田*=2.3 茂木町茂木*=2.3 宇都宮市旭*=2.3 佐野市中町*=2.3 佐野市田沼町*=2.3 野木町丸林*=2.2 栃木市万町*=2.1 栃木市都賀町家中*=2.0 日光市瀬川=2.0 栃木さくら市氏家*=2.0 日光市湯元*=2.0 日光市足尾町中才*=2.0 那須烏山市大金*=1.9 栃木那珂川町馬頭*=1.9 那須塩原市塩原庁舎*=1.9 市貝町市塙*=1.9 矢板市本町*=1.8 塩谷町玉生*=1.8 那須町寺子*=1.8 栃木那珂川町小川*=1.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		日光市藤原*=1.7 日光市足尾町通洞*=1.7 栃木さくら市喜連川*=1.7 那須烏山市中央=1.7 日光市中宮祠=1.5 那須塩原市あたご町*=1.5 1 茂木町北高岡天矢場*=1.4 大田原市黒羽田町=1.3 大田原市本町*=1.3 那須塩原市墓沼=1.1 那須塩原市鍋掛*=1.0 那須塩原市中塩原*=1.0 那須烏山市役所*=1.0 那須塩原市共豊社*=0.9 3 筑西市舟生=3.3 桜川市岩瀬*=2.7 石岡市柿岡=2.7 筑西市門井*=2.7 笠間市石井*=2.6 桜川市真壁*=2.6 桜川市羽田*=2.6 石岡市八郷*=2.6 筑西市下中山*=2.5 2 水戸市内原町*=2.4 笠間市笠間*=2.4 常陸大宮市野口*=2.4 小美玉市小川*=2.4 小美玉市上玉里*=2.4 結城市結城*=2.4 かすみがうら市上土田*=2.3 土浦市藤沢*=2.3 高萩市下手綱*=2.3 坂東市馬立*=2.3 土浦市常名=2.2 土浦市下高津*=2.2 笠間市下郷*=2.2 石岡市若宮*=2.2 城里町石塚*=2.2 笠間市中央*=2.2 筑西市海老ヶ島*=2.2 茨城町小堤*=2.2 常総市新石下*=2.2 日立市役所*=2.1 東海村東海*=2.1 茨城古河市下大野*=2.1 小美玉市堅倉*=2.1 常陸大宮市山方*=2.1 下妻市本城町*=2.1 つくば市天王台*=2.1 常陸太田市金井町*=2.1 稲敷市役所*=2.1 大子町池田*=2.0 取手市井野*=2.0 城里町徳蔵*=2.0 八千代町菅谷*=2.0 常陸大宮市北町*=2.0 坂東市山*=2.0 日立市助川小学校*=2.0 下妻市鬼怒*=1.9 境町旭町*=1.9 かすみがうら市大和田*=1.9 坂東市岩井=1.9 常総市水海道諏訪町*=1.9 つくばみらい市福田*=1.9 取手市寺田*=1.9 茨城古河市仁連*=1.9 城里町阿波山*=1.9 五霞町小福田*=1.8 常陸大宮市上小瀬*=1.8 つくばみらい市加藤*=1.8 牛久市城中町*=1.8 茨城古河市長谷町*=1.8 行方市玉造*=1.7 水戸市千波町*=1.7 稲敷市江戸崎町*=1.7 稲敷市結佐*=1.7 つくば市研究学園*=1.7 つくば市小茎*=1.7 龍ヶ崎市役所*=1.6 稲敷市柴崎*=1.6 常陸太田市町屋町=1.6 常陸太田市高柿町*=1.6 高萩市安良川*=1.6 河内町源清田*=1.6 水戸市金町=1.6 美浦村受領*=1.5 阿見町中央*=1.5 北茨城市磯原町*=1.5 守谷市大柏*=1.5 ひたちなか市南神敷台*=1.5 1 日立市十王町友部*=1.4 常陸太田市大中町*=1.4 常陸大宮市中富町=1.4 那珂市福田*=1.4 那珂市瓜連*=1.4 常陸大宮市高部*=1.3 取手市藤代*=1.3 牛久市中央*=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.3 行方市麻生*=1.3 鉾田市鉾田=1.3 鉾田市造谷*=1.3 鉾田市汲上*=1.3 ひたちなか市東石川*=1.3 茨城鹿嶋市宮中*=1.2 利根町布川=1.1 常陸太田市町田町*=1.1 行方市山田*=1.0 潮来市堀之内=1.0 潮来市辻*=1.0 稲敷市須賀津*=1.0 ひたちなか市山ノ上町=0.7 3 桐生市新里町*=2.9 沼田市利根町*=2.8 太田市浜町*=2.8 大泉町日の出*=2.8 邑楽町中野*=2.8 片品村東小川=2.7 伊勢崎市東町*=2.7 太田市西本町*=2.7 館林市美園町*=2.7 前橋市粕川町*=2.6 桐生市元宿町*=2.6 桐生市黒保根町*=2.6 伊勢崎市西久保町*=2.6 渋川市吹屋*=2.6 板倉町板倉=2.6 沼田市白沢町*=2.5 館林市城町*=2.5 前橋市堀越町*=2.5 2 千代田町赤岩*=2.4 沼田市西倉内町=2.3 太田市大原町*=2.3 みどり市東町*=2.3 みどり市笠懸町*=2.3 みどり市大間々町*=2.3 沼田市下久屋町*=2.2 片品村鎌田*=2.2 群馬明和町新里*=2.2 東吾妻町奥田*=2.1 前橋市富士見町*=2.1 前橋市鼻石町*=2.1 渋川市伊香保町*=2.1 太田市新田金井町*=2.0 桐生市織姫町=2.0 吉岡町下野田*=1.9 群馬昭和村糸井*=1.9 渋川市石原*=1.9 前橋市大手町*=1.7 高崎市足門町*=1.7 高崎市吉井町吉井川*=1.7 伊勢崎市今泉町*=1.7 太田市粕川町*=1.7 渋川市村上*=1.7 東吾妻町原町=1.6 神流町生利*=1.6 甘楽町小幡*=1.6 前橋市駒形町*=1.5 藤岡市鬼石*=1.5 富岡市七日市=1.5 安中市安中*=1.5 神流町神ヶ原*=1.5 中之条町中之条町*=1.5 伊勢崎市境*=1.5 みなかみ町鹿野沢*=1.5 渋川市有馬*=1.5 渋川市北橋町*=1.5 1 群馬高山村中山*=1.4 川場村谷地*=1.4 東吾妻町本宿*=1.4 安中市松井田町*=1.4 榛東村新井*=1.4 玉村町下新田*=1.4 高崎市箕郷町*=1.3 中之条町日影=1.2 みなかみ町布施*=1.2 高崎市高松町*=1.2 高崎市新町*=1.2 富岡市妙義町*=1.2 みなかみ町後閑*=1.1 前橋市昭和町=1.1 高崎市倉渕町*=1.1 群馬上野村川和*=1.0 長野原町長野原*=1.0 下仁田町下小坂*=0.8 高崎山下室田*=0.5 3 行田市南河原*=2.6 加須市大利根*=2.6 久喜市下早見=2.6 宮代町笠原*=2.6 加須市北川辺*=2.5 2 行田市本丸*=2.4 加須市下三俣*=2.3 滑川町福田*=2.3 熊谷市江南*=2.2 加須市騎西*=2.2 本庄市尻玉町=2.2 東松山市松葉町*=2.2 久喜市栗橋*=2.2 川口市青木分室*=2.2 長瀬町野上下郷*=2.2 熊谷市妻沼*=2.1 久喜市青葉*=2.1 久喜市鷺宮*=2.1 埼玉美里町木部*=2.1 川口市青木*=2.1 幸手市東*=2.1 春日部市粕壁*=2.0 熊谷市大里*=2.0 さいたま緑区中尾*=2.0 東松山市市ノ川*=2.0 鴻巣市川里*=1.9 深谷市川本*=1.9 川口市三ツ和*=1.9 熊谷市宮町*=1.9 春日部市金崎*=1.9 春日部市谷原新田*=1.9 戸田市上戸田*=1.9 桶川市上日出谷*=1.9 さいたま北区宮原*=1.9 羽生市東*=1.9 さいたま大宮区天沼町*=1.8 さいたま南区別所*=1.8 嵐山町杉山*=1.8 小川町大塚*=1.8 鴻巣市吹上富士見*=1.8 上尾市本町*=1.8 久喜市菖蒲*=1.8 さいたま見沼区堀崎*=1.7 さいたま浦和区高砂=1.7 さいたま岩槻区本丸*=1.7 吉見町下細谷*=1.7 ときがわ町桃木*=1.7 草加市高砂*=1.7 鴻巣市中央*=1.7 北本市本町*=1.7 杉戸町清地*=1.7 狭山市入間川*=1.6 蕨市中央*=1.6 新座市野火止*=1.6 熊谷市桜町=1.6 川島町平沼*=1.6 白岡市千駄野*=1.6 長瀬町本野上*=1.6 さいたま西区指扇*=1.5 東秩父村御堂*=1.5 埼玉神川町植竹*=1.5 埼玉神川町下阿久原*=1.5 寄居町寄居*=1.5 1 深谷市岡部*=1.4 ときがわ町玉川*=1.4 所沢市北有楽町*=1.4 伊奈町小室*=1.4 越生町越生*=1.4 さいたま中央区下落合*=1.4 皆野町皆野*=1.4 入間市豊岡*=1.3 和光市広沢*=1.3 富士見市鶴馬*=1.3 坂戸市千代田*=1.3 毛呂山町中央*=1.3 さいたま大宮区大門*=1.3 川越市旭町=1.2 川越市新宿町*=1.2 八潮市中央*=1.2 三郷市幸房*=1.2 蓮田市黒浜*=1.2 吉川市吉川*=1.2 さいたま浦和区常盤*=1.2 秩父市近戸町*=1.2 深谷市仲町*=1.2 鳩山町大豆戸=1.2 埼玉三芳町藤久保*=1.1 松伏町松伏*=1.1 朝霞市本町*=1.1 秩父市上町=1.1 志木市中宗岡*=1.1 秩父市中津川*=1.1 鶴ヶ島市三ツ木*=1.0 さいたま桜区道場*=1.0 横瀬町横瀬*=1.0 小鹿野町小鹿野*=0.9 上里町七本木*=0.9 所沢市並木*=0.9 飯能市征矢町*=0.9 秩父市吉田*=0.9 本庄市本庄*=0.9 日高市南平沢*=0.8 小鹿野町役場両神庁舎*=0.8 飯能市名栗*=0.8 秩父市荒川*=0.7 ふじみ野市福岡*=0.6 ふじみ野市大井*=0.6 2 白河市表郷*=1.8 白河市東*=1.7 泉崎村泉崎*=1.7 白河市新白河*=1.6 郡山市湖南町*=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 玉川村小高*=1.6 いわき市小名浜=1.6 いわき市錦町*=1.6 南相馬市小高区=1.6 浪江町幾世橋=1.5 西郷村熊倉*=1.5 白河市大信*=1.5 1 須賀川市八幡山*=1.4 矢祭町東館*=1.4 田村市都路町*=1.4 いわき市三和町=1.4 浅川町浅川*=1.3				
		日光市藤原*=1.7 日光市足尾町通洞*=1.7 栃木さくら市喜連川*=1.7 那須烏山市中央=1.7 日光市中宮祠=1.5 那須塩原市あたご町*=1.5 1 茂木町北高岡天矢場*=1.4 大田原市黒羽田町=1.3 大田原市本町*=1.3 那須塩原市墓沼=1.1 那須塩原市鍋掛*=1.0 那須塩原市中塩原*=1.0 那須烏山市役所*=1.0 那須塩原市共豊社*=0.9 3 筑西市舟生=3.3 桜川市岩瀬*=2.7 石岡市柿岡=2.7 筑西市門井*=2.7 笠間市石井*=2.6 桜川市真壁*=2.6 桜川市羽田*=2.6 石岡市八郷*=2.6 筑西市下中山*=2.5 2 水戸市内原町*=2.4 笠間市笠間*=2.4 常陸大宮市野口*=2.4 小美玉市小川*=2.4 小美玉市上玉里*=2.4 結城市結城*=2.4 かすみがうら市上土田*=2.3 土浦市藤沢*=2.3 高萩市下手綱*=2.3 坂東市馬立*=2.3 土浦市常名=2.2 土浦市下高津*=2.2 笠間市下郷*=2.2 石岡市若宮*=2.2 城里町石塚*=2.2 笠間市中央*=2.2 筑西市海老ヶ島*=2.2 茨城町小堤*=2.2 常総市新石下*=2.2 日立市役所*=2.1 東海村東海*=2.1 茨城古河市下大野*=2.1 小美玉市堅倉*=2.1 常陸大宮市山方*=2.1 下妻市本城町*=2.1 つくば市天王台*=2.1 常陸太田市金井町*=2.1 稲敷市役所*=2.1 大子町池田*=2.0 取手市井野*=2.0 城里町徳蔵*=2.0 八千代町菅谷*=2.0 常陸大宮市北町*=2.0 坂東市山*=2.0 日立市助川小学校*=2.0 下妻市鬼怒*=1.9 境町旭町*=1.9 かすみがうら市大和田*=1.9 坂東市岩井=1.9 常総市水海道諏訪町*=1.9 つくばみらい市福田*=1.9 取手市寺田*=1.9 茨城古河市仁連*=1.9 城里町阿波山*=1.9 五霞町小福田*=1.8 常陸大宮市上小瀬*=1.8 つくばみらい市加藤*=1.8 牛久市城中町*=1.8 茨城古河市長谷町*=1.8 行方市玉造*=1.7 水戸市千波町*=1.7 稲敷市江戸崎町*=1.7 稲敷市結佐*=1.7 つくば市研究学園*=1.7 つくば市小茎*=1.7 龍ヶ崎市役所*=1.6 稲敷市柴崎*=1.6 常陸太田市町屋町=1.6 常陸太田市高柿町*=1.6 高萩市安良川*=1.6 河内町源清田*=1.6 水戸市金町=1.6 美浦村受領*=1.5 阿見町中央*=1.5 北茨城市磯原町*=1.5 守谷市大柏*=1.5 ひたちなか市南神敷台*=1.5 1 日立市十王町友部*=1.4 常陸太田市大中町*=1.4 常陸大宮市中富町=1.4 那珂市福田*=1.4 那珂市瓜連*=1.4 常陸大宮市高部*=1.3 取手市藤代*=1.3 牛久市中央*=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.3 行方市麻生*=1.3 鉾田市鉾田=1.3 鉾田市造谷*=1.3 鉾田市汲上*=1.3 ひたちなか市東石川*=1.3 茨城鹿嶋市宮中*=1.2 利根町布川=1.1 常陸太田市町田町*=1.1 行方市山田*=1.0 潮来市堀之内=1.0 潮来市辻*=1.0 稲敷市須賀津*=1.0 ひたちなか市山ノ上町=0.7 3 桐生市新里町*=2.9 沼田市利根町*=2.8 太田市浜町*=2.8 大泉町日の出*=2.8 邑楽町中野*=2.8 片品村東小川=2.7 伊勢崎市東町*=2.7 太田市西本町*=2.7 館林市美園町*=2.7 前橋市粕川町*=2.6 桐生市元宿町*=2.6 桐生市黒保根町*=2.6 伊勢崎市西久保町*=2.6 渋川市吹屋*=2.6 板倉町板倉=2.6 沼田市白沢町*=2.5 館林市城町*=2.5 前橋市堀越町*=2.5 2 千代田町赤岩*=2.4 沼田市西倉内町=2.3 太田市大原町*=2.3 みどり市東町*=2.3 みどり市笠懸町*=2.3 みどり市大間々町*=2.3 沼田市下久屋町*=2.2 片品村鎌田*=2.2 群馬明和町新里*=2.2 東吾妻町奥田*=2.1 前橋市富士見町*=2.1 前橋市鼻石町*=2.1 渋川市伊香保町*=2.1 太田市新田金井町*=2.0 桐生市織姫町=2.0 吉岡町下野田*=1.9 群馬昭和村糸井*=1.9 渋川市石原*=1.9 前橋市大手町*=1.7 高崎市足門町*=1.7 高崎市吉井町吉井川*=1.7 伊勢崎市今泉町*=1.7 太田市粕川町*=1.7 渋川市村上*=1.7 東吾妻町原町=1.6 神流町生利*=1.6 甘楽町小幡*=1.6 前橋市駒形町*=1.5 藤岡市鬼石*=1.5 富岡市七日市=1.5 安中市安中*=1.5 神流町神ヶ原*=1.5 中之条町中之条町*=1.5 伊勢崎市境*=1.5 みなかみ町鹿野沢*=1.5 渋川市有馬*=1.5 渋川市北橋町*=1.5 1 群馬高山村中山*=1.4 川場村谷地*=1.4 東吾妻町本宿*=1.4 安中市松井田町*=1.4 榛東村新井*=1.4 玉村町下新田*=1.4 高崎市箕郷町*=1.3 中之条町日影=1.2 みなかみ町布施*=1.2 高崎市高松町*=1.2 高崎市新町*=1.2 富岡市妙義町*=1.2 みなかみ町後閑*=1.1 前橋市昭和町=1.1 高崎市倉渕町*=1.1 群馬上野村川和*=1.0 長野原町長野原*=1.0 下仁田町下小坂*=0.8 高崎山下室田*=0.5 3 行田市南河原*=2.6 加須市大利根*=2.6 久喜市下早見=2.6 宮代町笠原*=2.6 加須市北川辺*=2.5 2 行田市本丸*=2.4 加須市下三俣*=2.3 滑川町福田*=2.3 熊谷市江南*=2.2 加須市騎西*=2.2 本庄市尻玉町=2.2 東松山市松葉町*=2.2 久喜市栗橋*=2.2 川口市青木分室*=2.2 長瀬町野上下郷*=2.2 熊谷市妻沼*=2.1 久喜市青葉*=2.1 久喜市鷺宮*=2.1 埼玉美里町木部*=2.1 川口市青木*=2.1 幸手市東*=2.1 春日部市粕壁*=2.0 熊谷市大里*=2.0 さいたま緑区中尾*=2.0 東松山市市ノ川*=2.0 鴻巣市川里*=1.9 深谷市川本*=1.9 川口市三ツ和*=1.9 熊谷市宮町*=1.9 春日部市金崎*=1.9 春日部市谷原新田*=1.9 戸田市上戸田*=1.9 桶川市上日出谷*=1.9 さいたま北区宮原*=1.9 羽生市東*=1.9 さいたま大宮区天沼町*=1.8 さいたま南区別所*=1.8 嵐山町杉山*=1.8 小川町大塚*=1.8 鴻巣市吹上富士見*=1.8 上尾市本町*=1.8 久喜市菖蒲*=1.8 さいたま見沼区堀崎*=1.7 さいたま浦和区高砂=1.7 さいたま岩槻区本丸*=1.7 吉見町下細谷*=1.7 ときがわ町桃木*=1.7 草加市高砂*=1.7 鴻巣市中央*=1.7 北本市本町*=1.7 杉戸町清地*=1.7 狭山市入間川*=1.6 蕨市中央*=1.6 新座市野火止*=1.6 熊谷市桜町=1.6 川島町平沼*=1.6 白岡市千駄野*=1.6 長瀬町本野上*=1.6 さいたま西区指扇*=1.5 東秩父村御堂*=1.5 埼玉神川町植竹*=1.5 埼玉神川町下阿久原*=1.5 寄居町寄居*=1.5 1 深谷市岡部*=1.4 ときがわ町玉川*=1.4 所沢市北有楽町*=1.4 伊奈町小室*=1.4 越生町越生*=1.4 さいたま中央区下落合*=1.4 皆野町皆野*=1.4 入間市豊岡*=1.3 和光市広沢*=1.3 富士見市鶴馬*=1.3 坂戸市千代田*=1.3 毛呂山町中央*=1.3 さいたま大宮区大門*=1.3 川越市旭町=1.2 川越市新宿町*=1.2 八潮市中央*=1.2 三郷市幸房*=1.2 蓮田市黒浜*=1.2 吉川市吉川*=1.2 さいたま浦和区常盤*=1.2 秩父市近戸町*=1.2 深谷市仲町*=1.2 鳩山町大豆戸=1.2 埼玉三芳町藤久保*=1.1 松伏町松伏*=1.1 朝霞市本町*=1.1 秩父市上町=1.1 志木市中宗岡*=1.1 秩父市中津川*=1.1 鶴ヶ島市三ツ木*=1.0 さいたま桜区道場*=1.0 横瀬町横瀬*=1.0 小鹿野町小鹿野*=0.9 上里町七本木*=0.9 所沢市並木*=0.9 飯能市征矢町*=0.9 秩父市吉田*=0.9 本庄市本庄*=0.9 日高市南平沢*=0.8 小鹿野町役場両神庁舎*=0.8 飯能市名栗*=0.8 秩父市荒川*=0.7 ふじみ野市福岡*=0.6 ふじみ野市大井*=0.6 2 白河市表郷*=1.8 白河市東*=1.7 泉崎村泉崎*=1.7 白河市新白河*=1.6 郡山市湖南町*=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 玉川村小高*=1.6 いわき市小名浜=1.6 いわき市錦町*=1.6 南相馬市小高区=1.6 浪江町幾世橋=1.5 西郷村熊倉*=1.5 白河市大信*=1.5 1 須賀川市八幡山*=1.4 矢祭町東館*=1.4 田村市都路町*=1.4 いわき市三和町=1.4 浅川町浅川*=1.3				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県				いわき市平梅本*=1.3 古殿町松川新桑原*=1.3 田村市大越町*=1.3 矢吹町一本木*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.2 福島広野町下北迫大谷地原*=1.2 檜葉町北田*=1.2 大熊町野上*=1.2 鏡石町不時沼*=1.2 田村市滝根町*=1.2 白河市郭内=1.2 二本松市針道*=1.1 下郷町塩生*=1.1 南会津町田島=1.1 矢祭町戸塚*=1.1 白河市八幡小路*=1.1 川内村上川内早渡*=1.1 石川町下泉*=1.0 郡山市朝日=1.0 天栄村下松本*=1.0 田村市常葉町*=1.0 福島広野町下北迫苗代替*=1.0 南相馬市鹿島区西町*=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 田村市船引町=0.9 南会津町松戸原*=0.9 相馬市中村*=0.9 川俣町樋ノ口*=0.9 二本松市油井*=0.9 塙町塙*=0.9 富岡町本岡*=0.9 川内村下川内=0.9 小野町中通*=0.9 小野町小野新町*=0.9 本宮市本宮*=0.8 川内村上川内小山平*=0.8 葛尾村落合落合*=0.8 古殿町松川横川=0.7 飯館村伊丹沢*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 福島市松木町=0.7 鮫川村赤坂中野*=0.6 南会津町滝原*=0.6 猪苗代町城南=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.5 檜枝岐村上河原*=0.5 2 野田市鶴泰*=2.1 柏市柏*=1.9 松戸市西馬橋*=1.8 野田市東宝珠花*=1.8 浦安市猫実*=1.8 八千代市大和田新田*=1.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.6 浦安市日の出=1.6 千葉中央区中央港=1.6 千葉中央区都町*=1.6 船橋市湊町*=1.6 習志野市鷺沼*=1.6 柏市旭町=1.6 香取市役所*=1.5 千葉花見川区花島町*=1.5 成田市花崎町=1.5 印西市大森*=1.5 印西市笠神*=1.5 白井市復*=1.5 1 千葉美浜区ひび野=1.4 柏市大島田*=1.4 栄町安食台*=1.4 神崎町神崎本宿*=1.3 香取市羽根川*=1.3 千葉中央区千葉市役所*=1.3 流山市平和台*=1.3 南房総市岩糸*=1.3 南房総市谷向*=1.3 千葉美浜区稲毛海岸*=1.2 館山市北条*=1.2 富津市下飯野*=1.2 千葉稲毛区園生町*=1.2 千葉緑区おゆみ野*=1.2 香取市佐原平田=1.1 千葉佐倉市海隣寺町*=1.1 市原市姉崎*=1.1 我孫子市我孫子*=1.1 木更津市役所*=1.1 鋸南町下佐久間*=1.1 香取市佐原諏訪台*=1.0 千葉若葉区小倉台*=1.0 成田国際空港=1.0 印西市美瀬*=1.0 君津市久留里市場*=1.0 東金市日吉台*=0.9 香取市仁良*=0.9 山武市埴谷*=0.8 酒々井町中央台*=0.8 鴨川市横渚*=0.8 芝山町小池*=0.8 長南町長南*=0.8 成田市松子*=0.8 成田市猿山*=0.7 館山市長須賀=0.7 木更津市太田=0.7 香取市岩部*=0.6 多古町多古=0.6 鴨川市八色=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 長柄町大津倉=0.5 東金市東新宿=0.5 2 町田市市中町*=1.8 東京千代田区大手町=1.7 東京北区赤羽南*=1.6 東京板橋区相生町*=1.6 町田市忠生*=1.6 小平市小川町*=1.6 東大和市中央*=1.6 あきる野市伊奈*=1.6 東京板橋区高島平*=1.5 東京足立区伊興*=1.5 八王子市堀之内*=1.5 調布市西つつじヶ丘*=1.5 1 東京中央区勝どき*=1.4 東京渋谷区本町*=1.4 東京中野区中野*=1.4 東京杉並区高井戸*=1.4 東京江戸川区中央=1.4 八王子市石川町*=1.4 武蔵野市吉祥寺東町*=1.4 三鷹市野崎*=1.4 町田市森野*=1.4 日野市神明*=1.4 清瀬市中里*=1.4 東京練馬区豊玉北*=1.3 東京練馬区東大泉*=1.3 東京江戸川区船堀*=1.3 東村山市本町*=1.3 西東京市中町*=1.3 青梅市日向和田*=1.3 東京新宿区上落合*=1.3 東京北区西ヶ原*=1.3 東京荒川区東尾久*=1.3 稲城市東長沼*=1.2 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.2 東京千代田区富士見*=1.2 東京文京区本郷*=1.2 東京文京区大塚*=1.2 東京江東区越中島*=1.2 東京江東区塩浜*=1.2 東京品川区平塚*=1.2 東京世田谷区成城*=1.2 東京杉並区桃井*=1.2 東京板橋区板橋*=1.2 東京練馬区光が丘*=1.2 東京足立区神明南*=1.2 東京葛飾区立石*=1.2 小金井市本町*=1.2 国分寺市市倉=1.2 多摩市関戸*=1.2 東京江東区森下*=1.1 武蔵村山市本町*=1.1 東京渋谷区宇田川町*=1.1 青梅市東青梅=1.1 東京中野区江古田*=1.1 東京足立区千住中居町*=1.1 東京江戸川区鹿骨*=1.1 八王子市大横町=1.1 東京文京区スポーツセンタ*=1.1 東京千代田区麹町*=1.0 東京葛飾区金町*=1.0 東京新宿区百人町*=1.0 武蔵野市緑町*=1.0 東京府中市白糸台*=1.0 東京江東区亀戸*=1.0 国分寺市本多*=1.0 狛江市和泉本町*=1.0 東京荒川区荒川*=1.0 東京目黒区中央町*=0.9 東京国際空港=0.9 東京府中市寿町*=0.9 東京大田区多摩川*=0.9 昭島市中町*=0.9 東京大田区本羽田*=0.9 東京世田谷区中町*=0.9 清瀬市中清戸*=0.9 東京豊島区南池袋*=0.9 東京港区海岸=0.9 東京江東区東陽*=0.9 東京品川区北品川*=0.9 東京大田区大森東*=0.8 東京港区白金*=0.8 多摩市鶴牧*=0.8 羽村市緑ヶ丘*=0.8 檜原村本宿*=0.8 東京中野区中央*=0.8 東京墨田区横川=0.8 東京墨田区吾妻橋*=0.8 東京墨田区東向島*=0.8 東京江東区青海=0.8 東京港区芝公園*=0.7 調布市小島町*=0.7 東京新宿区歌舞伎町*=0.7 東京世田谷区世田谷*=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 日の出町平井*=0.6 東京足立区中央本町*=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 立川市泉町*=0.5 東京品川区広町*=0.5 2 横浜戸塚区鳥が丘*=2.4 藤沢市打戻*=2.4 厚木市中町*=2.2 横浜西区浜松町*=2.1 愛川町角田*=2.0 横浜神奈川区神大寺*=1.9 座間市緑ヶ丘*=1.9 寒川町宮山*=1.9 横浜神奈川区広台太田町*=1.8 横浜戸塚区平戸町*=1.8 横浜瀬谷区中屋敷*=1.8 相模原緑区大島*=1.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.7 横浜瀬谷区三ツ境*=1.7 藤沢市大庭*=1.7 大和市下鶴間*=1.7 厚木市寿町*=1.7 相模原緑区橋本*=1.7 横浜鶴見区末広町*=1.6 横浜西区みなとみらい*=1.6 横浜中区山手町=1.6 横浜中区山下町*=1.6 横浜中区山吹町*=1.6 横浜戸塚区戸塚町*=1.6 相模原南区磯部*=1.6 横浜港北区日吉本町*=1.5 横浜旭区大池町*=1.5 横浜泉区岡津町*=1.5 藤沢市長後*=1.5 海老名市大谷*=1.5 綾瀬市深谷*=1.5 相模原中央区水郷田名*=1.5 1 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.4 横浜磯子区洋光台*=1.4 横浜旭区今宿東町*=1.4 横浜旭区川井宿町*=1.4 横浜緑区十日市場町*=1.4 横浜緑区鴨居*=1.4 横浜泉区和泉町*=1.4 横浜青葉区榎が丘*=1.4 横浜青葉区市ケ尾町*=1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.4 厚木市下津古久*=1.4 中井町比奈窪*=1.4 神奈川大井町金子*=1.4 清川村煤ヶ谷*=1.4 相模原南区相模大野*=1.4 相模原緑区中野*=1.4 相模原緑区久保沢*=1.4 横浜中区日本大通*=1.3 横浜磯子区磯子*=1.3 横浜港南区丸山台東部*=1.3 横浜港南区丸山台北部*=1.3 川崎川崎区宮前町*=1.3 川崎宮前区宮前平*=1.3 秦野市首屋=1.3 相模原中央区上溝*=1.3 横浜鶴見区馬場*=1.2 横浜金沢区白帆*=1.2 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.2 藤沢市辻堂東海岸*=1.2 松田町松田惣領*=1.2 山北町山北*=1.2 湯河原町中央=1.2 横浜旭区上白根町*=1.1 川崎宮前区野川*=1.1 川崎麻生区片平*=1.1 南足柄市関本*=1.1 川崎中原区小杉町*=1.0 三浦市城山町*=1.0 横浜南区六ツ川*=1.0 川崎川崎区千鳥町*=0.9 秦野市平沢*=0.9 開成町延沢*=0.9 箱根町湯本*=0.9 川崎多摩区登戸*=0.8 平塚市浅間町*=0.8 大磯町月京*=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.7 藤沢市朝日町*=0.7 川崎高津区下作延*=0.6 横須賀市光の丘=0.6 横浜南区大岡*=0.6 小田原市久野=0.6 横須賀市坂本町*=0.5 鎌倉市御成町*=0.5
		東京都				
		神奈川県				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		山梨県 2 横浜青葉区美しが丘※=0.5 相模原緑区小淵※=0.5 川崎麻生区万福寺※=0.5 山梨北杜市長坂町※=2.1 笛吹市境川町藤壘※=1.8 富士河口湖町長浜※=1.8 昭和町押越※=1.7 甲州市塩山上於曾※=1.7 上野原市役所※=1.7 甲府市相生※=1.6 甲州市勝沼町勝沼※=1.6 大月市御太刀※=1.6 甲府市古閑町※=1.5 山梨市牧丘町窪平※=1.5 身延町大磯小磯=1.5 南アルプス市寺部※=1.5 甲斐市下今井※=1.5 中央市成島※=1.5 上野原市上野原=1.5 富士河口湖町船津=1.5 富士河口湖町勝山※=1.5 1 甲府市飯田=1.4 笛吹市八代町南※=1.4 山梨北杜市健康ランド須玉※=1.4 大月市大月=1.4 甲府市下曽根町※=1.3 笛吹市役所※=1.3 甲州市役所※=1.3 中央市臼井阿原※=1.3 富士吉田市下吉田※=1.3 山中湖村山中※=1.3 山梨市小原西※=1.2 笛吹市春日居町寺本※=1.2 山梨北杜市明野町※=1.2 山梨北杜市高根町※=1.2 山梨北杜市大泉町※=1.2 富士川町鯉沢※=1.2 富士吉田市上吉田※=1.2 忍野村忍草※=1.2 甲斐市島上条※=1.1 山梨北杜市小淵沢町※=1.1 市川三郷町六郷支所※=1.1 西桂町小沼※=1.1 鳴沢村役場※=1.1 身延町役場※=1.0 南アルプス市鮎沢※=1.0 南アルプス市飯野※=1.0 甲斐市篠原※=1.0 甲州市塩山下於曾=1.0 中央市大鳥居※=1.0 都留市上谷※=1.0 南アルプス市野牛島※=0.9 笛吹市一宮町末木※=0.9 上野原市秋山※=0.9 小菅村小菅小学校※=0.9 南アルプス市小笠原※=0.9 甲州市大和町初鹿野※=0.8 道志村役場※=0.8 山梨市三富川浦※=0.8 富士河口湖町本栖※=0.8 富士河口湖町役場※=0.8 丹波山村丹波※=0.8 笛吹市御坂町夏目原※=0.8 山梨北杜市白州町※=0.8 韮崎市水神※=0.7 長野県 2 小海町豊里※=1.6 長野南牧村海ノ口※=1.6 1 佐久市臼田※=1.4 佐久穂町畑※=1.4 佐久市中込※=1.3 長野川上村大深山※=1.3 佐久市下小田切=1.1 茅野市葛井公園※=1.0 富士見町落合※=1.0 塩尻市櫛川保育園※=0.8 南相木村見上※=0.8 木曽町日義※=0.8 北相木村役場※=0.7 軽井沢町追分=0.7 軽井沢町長倉※=0.7 御代田町御代田※=0.7 立科町芦田※=0.7 原村役場※=0.7 佐久穂町高野町※=0.7 王滝村役場※=0.7 中川村大草※=0.6 長野高森町下市田※=0.6 木曽町開田高原西野※=0.6 諏訪市湖岸通り=0.6 木祖村薮原※=0.5 木曽町新開※=0.5 伊那市高遠町荊口=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=1.0 角田市角田※=0.8 丸森町鳥屋※=0.8 松島町高城=0.6 名取市増田※=0.6 新潟県 1 長岡市山古志竹沢※=1.2 南魚沼市六日町=1.2 南魚沼市塩沢小学校※=0.8 長岡市小島谷※=0.7 南魚沼市塩沢庁舎※=0.7 長岡市中之島※=0.6 長岡市与板町与板※=0.6 長岡市浦※=0.6 上越市中ノ俣=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.4 伊豆の国市長岡※=1.4 富士宮市弓沢町=1.3 伊豆市中伊豆グラウンド=1.1 富士宮市野中※=1.1 熱海市泉※=0.9 富士市吉永※=0.9 富士市大淵※=0.9 小山町藤曲※=0.9 河津町田中※=0.7 西伊豆町宇久須※=0.7 沼津市高島本町※=0.7 三島市大社町※=0.7 伊東市大原=0.6 御殿場市萩原=0.6 伊豆の国市田京※=0.5				
42	8 04 06	豊後水道 愛媛県 1 西予市明浜町※=0.7	33° 15.8' N	132° 09.7' E	48km	M: 3.2
43	8 04 18	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町※=0.5 宮城県 1 女川町女川浜※=0.8 石巻市桃生町※=0.7 石巻市大街道南※=0.5	38° 17.7' N	141° 53.2' E	64km	M: 3.6
44	8 07 32	岐阜県飛騨地方 岐阜県 2 下呂市小坂町※=1.6 1 高山市久々野町※=1.3 高山市高根町※=1.3 高山市朝日町※=1.1 高山市上宝町本郷※=1.1 高山市丹生川町坊方※=0.8 飛騨市古川町※=0.6 高山市消防署※=0.5 飛騨市宮川町※=0.5 中津川市加子母※=0.5	36° 00.4' N	137° 20.2' E	6km	M: 3.2
45	8 19 44	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志※=1.3 熊本西区春日=1.0 熊本中央区大江※=0.7 菊池市隈府※=0.7 菊陽町久保田※=0.5	32° 53.2' N	130° 48.7' E	14km	M: 2.8
46	8 20 38	豊後水道 広島県 1 呉市川尻町※=0.5 大竹市小方※=0.5 愛媛県 1 宇和島市三間町 (旧) ※=1.3 大洲市大洲※=1.3 伊方町湊浦※=1.3 西予市三瓶町※=1.3 西予市宇和町※=1.2 宇和島市津島町※=1.1 大洲市長浜※=1.0 西予市明浜町※=1.0 宇和島市吉田町※=1.0 宇和島市丸穂※=0.9 大洲市肱川町※=0.8 八幡浜市保内町※=0.8 伊方町三崎※=0.6 松野町松丸※=0.6 愛南町船越※=0.5 愛南町柏※=0.5 高知県 1 宿毛市桜町※=0.6 山口県 1 柳井市大島※=0.9 周防大島町平野※=0.5 上関町長島※=0.5 大分県 1 大分市佐賀関※=1.3 豊後大野市清川町※=1.2 臼杵市臼杵※=0.8 豊後大野市緒方町※=0.6 豊後大野市千歳町※=0.6 国東市田深※=0.5	33° 18.3' N	132° 05.1' E	50km	M: 3.8
47	9 17 59	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町※=0.9 大船渡市猪川町=0.5 一関市千厩町※=0.5 大船渡市大船渡町=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町※=0.7 気仙沼市笹が陣※=0.6 気仙沼市赤岩=0.6	38° 55.5' N	141° 55.4' E	51km	M: 3.3
48	9 19 31	岩手県沖 岩手県 1 山田町大沢※=0.9 宮古市田老※=0.7 宮古市鉏ヶ崎=0.7 宮古市五月町※=0.6	39° 38.4' N	142° 06.5' E	48km	M: 3.4
49	10 02 15	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市粉河=0.7	34° 15.1' N	135° 24.9' E	7km	M: 2.2
50	10 05 57	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 46.4' N	130° 43.0' E	7km	M: 1.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
51	10 19 20	有明海 熊本県	32° 50.1' N	130° 35.0' E	11km	M: 2.6 1 玉名市横島町*=0.9 玉東町木葉*=0.8 熊本西区春日=0.5 熊本北区植木町*=0.5
52	10 20 02	有明海 熊本県	32° 50.0' N	130° 35.1' E	11km	M: 2.6 1 玉名市横島町*=0.8 玉東町木葉*=0.6 熊本西区春日=0.5
53	10 23 12	三陸沖 岩手県 宮城県	39° 38.4' N	143° 19.8' E	21km	M: 4.7 1 盛岡市玉山区藪川*=0.7 宮古市田老*=0.6 1 石巻市桃生町*=0.6
54	10 23 16	福井県嶺南 滋賀県	35° 26.7' N	135° 51.7' E	13km	M: 2.3 1 高島市朽木柏*=0.8
55	11 00 28	千葉県北東部 千葉県	35° 49.1' N	140° 43.5' E	11km	M: 2.9 1 旭市南堀之内*=0.6 香取市仁良*=0.5
56	11 00 50	十勝地方中部 北海道	42° 57.3' N	143° 45.5' E	116km	M: 3.9 2 本別町向陽町*=1.5 1 浦幌町桜町*=1.4 豊頃町茂岩本町*=1.1 十勝大樹町生花*=1.1 釧路市音別町中園*=1.0 標茶町塘路*=0.9 白糠町西 1 条*=0.9 釧路市阿寒町中央*=0.8 本別町北 2 丁目=0.8 釧路市幸町=0.7 釧路市音別町尺別=0.7 鶴居村鶴居東*=0.6
57	11 02 44	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 48.3' N	140° 54.6' E	12km	M: 3.7 1 神栖市波崎*=1.4 稲敷市江戸崎甲*=0.9 稲敷市須賀津*=0.6 笠間市石井*=0.5 1 銚子市川口町=1.4 銚子市若宮町*=1.2
58	11 06 24	奄美大島近海 鹿児島県	27° 57.2' N	130° 15.9' E	46km	M: 3.9 2 喜界町湾*=1.5 1 喜界町滝川=0.9 奄美市笠利町里*=0.9
59	11 06 36	宮城県北部 岩手県	38° 52.4' N	141° 40.5' E	65km	M: 2.8 1 一関市室根町*=0.6
60	11 11 43	愛知県西部 愛知県	35° 14.0' N	137° 13.9' E	13km	M: 2.4 1 豊田市足助町*=0.6
61	11 12 49	福島県沖 福島県	37° 30.9' N	141° 19.8' E	52km	M: 3.3 1 川内村下川内=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.6
62	11 14 07	三重県南東沖 奈良県	34° 01.2' N	136° 49.3' E	24km	M: 3.6 1 宇陀市大宇陀迫間*=0.5
63	12 00 33	与那国島近海 沖縄県	24° 27.1' N	122° 41.8' E	97km	M: 5.0 3 与那国町役場*=2.6 2 竹富町大原=2.0 竹富町船浮=2.0 石垣市新栄町*=1.9 与那国町久部良=1.9 与那国町祖納=1.8 石垣市美崎町*=1.8 竹富町上原*=1.8 石垣市登野城=1.7 1 石垣市平久保=1.2 竹富町黒島=1.0 石垣市伊原間*=0.8 石垣市新川=0.7
64	12 01 22	紀伊水道 和歌山県	34° 11.8' N	135° 07.8' E	7km	M: 3.3 2 和歌山市一番丁*=2.0 和歌山市男野芝丁=1.7 有田市初島町*=1.6 1 海南市日方*=1.3 湯浅町湯浅*=1.3 有田川町下津野*=1.3 和歌山広川町広*=1.2 海南市下津*=1.2
65	12 01 25	紀伊水道 和歌山県	34° 11.6' N	135° 07.5' E	6km	M: 2.6 1 和歌山市一番丁*=1.3 和歌山市男野芝丁=0.8
66	12 07 47	紀伊水道 和歌山県	34° 11.8' N	135° 08.0' E	6km	M: 2.3 1 和歌山市一番丁*=0.5
67	12 08 51	岩手県沿岸南部 岩手県	39° 11.6' N	141° 50.0' E	54km	M: 3.4 1 陸前高田市高田町*=0.9 住田町世田米*=0.8 一関市東山町*=0.7 遠野市宮守町*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 大船渡市大船渡町=0.5
68	12 13 59	紀伊水道 和歌山県	34° 11.8' N	135° 07.9' E	6km	M: 2.5 1 和歌山市一番丁*=0.8
69	13 00 57	茨城県沖 茨城県	35° 53.4' N	140° 54.1' E	42km	M: 3.1 1 茨城鹿嶋市宮中*=0.6
70	13 03 52	新島・神津島近海 東京都	34° 30.0' N	139° 13.1' E	5km	M: 2.0 1 東京利島村東山=0.8
71	13 06 22	茨城県沖 福島県	36° 31.5' N	140° 53.5' E	49km	M: 3.6 1 矢祭町戸塚*=0.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
72	13 14 12	茨城県 宮城県沖 岩手県 宮城県 青森県 秋田県 山形県	38° 58.0' N 34° 11.7' N 30° 56.5' N	141° 39.5' E 135° 07.5' E 128° 35.4' E	73km 6km 17km	M: 4.3 M: 4.1 M: 7.1
73	13 16 31	兵庫県南西部 兵庫県	34° 58.3' N	134° 48.5' E	14km	M: 2.8
74	13 21 17	茨城県沖 茨城県	36° 14.1' N	140° 53.0' E	46km	M: 3.3
75	13 22 37	紀伊水道 和歌山県 大阪府 兵庫県 奈良県 徳島県 香川県	34° 11.7' N	135° 07.5' E	6km	M: 4.1
76	14 05 51	薩摩半島西方沖 佐賀県	30° 56.5' N	128° 35.4' E	17km	M: 7.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		大町町大町*=1.6 鳥栖市宿町*=1.6 唐津市竹木場*=1.6 小城市小城*=1.6 1 唐津市鎮西町*=1.4 伊万里市立花町*=1.3 玄海町諸浦*=1.2 唐津市西城内=1.1 唐津市相知*=1.1 佐賀市三瀬*=1.1 唐津市厳木町*=1.0 みやき町中原*=1.0 唐津市七山*=0.9 神埼市脊振*=0.8 基山町宮浦*=0.8 4 鹿児島市喜入町*=4.1 鹿児島市東郡元=3.9 南さつま市金峰町尾下*=3.8 いちき串木野市湊町*=3.7 鹿児島市祇園之洲町*=3.6 南さつま市大浦町*=3.6 鹿児島市桜島赤水新島*=3.6 屋久島町口永良部島公民館*=3.5 3 鹿児島市本城*=3.4 伊佐市菱刈前目*=3.4 始良市加治木町本町*=3.4 始良市宮島町*=3.4 日置市日吉町日置*=3.3 薩摩川内市神田町*=3.3 さつま町神子*=3.3 肝付町新富*=3.3 薩摩川内市上鰐町*=3.3 鹿児島市上谷口*=3.2 薩摩川内市東郷町*=3.2 阿久根市鶴見町*=3.1 垂水市田神*=3.1 始良市蒲生町上久徳*=3.1 南九州市穎娃町牧之内*=3.1 薩摩川内市鹿島町*=3.1 日置市吹上町中原*=3.0 いちき串木野市緑町*=3.0 南さつま市加世田川畑*=3.0 鹿児島出水市野田町*=3.0 指宿市十町*=3.0 指宿市開開十町*=3.0 薩摩川内市祁答院町*=3.0 湧水町吉松*=3.0 三島村硫黄島*=3.0 鹿児島市桜島藤野*=2.9 薩摩川内市入来町*=2.9 長島町伊唐島*=2.9 薩摩川内市中郷=2.9 鹿屋市新栄町=2.8 日置市伊集院町郡*=2.8 鹿児島市郡山*=2.8 霧島市国分中央*=2.8 枕崎市高見町=2.7 鹿児島出水市高尾野町*=2.7 指宿市山川新生町=2.7 薩摩川内市下鰐町青瀬=2.7 薩摩川内市里町*=2.7 南九州市知覧町郡*=2.7 鹿児島出水市緑町*=2.6 大崎町飯宿*=2.6 南九州市川辺町平山*=2.6 長島町獅子島*=2.6 長島町指江*=2.6 三島村黒島*=2.6 伊佐市大口島巢*=2.5 薩摩川内市樋脇町*=2.5 さつま町宮之城保健センタ*=2.5 鹿児島市下福元=2.5 薩摩川内市下鰐町手打*=2.5 南さつま市坊津町久志*=2.5 2 阿久根市赤瀬川=2.4 さつま町求名*=2.4 湧水町栗野*=2.4 霧島市隼人町内山田=2.4 鹿屋市輝北町上引*=2.4 鹿児島出水市桂島*=2.3 長島町鷹巣*=2.3 さつま町宮之城屋地=2.3 日置市東市来町長里*=2.3 鹿屋市札元*=2.3 鹿屋市吾平町麓*=2.3 東串良町川西*=2.3 枕崎市若葉町*=2.2 南さつま市笠沙町片浦*=2.2 霧島市横川町中ノ*=2.2 霧島市牧園町宿窪田*=2.2 伊佐市大口山野=2.2 鹿屋市串良町岡崎*=2.2 曾於市末吉町二之方*=2.2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.1 鹿児島十島村悪石島*=2.1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=2.0 霧島市福山町牧之原*=1.9 南大隅町佐多伊座敷*=1.9 曾於市財部町南俣*=1.9 志布志市志布志町志布志=1.9 曾於市大隅町中之内*=1.8 鹿児島十島村口之島出張所*=1.8 鹿児島十島村中之島出張所*=1.8 屋久島町口永良部島池田=1.8 霧島市溝辺町有川*=1.7 錦江町田代支所*=1.5 錦江町城元*=1.5 南大隅町根占*=1.5 志布志市有明町野井倉*=1.5 霧島市霧島口*=1.5 1 志布志市松山町新橋*=1.4 南種子町中之上*=1.4 鹿児島十島村平島*=1.3 錦江町田代麓=0.9 肝付町北方*=0.9 屋久島町小瀬田=0.9 南種子町西之*=0.8 屋久島町宮之浦*=0.8 3 遠賀町今古賀*=2.5 2 大川市酒見*=2.4 久留米市城島町*=2.3 新宮町緑ヶ浜*=2.3 福岡中央区舞鶴*=2.1 柳川市本町*=2.1 久留米市津福本町=2.1 水巻町頃末*=2.0 筑前町篠隈*=2.0 柳川市三橋町*=1.9 福岡中央区大濠=1.9 福岡西区今宿*=1.9 久留米市北野町*=1.9 みやま市瀬高町*=1.9 福岡早良区百道浜*=1.8 糸島市二丈深江*=1.8 八女市本町*=1.7 柳川市大和町*=1.7 みやま市高田町*=1.7 大木町八町牟田*=1.7 筑後市山ノ井*=1.6 中間市長津*=1.6 糸島市前原東*=1.6 宗像市東郷*=1.6 筑前町下高場=1.5 宗像市江口神原*=1.5 1 久留米市三潞町*=1.4 久留米市田主丸町*=1.4 大川洗町富多*=1.4 うきは市吉井町*=1.4 久山町久原*=1.3 福津市津屋崎*=1.3 筑前町新町*=1.3 直方市新町*=1.3 福岡博多区博多駅前*=1.3 久留米市城南町*=1.2 福岡東区千早*=1.2 粕屋町仲原*=1.2 朝倉市宮野*=1.2 糸島市志摩初=1.2 須恵町須恵*=1.1 みやま市山川町*=1.1 北九州八幡西区相生町*=1.1 宗像市神湊*=1.1 嘉麻市上臼井*=1.1 うきは市浮羽町*=1.1 八女市吉田*=1.0 添田町添田*=1.0 福智町赤池*=1.0 宗像市大島*=1.0 福岡古賀市駅東*=1.0 飯塚市忠隈*=1.0 福津市中央*=0.9 福岡城南区神松寺*=0.9 筑紫野市二日市西*=0.9 糸島市前原西*=0.9 北九州若松区桜町*=0.9 大野城市曙町*=0.9 宮若市宮田*=0.8 福智町弁城*=0.8 志免町志免*=0.8 行橋市今井*=0.8 八女市矢部村*=0.8 北九州八幡東区春の町*=0.7 みやこ町勝山上田*=0.7 八女市黒木町今*=0.6 福岡早良区板屋=0.6 3 松浦市志佐町*=3.2 南島原市有家町*=2.8 南島原市西有家町*=2.7 長崎市神浦江川町*=2.7 諫早市森山町*=2.6 平戸市岩の上町=2.6 平戸市鏡川町*=2.5 平戸市生月町*=2.5 南島原市布津町*=2.5 東彼杵町蔵本*=2.5 長崎市野母町*=2.5 2 時津町浦*=2.4 南島原市口之津町*=2.4 五島市上大津町*=2.3 五島市富江町富江*=2.3 平戸市田平町*=2.3 川棚町中組*=2.2 長崎市香焼町*=2.2 諫早市多良見町*=2.2 大村市玖島*=2.2 五島市岐宿町*=2.2 佐世保市鹿町町*=2.2 雲仙市千々石町*=2.1 雲仙市瑞穂町*=2.1 雲仙市吾妻町*=2.1 雲仙市南串山町*=2.1 南島原市南有馬町*=2.1 南島原市深江町*=2.1 長崎市布巻町*=2.1 南島原市北有馬町*=2.0 佐世保市八幡町*=2.0 佐世保市小佐々町*=2.0 西海市崎戸町*=2.0 佐世保市世知原町*=2.0 長崎市南山手=2.0 長崎市黒浜町=2.0 西海市西海町*=1.9 新上五島町有川*=1.9 佐々町本田原*=1.9 佐世保市干尽町=1.9 西海市大瀬戸町*=1.9 諫早市東小路町=1.8 諫早市飯盛町*=1.8 松浦市福島町*=1.8 佐世保市吉井町*=1.8 西海市大島町*=1.8 島原市有明町*=1.8 雲仙市国見町=1.8 長崎市長浦町=1.8 壱岐市芦辺町芦辺*=1.7 五島市木場町=1.7 五島市玉之浦町*=1.7 平戸市志々伎町*=1.7 五島市三井楽町*=1.7 諫早市堂崎町*=1.7 平戸市大島村*=1.7 長与町嬉里*=1.7 雲仙市小浜町雲仙=1.6 諫早市高来町*=1.6 新上五島町若松*=1.6 雲仙市小浜町北本町*=1.6 西海市西彼町*=1.6 壱岐市石田町*=1.6 小値賀町笛吹*=1.6 波佐見町宿*=1.6 新上五島町青方*=1.5 五島市富江町繁敷=1.5 諫早市小長井町*=1.5 1 松浦市鷹島町*=1.4 新上五島町奈良尾*=1.4 佐世保市宇久町*=1.4 島原市下折橋町*=1.3 壱岐市郷ノ浦町*=1.3 五島市奈留町*=1.3 壱岐市芦辺町中野=1.2 雲仙市雲仙出張所*=1.1 壱岐市勝本町*=1.0 3 天草市五和町*=3.3 芦北町芦北=3.2 宇城市豊野町*=3.0 津奈木町小津奈木*=3.0 上天草市大矢野町=3.0 宇城市小川町*=2.9 八代市平山新町=2.8 熊本南区富合町*=2.7				
		鹿児島県				
		福岡県				
		長崎県				
		熊本県				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		水俣市牧ノ内*=2.7 阿蘇市内牧*=2.7 水俣市陣内*=2.6 人吉市西間下町=2.6 天草市牛深町=2.6 天草市天草町*=2.5 多良木町上球磨消防署*=2.5 八代市千丁町*=2.5 2 八代市鏡町*=2.4 宇城市三角町*=2.4 あさぎり町岡原*=2.4 あさぎり町須恵*=2.4 多良木町多良木*=2.4 天草市東浜町*=2.4 人吉市蟹作町*=2.3 相良村深水*=2.3 天草市河浦町*=2.3 玉名市天水町*=2.3 山鹿市鹿央町*=2.3 熊本美里町馬場*=2.3 上天草市松島町*=2.2 八代市松江城町*=2.2 宇土市浦田町*=2.2 錦町一武*=2.2 上天草市姫戸町*=2.2 玉名市横島町*=2.1 天草市新和町*=2.1 天草市倉岳町*=2.1 西原村小森*=2.1 嘉島町上島*=2.1 益城町宮園*=2.1 宇城市松橋町=2.1 氷川町島地*=2.1 合志市竹迫*=2.1 合志市御代志*=2.1 熊本西区春日=2.1 熊本北区植木町*=2.1 苓北町志岐*=2.1 山江村山田*=2.0 芦北町田浦町*=2.0 宇城市不知火町*=2.0 あさぎり町免田東*=2.0 湯前町役場*=1.9 山鹿市鹿本町*=1.9 熊本南区城南町*=1.9 長洲町長洲*=1.9 熊本美里町永富*=1.9 山鹿市菊鹿町*=1.8 菊池市七城町*=1.8 天草市有明町*=1.8 天草市栖本町*=1.8 あさぎり町上*=1.8 熊本中央区大江*=1.7 山鹿市山鹿*=1.7 菊池市旭志*=1.7 氷川町宮原*=1.7 菊池市隈府*=1.6 八代市坂本町*=1.6 天草市本町=1.6 和水町江田*=1.6 熊本東区佐土原*=1.6 南阿蘇村吉田*=1.5 南阿蘇村河陽*=1.5 菊池市泗水町*=1.5 あさぎり町深田*=1.5 1 阿蘇市一の宮町*=1.4 玉名市岱明町*=1.4 玉東町木葉*=1.4 菊陽町久保田*=1.4 御船町御船*=1.4 山都町今*=1.4 山鹿市老人福祉センター*=1.3 大津町大津*=1.3 球磨村渡*=1.3 天草市御所浦町*=1.3 上天草市龍ヶ岳町*=1.2 南阿蘇村中松=1.1 玉名市中尾*=1.1 八代市泉町=0.9 3 えびの市加久藤*=2.9 日南市南郷町南町*=2.5 2 日南市吾田東*=2.1 都城市姫城町*=2.1 都城市北原*=2.1 都城市菖蒲原=2.0 日南市中央通*=1.9 高原町西麓*=1.9 都城市山之口町花木*=1.8 串間市都井*=1.7 小林市真方=1.7 三股町五本松*=1.7 宮崎市松橋*=1.6 宮崎市橘通東*=1.6 日南市油津=1.6 小林市野尻町東麓*=1.6 宮崎市高岡町内山*=1.5 小林市役所*=1.5 新富町上富田=1.5 高千穂町三田井=1.5 1 宮崎市田野町体育館*=1.3 椎葉村総合運動公園*=1.1 高千穂町寺迫*=1.1 宮崎美郷町田代*=1.1 宮崎都農町役場*=1.0 西都市上の宮*=0.9 宮崎市霧島=0.9 綾町南保健健康センター*=0.8 鳥取県 2 境港市上道町*=1.5 大分県 1 境港市東本町=1.2 湯梨浜町久留*=0.9 2 臼杵市臼杵*=1.9 大分市舞鶴町*=1.8 佐伯市春日町*=1.8 竹田市荻町*=1.7 豊後大野市清川町*=1.6 大分市長浜=1.5 大阪府 1 竹田市直入町*=1.4 玖珠町帆足=1.2 佐伯市蒲江蒲江浦=0.9 日田市三本松=0.9 1 大阪鶴見区横堤*=0.8 門真市中町*=0.7 大阪生野区舍利寺*=0.7 寝屋川市役所*=0.7 守口市京阪本通*=0.6 関西国際空港=0.6 大阪堺市中区深井清水町=0.6 大阪東成区東中本*=0.6 大東市新町*=0.6 大阪旭区大宮*=0.5 大阪城東区放出西*=0.5 大阪西成区岸里*=0.5 東大阪市荒北*=0.5 四條畷市中野*=0.5 泉大津市東雲町*=0.5 大阪港区築港*=0.5 大阪天王寺区上本町*=0.5 兵庫県 1 豊岡市桜町=0.7 島根県 1 大田市仁摩町仁万*=1.3 出雲市大社町杵築南*=1.1 益田市常盤町*=0.9 出雲市今市町=0.8 岡山県 1 真庭市蒜山下福田*=1.2 広島県 1 呉市宝町=0.9 江田島市能美町*=0.8 徳島県 1 徳島市大和町=0.9 愛媛県 1 宇和島市住吉町=0.5 山口県 1 下関市豊北町角島*=1.2 山口市阿東徳佐*=1.2 柳井市南町*=1.0 萩市江向*=0.9 下関市清末陣屋*=0.9 宇部市常盤町*=0.8 萩市見島宇津=0.8 下関市竹崎=0.8 下関市豊浦町川棚=0.8				
77	14 06 17	薩摩半島西方沖 鹿児島県 2 屋久島町口永良部島公民館*=1.9 三島村硫黄島*=1.6 1 鹿児島市喜入町*=1.4 南さつま市大浦町*=1.4 いちき串木野市湊町*=1.3 鹿児島市東郡元=1.2 南さつま市金峰町尾下*=1.2 始良市蒲生町上久徳*=0.9 いちき串木野市緑町*=0.8 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8 枕崎市高見町=0.7 薩摩川内市中郷=0.7 南さつま市加世田川畑*=0.5	30° 51.7' N	128° 32.7' E	1km	M: 5.2
78	14 06 36	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=0.8	31° 13.7' N	128° 40.0' E	2km	M: 4.5
79	14 10 11	薩摩半島西方沖 鹿児島県 2 南さつま市大浦町*=1.5 1 鹿児島市喜入町*=1.0 鹿児島市東郡元=0.6 南さつま市加世田川畑*=0.5	31° 14.7' N	128° 42.6' E	9km	M: 4.3
80	14 12 51	薩摩半島西方沖 鹿児島県 2 南さつま市大浦町*=1.5 1 鹿児島市喜入町*=1.3 鹿児島市東郡元=0.8	31° 11.6' N	128° 40.9' E	13km	M: 4.6
81	14 14 26	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=0.5	31° 13.5' N	128° 41.3' E	7km	M: 4.3
82	14 15 15	種子島近海 鹿児島県 1 鹿屋市串良町岡崎*=1.2 錦江町田代麓=1.2 錦江町田代支所*=1.2 大崎町仮宿*=1.1 鹿屋市新栄町=0.9 南大隅町佐多伊座敷*=0.9 肝付町北方*=0.8 南大隅町根占*=0.7 西之表市住吉=0.7	30° 55.2' N	130° 55.5' E	56km	M: 3.7
83	14 17 40	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 薩摩川内市上甕町*=0.5	31° 20.1' N	128° 42.6' E	5km	M: 4.7

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
84	14 19 21	三陸沖 福島県 青森県 岩手県 宮城県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県	38° 01.1' N	143° 48.6' E	44km	M: 5.1
		2 いわき市三和町=1.7 1 玉川村小高*=1.3 浪江町幾世橋=1.2 田村市大越町*=1.0 天栄村下松本*=1.0 郡山市湖南町*=0.8 白河市新白河*=0.8 須賀川市八幡山*=0.7 郡山市朝日=0.6 浅川町浅川*=0.5 1 階上町道仏*=0.7 1 盛岡市玉山区薮川*=0.6 一関市千厩町*=0.6 住田町世田米*=0.6 盛岡市山王町=0.5 1 石巻市桃生町*=1.2 東松島市矢本*=1.1 気仙沼市赤岩=1.0 気仙沼市笹が陣*=1.0 岩沼市桜*=0.9 亙理町下小路*=0.8 宮城川崎町前川*=0.8 大崎市田尻*=0.7 南三陸町志津川=0.7 大崎市古川三日町=0.5 大崎市古川大崎=0.5 1 笠間市石井*=1.0 筑西市舟生=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 土浦市常名=0.5 石岡市柿岡=0.5 1 大田原市湯津上*=1.1 真岡市石島*=0.7 那須烏山市中央=0.6 1 邑楽町中野*=0.9 1 春日部市粕壁*=0.5				
85	15 03 26	根室半島南東沖 北海道	42° 59.0' N	145° 48.0' E	47km	M: 4.4
		3 浜中町霧多布*=2.6 2 根室市瑤瑤瑁*=2.3 別海町西春別*=2.0 根室市落石東*=1.9 標津町北2条*=1.9 根室市牧の内*=1.5 1 浜中町湯沸=1.4 厚岸町尾幌=1.3 標茶町塘路*=1.3 別海町常盤=1.2 別海町本別海*=1.1 厚岸町真栄*=1.0 根室市弥栄=1.0 羅臼町岬町*=0.9 根室市豊里=0.9 中標津町養老牛=0.6 釧路市幸町=0.6 鶴居村鶴居東*=0.6 弟子屈町弟子屈*=0.5 標茶町川上*=0.5				
86	15 04 20	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 19.8' N	128° 43.0' E	9km	M: 5.9
		3 鹿児島市喜入町*=2.8 さつま町神子*=2.7 南さつま市大浦町*=2.6 伊佐市菱刈前目*=2.5 2 薩摩川内市神田町*=2.4 いちき串木野市湊町*=2.4 日置市日吉町日置*=2.3 鹿児島市上谷口*=2.2 鹿児島市東郡元=2.2 南さつま市加世田川畑*=2.2 南さつま市金峰町尾下*=2.2 薩摩川内市鹿島町*=2.2 薩摩川内市祁答院町*=2.1 南九州市穎娃町牧之内*=2.1 肝付町新富*=2.1 薩摩川内市上甕町*=2.1 鹿児島市本城*=2.1 薩摩川内市中郷=2.0 鹿児島市祇園之洲町*=2.0 指宿市開開十町*=2.0 薩摩川内市東郷町*=2.0 屋久島町口永良部島公民館*=2.0 湧水町吉松*=1.9 薩摩川内市下甕町青瀬=1.9 指宿市十町*=1.9 薩摩川内市下甕町手打*=1.9 三島村硫黄島*=1.9 南九州市知覧町郡*=1.9 伊佐市大口島鼻*=1.8 始良市宮島町*=1.8 日置市吹上町中原*=1.8 いちき串木野市緑町*=1.8 薩摩川内市入来町*=1.8 さつま町宮之城保健センタ*=1.8 鹿児島市桜島赤水新島*=1.8 鹿児島市下福元=1.8 枕崎市高見町=1.7 南九州市川辺町平山*=1.7 始良市蒲生町上久徳*=1.7 始良市加治木町本町*=1.7 鹿児島市郡山*=1.6 長島町伊唐島*=1.6 南さつま市坊津町久志*=1.6 指宿市山川新生町=1.6 日置市伊集院町郡*=1.6 鹿屋市新栄町=1.6 垂水市田神*=1.5 大崎町仮宿*=1.5 三島村竹島*=1.5 鹿児島出水市野田町*=1.5 1 阿久根市鶴見町*=1.4 鹿児島出水市高尾野町*=1.4 さつま町宮之城屋地=1.4 薩摩川内市里町*=1.4 鹿児島市桜島藤野*=1.3 薩摩川内市樋脇町*=1.3 霧島市横川町中ノ*=1.3 鹿屋市吾平町麓*=1.3 長島町指江*=1.2 南さつま市笠沙町片浦*=1.2 霧島市国分中央*=1.2 鹿児島出水市緑町*=1.0 長島町獅子島*=1.0 阿久根市赤瀬川=0.9 長島町鷹巣*=0.9 霧島市隼人町内山田=0.9 枕崎市若葉町*=0.9 志布志市志布志町志布志=0.8 伊佐市大口山野=0.7 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6 錦江町田代支所*=0.6 屋久島町口永良部島池田=0.5 佐賀県 2 白石町有明*=1.9 1 白石町福富*=1.4 神埼市千代田*=1.4 佐賀市久保田*=1.3 上峰町坊所*=1.3 佐賀市川副*=1.2 小城市芦刈*=1.2 白石町福田*=1.2 みやき町北茂安*=1.0 佐賀市諸富*=1.0 佐賀市東与賀*=1.0 江北町山口*=0.9 みやき町三根*=0.9 神埼市神埼*=0.7 佐賀市大和*=0.7 小城市三日月*=0.6 長崎県 2 長崎市神浦江川町*=1.6 松浦市志佐町*=1.5 五島市富江町富江*=1.5 1 時津町浦*=1.4 五島市上大津町*=1.4 五島市岐宿町*=1.3 諫早市森山町*=1.2 佐世保市鹿町町*=1.1 諫早市多良見町*=1.1 五島市三井楽町*=1.1 平戸市生月町*=1.0 東彼杵町蔵本*=0.9 平戸市岩の上町=0.9 平戸市鏡川町*=0.9 南島原市西有家町*=0.9 南島原市有家町*=0.9 五島市玉之浦町*=0.9 平戸市田平町*=0.9 五島市富江町繁敷=0.8 新上五島町有川*=0.8 大村市玖島*=0.8 南島原市布津町*=0.8 五島市木場町=0.7 熊本県 2 天草市五和町*=1.8 芦北町芦北=1.5 1 津奈木町小津奈木*=1.3 人吉市西間下町=1.3 水俣市牧ノ内*=1.2 天草市天草町*=1.2 八代市平山新町=1.1 上天草市大矢野町=1.0 天草市東浜町*=1.0 多良木町上球磨消防署*=0.9 天草市河浦町*=0.9 人吉市蟹作町*=0.8 宇城市三角町*=0.7 天草市牛深町=0.7 芦北町田浦町*=0.5 福岡県 1 福岡中央区舞鶴*=0.8				
87	15 05 34	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 13.4' N	128° 39.2' E	9km	M: 5.1
		2 南さつま市金峰町尾下*=1.6 鹿児島市喜入町*=1.5 1 鹿児島市東郡元=1.4 日置市日吉町日置*=1.1 南さつま市大浦町*=1.1 南九州市穎娃町牧之内*=1.0 枕崎市高見町=0.9 南さつま市加世田川畑*=0.9 薩摩川内市上甕町*=0.7 薩摩川内市中郷=0.6 鹿児島市下福元=0.5 佐賀県 1 白石町有明*=1.0 白石町福富*=0.5 長崎県 1 五島市岐宿町*=1.0				
88	15 08 09	国後島付近 北海道	44° 20.9' N	145° 47.1' E	20km	M: 4.1
		1 羅臼町岬町*=1.0 標津町北2条*=0.6				
89	15 12 36	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 13.2' N	128° 40.9' E	10km	M: 4.3
		1 南さつま市大浦町*=1.1 鹿児島市喜入町*=0.9 鹿児島市東郡元=0.6 枕崎市高見町=0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
90	15 21 40	青森県津軽南部 青森県	40° 41.3' N	140° 30.9' E	13km	M: 2.8
		2 藤崎町水木*=1.7 1 藤崎町西豊田*=1.0 弘前市和田町=0.7 黒石市市ノ町*=0.7 青森市浪岡*=0.7 田舎館村田舎館*=0.7 弘前市城東中央*=0.5				
91	16 02 11	十勝地方南部 北海道	42° 32.4' N	143° 08.3' E	93km	M: 4.4
		3 浦幌町桜町*=2.5 2 新ひだか町静内山手町=1.8 浦河町潮見=1.6 新冠町北星町*=1.5 浦河町築地*=1.5 豊頃町茂岩本町*=1.5 釧路市音別町中園*=1.5 白糠町西 1 条*=1.5 1 浦河町野深=1.4 安平町早来北進*=1.3 新ひだか町静内御幸町*=1.3 函館市泊町*=1.3 様似町栄町*=1.3 むかわ町穂別*=1.2 千歳市若草*=1.2 新ひだか町三石旭町*=1.2 函館市新浜町*=1.2 千歳市支笏湖温泉*=1.2 鹿追町東町*=1.2 新得町 2 条*=1.2 十勝池田町西 1 条*=1.2 本別町北 2 丁目=1.2 十勝大樹町東本通*=1.2 十勝大樹町生花*=1.2 平取町振内*=1.1 足寄町南 1 条*=1.1 本別町向陽町*=1.1 帯広市東 6 条*=1.1 幕別町本町*=1.1 幕別町忠類錦町*=1.0 厚岸町尾幌=1.0 厚真町鹿沼=0.9 音更町元町*=0.9 標茶町塘路*=0.9 十勝清水町南 4 条=0.9 土幌町土幌*=0.8 帯広市東 4 条=0.8 安平町追分柏が丘*=0.8 別海町常盤=0.8 別海町本別海*=0.8 更別村更別*=0.8 札幌南区真駒内*=0.8 広尾町並木通=0.7 釧路市幸町=0.7 千歳市北栄=0.7 上土幌町上土幌*=0.7 新千歳空港=0.6 新ひだか町静内御園=0.6 苫小牧市末広町=0.6 芽室町東 2 条*=0.6 日高地方日高町門別*=0.6 厚岸町真栄*=0.6 釧路市阿寒町中央*=0.5 長沼町中央*=0.5 新ひだか町静内農屋*=0.5 標茶町川上*=0.5 幕別町忠類明和=0.5 函館市川汲町*=0.5 広尾町白樺通=0.5 弟子屈町美里=0.5 弟子屈町弟子屈*=0.5 中札内村東 2 条*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.0 東通村砂子又沢内*=0.9 八戸市南郷*=0.7 八戸市湊町=0.5				
92	16 07 55	宮崎県北部平野部 宮崎県	32° 12.9' N	131° 25.3' E	63km	M: 2.9
		1 宮崎都農町役場*=1.2 西都市上の宮*=0.6				
93	16 16 31	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 08.1' N	128° 47.7' E	1km	M: 4.6
		2 南さつま市大浦町*=1.8 鹿児島市喜入町*=1.6 1 南さつま市金峰町尾下*=1.3 日置市日吉町日置*=0.9 鹿児島市東郡元=0.9 南九州市穎娃町牧之内*=0.9 南さつま市加世田川畑*=0.8 鹿屋市新栄町=0.6 枕崎市高見町=0.5				
94	17 03 20	宮城県沖 岩手県	38° 41.9' N	141° 47.7' E	53km	M: 2.9
		1 一関市室根町*=0.8				
95	17 11 07	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 13.1' N	128° 43.2' E	6km	M: 4.4
		1 南さつま市大浦町*=1.3				
96	17 12 08	津軽海峡 北海道	41° 39.8' N	140° 47.8' E	16km	M: 2.9
		1 函館市泊町*=0.9 函館市川汲町*=0.7				
97	17 15 02	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 43.4' N	136° 30.4' E	8km	M: 2.2
		1 揖斐川町東杉原*=0.6				
98	18 02 14	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 34.7' N	136° 23.4' E	12km	M: 3.3
		2 揖斐川町東津汲*=1.8 1 揖斐川町谷汲*=1.2 大野町大野*=1.2 揖斐川町東杉原*=1.0 瑞穂市別府*=0.9 揖斐川町西横山*=0.9 揖斐川町三輪=0.9 瑞穂市宮田*=0.6 羽島市竹鼻町*=0.5 揖斐川町中籠橋*=0.5 各務原市川島河田町*=0.5 神戸町神戸*=0.5 揖斐川町春日*=0.5 岐阜市京町*=0.5 岐阜池田町六之井*=0.5 愛知県 1 一宮市千秋=0.9 滋賀県 1 長浜市宮部町*=1.1 長浜市木之本町木之本*=1.0 彦根市城町=0.9 長浜市公園町*=0.9 長浜市落合町*=0.9 彦根市元町*=0.8 長浜市湖北町速水*=0.8 長浜市高月町渡岸寺*=0.7 米原市顔戸*=0.7 長浜市八幡東町*=0.6 長浜市内保町*=0.6 長浜市余呉町中之郷*=0.5 高島市勝野*=0.5 愛荘町安孫子*=0.5 近江八幡市桜宮町=0.5				
99	18 06 49	宗谷地方北部 北海道	45° 18.6' N	141° 46.0' E	14km	M: 2.1
		1 稚内市沼川*=1.0				
100	18 07 46	茨城県南部 茨城県	35° 59.2' N	140° 14.9' E	40km	M: 3.1
		1 土浦市常名=0.5 石岡市柿岡=0.5				
101	18 10 21	紀伊水道 和歌山県	34° 12.0' N	135° 07.9' E	7km	M: 2.8
		2 和歌山市一番丁*=1.5 1 和歌山市男野芝丁=1.0 海南市日方*=0.7				
102	18 13 38	薩摩半島西方沖 佐賀県 鹿児島県	31° 20.6' N	128° 40.1' E	8km	M: 5.0
		1 白石町有明*=0.8 1 南さつま市金峰町尾下*=1.3 鹿児島市東郡元=1.1 南さつま市大浦町*=1.0 薩摩川内市下飯町手打*=0.6 薩摩川内市上飯町*=0.5				
103	18 14 04	岩手県沖 青森県	40° 13.3' N	142° 19.0' E	20km	M: 3.5
		1 階上町道仏*=0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
104	18 18 38	兵庫県南東部 兵庫県	34° 51.7' N	134° 56.5' E	12km	M: 3.1 加古川市志方町*=1.0 加東市社=1.0 三木市細川町=0.8 小野市王子町*=0.7 加東市河高*=0.7 加古川市加古川町=0.6 加西市北条町*=0.6
105	18 22 42	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 37.0' N	141° 54.0' E	48km	M: 4.1 2 一関市千厩町*=1.7 1 大船渡市大船渡町=1.3 陸前高田市高田町*=1.2 一関市室根町*=1.2 大船渡市猪川町=1.2 住田町世田米*=1.1 釜石市只越町=1.1 釜石市中妻町*=1.1 一関市大東町=1.0 一関市東山町*=0.7 一関市藤沢町*=0.5 一関市花泉町*=0.5 2 石巻市北上町*=1.8 気仙沼市唐桑町*=1.7 石巻市桃生町*=1.6 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 登米市豊里町*=1.1 女川町女川浜*=1.1 石巻市泉町=0.8 石巻市相野谷*=0.9 東松島市矢本*=0.9 南三陸町志津川=0.9 登米市東和町*=0.8 南三陸町歌津*=0.8 松島町高城=0.8 涌谷町新町裏=0.8 宮城美里町北浦*=0.7 登米市登米町*=0.7 登米市米山町*=0.7 登米市津山町*=0.7 登米市中田町=0.7 石巻市雄勝町*=0.6 石巻市大瓜=0.6 石巻市大街道南*=0.6 岩沼市桜*=0.6 大崎市古川三日町=0.5 石巻市鮎川浜*=0.5 東松島市小野*=0.5
106	19 04 56	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 08.8' N	128° 52.7' E	0km	M: 4.3 1 南さつま市大浦町*=1.3 鹿児島市東郡元=0.5
107	19 07 46	熊本県熊本地方 熊本県	32° 58.2' N	130° 55.4' E	5km	M: 2.3 1 菊池市旭志*=0.9 大津町引水*=0.5
108	19 08 30	岩手県沿岸北部 岩手県 青森県	39° 39.2' N	141° 52.4' E	66km	M: 3.9 2 宮古市田老*=2.0 八幡平市田頭*=1.9 遠野市宮守町*=1.7 盛岡市玉山区洪民*=1.5 釜石市中妻町*=1.5 遠野市青笹町*=1.5 盛岡市玉山区藪川*=1.5 1 宮古市区界*=1.3 宮古市鉾ヶ崎=1.2 花巻市大迫総合支所*=1.2 花巻市大迫町=1.1 宮古市茂市*=1.1 釜石市只越町=1.0 住田町世田米*=1.0 一関市千厩町*=1.0 奥州市江刺区*=1.0 八幡平市大更=0.9 矢巾町南矢幅*=0.9 山田町大沢*=0.9 宮古市川井*=0.7 大船渡市猪川町=0.7 一関市室根町*=0.7 盛岡市馬場町*=0.7 北上市相去町*=0.6 一関市大東町=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 盛岡市山王町=0.6 岩手洋野町大野*=0.5 1 階上町道仏*=1.3 青森南部町苫米地*=0.8 八戸市南郷*=0.6 八戸市内丸*=0.6
109	19 12 18	網走地方 北海道	43° 45.0' N	144° 43.6' E	0km	M: 3.8 2 清里町羽衣町*=2.1 1 小清水町小清水*=1.3 弟子屈町サワంచిサップ*=1.3 中標津町丸山*=1.3 中標津町養老牛=1.0 別海町西春別*=1.0 斜里町本町=0.9 標津町薫別*=0.9 網走市南6条*=0.9 斜里町ウトロ香川*=0.7 標津町古多糠=0.6
110	19 12 39	福島県沖 福島県 茨城県 宮城県 栃木県	37° 06.6' N	141° 06.4' E	53km	M: 4.0 3 福島広野町下北迫大谷地原*=2.9 檜葉町北田*=2.7 川内村下川内=2.7 川内村上川内早渡*=2.6 田村市都路町*=2.5 葛尾村落合落合*=2.5 2 田村市常葉町*=2.3 浪江町幾世橋=2.3 いわき市平梅本*=2.2 浅川町浅川*=2.2 南相馬市小高区*=2.2 いわき市平四ツ波*=2.1 福島広野町下北迫苗代替*=1.9 川内村上川内小山平*=1.9 田村市船引町=1.9 小野町小野新町*=1.9 白河市新白河*=1.8 石川町下泉*=1.8 いわき市三和町=1.8 富岡町本岡*=1.8 大熊町野上*=1.7 田村市大越町*=1.7 飯舘村伊丹沢*=1.7 古殿町松川新桑原*=1.7 田村市滝根町*=1.7 いわき市錦町*=1.6 小野町中通*=1.6 二本松市針道*=1.6 古殿町松川横川=1.6 平田村永田（旧）*=1.6 玉川村小高*=1.5 南相馬市原町区高見町*=1.5 1 須賀川市岩瀬支所*=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 白河市東*=1.3 いわき市小名浜=1.3 相馬市中村*=1.3 南相馬市鹿島区栃窪=1.3 矢祭町戸塚*=1.1 川俣町樋ノ口*=1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 福島市飯野町*=1.0 白河市郭内=1.0 鏡石町不時沼*=1.0 天栄村下松本*=1.0 南相馬市鹿島区西町*=1.0 須賀川市八幡山*=1.0 三春町大町*=1.0 新地町谷地小屋*=0.9 本宮市白岩*=0.9 郡山市開成*=0.9 福島伊達市霊山町*=0.9 白河市大信*=0.8 郡山市朝日=0.7 福島伊達市梁川町*=0.7 二本松市金色*=0.7 本宮市本宮*=0.7 二本松市油井*=0.7 須賀川市牛袋町*=0.6 福島市五老内町*=0.5 2 北茨城市磯原町*=1.9 高萩市安良川*=1.5 高萩市下手綱*=1.5 1 日立市役所*=1.3 日立市助川小学校*=1.2 日立市十王町友部*=1.2 大子町池田*=1.0 常陸太田市町屋町=0.8 東海村東海*=0.7 常陸大宮市山方*=0.6 笠間市石井*=0.6 宮城県 1 山元町浅生原*=1.1 岩沼市桜*=1.0 丸森町上滝=0.8 角田市角田*=0.7 名取市増田*=0.6 柴田町船岡=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*=0.9 宇都宮市明保野町=0.6 栃木那珂川町馬頭*=0.5
111	19 18 33	福島県沖 福島県	37° 32.0' N	141° 24.5' E	51km	M: 4.9 4 檜葉町北田*=3.6 浪江町幾世橋=3.5 3 葛尾村落合落合*=3.2 いわき市三和町=3.1 富岡町本岡*=3.1 浅川町浅川*=3.1 南相馬市原町区高見町*=3.1 福島広野町下北迫大谷地原*=3.0 川内村上川内早渡*=2.9 南相馬市原町区三島町=2.9 大熊町野上*=2.9 相馬市中村*=2.8 いわき市平四ツ波*=2.8 川内村下川内=2.7 天栄村下松本*=2.7 川俣町樋ノ口*=2.7 田村市常葉町*=2.7 新地町谷地小屋*=2.7 田村市滝根町*=2.7 本宮市白岩*=2.7 南相馬市原町区本町*=2.7 南相馬市小高区*=2.7 棚倉町棚倉中居野=2.6 田村市都路町*=2.6 飯舘村伊丹沢*=2.6 玉川村小高*=2.6 中島村滑津*=2.6 田村市船引町=2.6 田村市大越町*=2.6 白河市表郷*=2.5 いわき市平梅本*=2.5 須賀川市岩瀬支所*=2.5 白河市新白河*=2.5 鏡石町不時沼*=2.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 白河市東*2.4 須賀川市八幡山*2.4 二本松市油井*2.4 古殿町松川新桑原*2.4 小野町小野新町*2.4 本宮市本宮*2.4 川内村上川内小山平*2.4 郡山市湖南町*2.3 平田村永田 (旧) *2.2 郡山市朝日2.2 福島広野町下北迫苗代替*2.2 南相馬市鹿島区栴窪=2.2 南相馬市鹿島区西町*2.2 福島市飯野町*2.2 国見町藤田*2.2 小野町中通*2.1 石川町下泉*2.1 郡山市開成*2.1 白河市郭内=2.1 二本松市針道*2.0 白河市大信*2.0 いわき市錦町*2.0 棚倉町棚倉館ヶ丘*1.9 三春町大町*1.9 矢祭町東館*1.9 鮫川村赤坂中野*1.9 福島伊達市梁川町*1.9 福島伊達市霊山町*1.9 二本松市金色*1.9 いわき市小名浜=1.9 古殿町松川横川=1.8 福島伊達市月館町*1.8 桑折町東大隅*1.8 福島伊達市保原町*1.7 福島市五老内町*1.7 大玉村玉井*1.7 西郷村熊倉*1.7 泉崎村泉崎*1.7 矢祭町戸塚*1.7 須賀川市長沼支所*1.7 福島伊達市前川原*1.7 須賀川市牛袋町*1.7 塙町塙*1.6 大玉村曲藤=1.6 福島市松木町=1.6 福島市桜木町*1.6 矢吹町一本木*1.6 1 二本松市小浜*1.4 白河市八幡小路*1.3 猪苗代町千代田*1.3 猪苗代町城南=1.0 磐梯町磐梯*0.9 下郷町高岡*0.6 2 角田市角田*2.2 岩沼市桜*2.2 山元町浅生原*2.2 丸森町上滝=2.0 亘理町下小路*2.0 宮城川崎町前川*2.0 名取市増田*1.9 蔵王町円田*1.8 大河原町新南*1.7 塩竈市旭町*1.6 丸森町鳥屋*1.6 白石市亘理町*1.6 柴田町船岡=1.6 利府町利府*1.5 石巻市桃生町*1.5 村田町村田*1.5 1 大崎市松山*1.4 仙台空港=1.4 仙台太白区山田*1.4 大崎市古川三日町=1.3 登米市中田町=1.2 仙台若林区遠見塚*1.2 大崎市田尻*1.2 仙台泉区将監*1.2 松島町高城=1.2 仙台宮城野区五輪=1.1 宮城加美町中新田*1.1 大崎市鹿島台*1.1 石巻市大街道南*1.1 登米市迫町*1.1 大衡村大衡*1.1 宮城美里町木間塚*1.1 七ヶ宿町関*1.1 仙台青葉区落合*1.1 色麻町四竈*1.0 大郷町粕川*1.0 仙台青葉区作並*1.0 登米市南方町*1.0 涌谷町新町裏=1.0 東松島市小野*1.0 東松島市矢本*0.9 仙台宮城野区苦竹*0.9 大崎市古川大崎=0.9 七ヶ浜町東宮浜*0.9 仙台青葉区雨宮*0.9 栗原市築館*0.9 女川町女川浜*0.9 南三陸町志津川=0.8 仙台青葉区大倉=0.8 大崎市古川北町*0.7 栗原市一迫*0.7 栗原市瀬峰*0.7 石巻市北上町*0.7 登米市米山町*0.7 気仙沼市笹が陣*0.7 栗原市栗駒=0.6 栗原市高清水*0.6 石巻市相野谷*0.6 登米市東和町*0.6 気仙沼市赤岩=0.5 石巻市泉町=0.5 茨城県 2 日立市助川小学校*2.4 日立市役所*2.3 北茨城市磯原町*2.2 東海村東海*2.2 大子町池田*2.2 常陸太田市大中町*2.1 高萩市安良川*2.1 高萩市下手綱*2.1 笠間市石井*2.1 那珂市瓜連*2.1 水戸市内原町*2.0 日立市十王町友部*2.0 城里町石塚*2.0 常陸太田市高柿町*1.9 常陸大宮市野口*1.9 土浦市常名=1.9 常陸大宮市北町*1.8 常陸大宮市山方*1.8 笠間市笠間*1.8 ひたちなか市南神敷台*1.8 常陸大宮市上小瀬*1.7 笠間市中央*1.7 水戸市千波町*1.7 水戸市金町=1.6 那珂市福田*1.6 土浦市下高津*1.6 石岡市柿岡=1.6 桜川市羽田*1.6 ひたちなか市東石川*1.6 筑西市門井*1.5 鉾田市汲上*1.5 常陸太田市金井町*1.5 小美玉市堅倉*1.5 笠間市下郷*1.5 1 茨城町小堤*1.4 城里町阿波山*1.4 小美玉市上玉里*1.4 石岡市若宮*1.4 美浦村受領*1.4 桜川市岩瀬*1.4 取手市寺田*1.3 牛久市城中町*1.3 稲敷市江戸崎甲*1.3 筑西市舟生=1.3 かすみがうら市上土田*1.3 かすみがうら市大和田*1.3 行方市麻生*1.3 桜川市真壁*1.3 土浦市藤沢*1.3 常陸太田市町屋町=1.3 坂東市山*1.2 常陸大宮市中富町=1.2 常陸大宮市高部*1.2 常陸太田市町田町*1.2 つくば市天王台*1.2 つくば市小茎*1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 茨城鹿嶋市宮中*1.2 つくば市研究学園*1.1 鉾田市鉾田=1.1 鉾田市造谷*1.1 潮来市辻*1.1 筑西市海老ヶ島*1.1 石岡市八郷*1.1 城里町徳蔵*1.0 龍ヶ崎市役所*1.0 阿見町中央*1.0 稲敷市役所*1.0 稲敷市柴崎*1.0 行方市山田*0.9 行方市玉造*0.9 五霞町小福田*0.9 常総市新石下*0.9 常総市水海道諏訪町*0.9 下妻市本城町*0.9 ひたちなか市山ノ上町=0.9 坂東市岩井=0.8 つくばみらい市福田*0.8 牛久市中央*0.8 潮来市堀之内=0.8 稲敷市結佐*0.8 境町旭町*0.7 守谷市大柏*0.7 下妻市鬼怒*0.7 大洗町磯浜町*0.7 茨城古河市下大野*0.7 茨城古河市仁連*0.7 稲敷市須賀津*0.6 八千代町菅谷*0.6 筑西市下中山*0.6 結城市結城*0.5 栃木県 2 大田原市湯津上*2.0 那須町寺子*1.8 宇都宮市明保野町=1.8 芳賀町祖母井*1.6 栃木那珂川町馬頭*1.6 宇都宮市中里町*1.5 市貝町市塙*1.5 那須烏山市中央=1.5 栃木那珂川町小川*1.5 1 真岡市石島*1.4 高根沢町石末*1.4 大田原市本町*1.3 茂木町茂木*1.3 大田原市黒羽田町=1.2 鹿沼市晃望台*1.2 益子町益子=1.2 那須塩原市鍋掛*1.1 鹿沼市今宮町*1.1 下野市小金井*1.1 那須塩原市共壘社*1.0 栃木さくら市喜連川*1.0 那須烏山市大金*1.0 下野市田中*1.0 日光市中鉢石町*1.0 小山市神鳥谷*0.9 真岡市田町*0.9 日光市今市本町*0.9 栃木市旭町=0.9 那須塩原市塩原庁舎*0.8 栃木市岩舟町静*0.8 日光市瀬川=0.8 矢板市本町*0.8 那須烏山市役所*0.8 那須塩原市あたご町*0.8 佐野市葛生東*0.7 鹿沼市口栗野*0.7 下野市石橋*0.7 那須塩原市中塩原*0.7 足利市大正町*0.7 日光市芹沼*0.6 宇都宮市塙田*0.6 宇都宮市旭*0.6 日光市鬼怒川温泉大原*0.6 栃木市万町*0.5 佐野市中町*0.5 佐野市亀井町*0.5 岩手県 1 一関市室根町*1.1 一関市千厩町*0.9 一関市藤沢町*0.8 住田町世田米*0.8 一関市東山町*0.7 一関市花泉町*0.6 盛岡市玉山区薮川*0.6 釜石市中妻町*0.5 北上市相去町*0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*1.2 米沢市アルカディア=0.9 白鷹町荒砥*0.8 中山町長崎*0.7 南陽市三間通*0.7 高畠町高畠*0.7 上山市河崎*0.6 天童市老野森*0.6 米沢市駅前=0.5 山形川西町上小松*0.5 河北町谷地=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*1.1 桐生市黒保根町*0.8 太田市西本町*0.8 前橋市粕川町*0.7 前橋市富士見町*0.7 千代田町赤岩*0.7 桐生市元宿町*0.6 伊勢崎市西久保町*0.6 沼田市利根町*0.6 沼田市白沢町*0.5 埼玉県 1 久喜市下早見=1.1 東松山市松葉町*0.9 春日部市粕壁*0.9 加須市大利根*0.8 春日部市金崎*0.8 宮代町笠原*0.8 熊谷市江南*0.7 加須市騎西*0.7 鴻巣市中央*0.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県 川越市新宿町*0.7 桶川市上日出谷*0.7 熊谷市大里*0.6 鴻巣市川里*0.6 久喜市青葉*0.6 滑川町福田*0.6 ときがわ町桃木*0.6 上尾市本町*0.6 さいたま北区宮原*0.6 さいたま見沼区堀崎*0.6 さいたま岩槻区本丸*0.6 春日部市谷原新田*0.5 北本市本町*0.5 坂戸市千代田*0.5 幸手市東*0.5 川島町平沼*0.5 本庄市児玉町*0.5 杉戸町清地*0.5 東松山市市ノ川*0.5 鴻巣市吹上富士見*0.5 嵐山町杉山*0.5 1 野田市鶴奉*1.4 成田市花崎町=1.3 香取市役所*1.2 白井市復*1.1 成田国際空港=1.0 八千代市大和田新田*1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.0 香取市佐原平田=0.9 香取市仁良*0.9 千葉中央区都町*0.9 野田市東宝珠花*0.9 香取市佐原諏訪台*0.8 山武市埴谷*0.8 千葉花見川区花島町*0.8 柏市旭町=0.8 栄町安食台*0.8 東金市日吉台*0.7 芝山町小池*0.7 千葉若葉区小倉台*0.7 千葉美浜区ひび野=0.7 成田市松子*0.7 印西市大森*0.7 印西市美瀬*0.7 多古町多古=0.6 山武市松尾町富士見台=0.6 東京都 1 東京千代田区大手町=0.9 東京渋谷区本町*0.8 東京中野区江古田*0.7 東京杉並区高井戸*0.7 調布市西つつじヶ丘*0.7 三鷹市野崎*0.6 東京板橋区相生町*0.5 東京江戸川区中央=0.5 神奈川県 1 川崎宮前区宮前平*0.6				
112	19 23 41	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 南さつま市大浦町*1.3 鹿児島市喜入町*0.8 鹿児島市東郡元=0.8	31° 15.4' N	128° 42.2' E	12km	M: 4.6
113	20 03 25	宮城県沖 岩手県 宮城県 福島県 1 一関市藤沢町*0.6 大船渡市猪川町=0.6 住田町世田米*0.5 1 石巻市桃生町*1.3 南三陸町志津川=1.1 気仙沼市赤岩=0.7 石巻市前谷地*0.7 気仙沼市笹が陣*0.7 女川町女川浜*0.7 大崎市鹿島台*0.6 岩沼市桜*0.6 石巻市泉町=0.6 大崎市古川三日町=0.6 気仙沼市唐桑町*0.5 松島町高城=0.5 大崎市古川大崎=0.5 石巻市北上町*0.5 1 檜葉町北田*0.6	38° 18.6' N	142° 26.3' E	38km	M: 4.4
114	20 04 46	石川県能登地方 石川県 1 輪島市鳳至町=0.5	37° 19.8' N	137° 00.3' E	12km	M: 2.7
115	20 08 15	茨城県北部 福島県 3 棚倉町棚倉中居野=2.7 2 白河市表郷*2.3 矢祭町戸塚*2.3 矢祭町東館*2.1 浅川町浅川*2.1 白河市新白河*2.1 白河市東*2.0 白河市郭内=2.0 玉川村小高*1.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*1.8 鏡石町不時沼*1.7 いわき市三和町=1.7 中島村滑津*1.7 白河市大信*1.7 須賀川市岩瀬支所*1.6 天栄村下松本*1.6 泉崎村泉崎*1.6 いわき市錦町*1.5 郡山市湖南町*1.5 西郷村熊倉*1.5 1 塙町塙*1.4 石川町下泉*1.4 須賀川市八幡山*1.3 郡山市朝日=1.3 白河市八幡小路*1.3 古殿町松川新桑原*1.3 田村市都路町*1.3 檜葉町北田*1.3 須賀川市牛袋町*1.2 二本松市油井*1.2 郡山市開成*1.2 福島伊達市霊山町*1.1 いわき市小名浜=1.1 田村市大越町*1.1 会津美里町新鶴庁舎*1.1 古殿町松川横川=1.1 本宮市本宮*1.0 田村市船引町=1.0 いわき市平梅本*1.0 鮫川村赤坂中野*1.0 川内村上川内早渡*1.0 飯館村伊丹沢*1.0 猪苗代町千代田*1.0 田村市常葉町*1.0 小野町中通*1.0 本宮市白岩*0.9 二本松市金色*0.9 会津美里町本郷庁舎*0.9 田村市滝根町*0.9 福島広野町下北迫大谷地原*0.9 二本松市針道*0.9 大玉村曲藤=0.9 葛尾村落合落合*0.9 大玉村玉井*0.8 矢吹町一本木*0.8 福島市五老内町*0.8 小野町小野新町*0.8 南会津町田島=0.8 川俣町樋ノ口=0.8 浪江町幾世橋=0.8 磐梯町磐梯*0.7 猪苗代町城南=0.7 福島伊達市梁川町*0.7 須賀川市長沼支所*0.7 湯川村清水田*0.6 福島広野町下北迫苗代替*0.6 三春町大町*0.6 下郷町高岡*0.6 南会津町界*0.6 檜枝岐村上河原*0.6 川内村上川内小山平*0.6 福島市松木町=0.6 福島市飯野町*0.5 茨城県 3 高萩市安良川*3.3 日立市十王町友部*3.1 日立市助川小学校*3.1 高萩市下手綱*3.0 日立市役所*2.5 大子町池田*2.5 2 常陸太田市高柿町*2.2 常陸太田市中大町*2.1 北茨城市磯原町*2.1 常陸太田市金井町*2.0 常陸太田市町屋町=1.9 常総市水海道諏訪町*1.9 坂東市山*1.7 笠間市中央*1.6 常陸大宮市北町*1.6 常陸大宮市山方*1.6 土浦市常名=1.6 下妻市鬼怒*1.5 五霞町小福田*1.5 筑西市舟生=1.5 常総市新石下*1.5 笠間市笠間*1.5 那珂市瓜連*1.5 笠間市石井*1.5 1 東海村東海*1.4 桜川市真壁*1.4 笠間市下郷*1.3 常陸大宮市上小瀬*1.3 常陸大宮市野口*1.3 那珂市福田*1.3 土浦市藤沢*1.3 筑西市門井*1.3 常陸太田市町田町*1.2 城里町石塚*1.2 ひたちなか市南神敷台*1.2 茨城古河市仁連*1.2 石岡市柿岡=1.2 桜川市岩瀬*1.2 常陸大宮市中富町=1.2 土浦市下高津*1.1 茨城古河市下大野*1.1 取手市寺田*1.1 常陸大宮市高部*1.1 かすみがうら市上土田*1.1 水戸市金町=1.1 水戸市千波町*1.1 桜川市羽田*1.1 つくばみらい市福田*1.1 小美玉市堅倉*1.0 水戸市内原町*1.0 ひたちなか市東石川*1.0 石岡市若宮*1.0 下妻市本城町*1.0 つくば市天王台*1.0 境町旭町*1.0 坂東市岩井=1.0 城里町阿波山*1.0 石岡市八郷*0.9 茨城町小堤*0.9 つくば市研究学園*0.9 つくば市小茎*0.9 小美玉市上玉里*0.9 筑西市海老ヶ島*0.8 かすみがうら市大和田*0.8 牛久市城中町*0.7 美浦村受領*0.6 阿見町中央*0.6 城里町徳蔵*0.5 栃木県 2 那須町寺子*1.7 大田原市湯津上*1.6 宇都宮市白沢町*1.6 市貝町市塙*1.6 宇都宮市中里町*1.5 芳賀町祖母井*1.5 高根沢町石末*1.5 栃木那珂川町馬頭*1.5 1 宇都宮市明保野町=1.4 鹿沼市晃望台*1.4 真岡市石島*1.4 日光市今市本町*1.3 鹿沼市今宮町*1.3 益子町益子=1.3 日光市中鉢石町*1.2 那須烏山市中央=1.2 栃木那珂川町小川*1.2 下野市田中*1.2 那須塩原市塩原庁舎*1.1 小山市神島谷*1.1 日光市鬼怒川温泉大原*1.1 那須塩原市鍋掛*1.0 日光市瀬川=1.0 日光市芹沼*1.0 真岡市荒町*0.9 茂木町茂木*0.9 那須塩原市あたご町*0.9 栃木市旭町=0.9 真岡市田町*0.9 下野市小金井*0.8 佐野市葛生東*0.8 大田原市黒羽田町=0.8 矢板市本町*0.8	36° 40.2' N	140° 39.1' E	10km	M: 4.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県	栃木さくら市氏家※=0.8 栃木さくら市喜連川※=0.8 那須塩原市共墾社※=0.8 那須烏山市大金※=0.8 栃木市岩舟町静※=0.7 那須塩原市墓沼=0.7 日光市足尾町中才※=0.7 鹿沼市口栗野※=0.6 那須塩原市中塩原※=0.6 日光市湯元※=0.5 日光市日蔭※=0.5 茂木町北高岡天矢場※=0.5 1 岩沼市桜※=1.0 蔵王町円田※=0.8 大河原町新南※=0.6 角田市角田※=0.5 1 沼田市利根町※=1.4 沼田市白沢町※=1.3 沼田市西倉内町=1.1 桐生市黒保根町※=1.0 前橋市富士見町※=0.9 伊勢崎市西久保町※=0.9 吉岡町下野田※=0.9 沼田市下久屋町※=0.8 みなかみ町鹿野沢※=0.8 高崎市高松町※=0.8 伊勢崎市今泉町※=0.8 太田市西本町※=0.8 前橋市粕川町※=0.7 渋川市吹屋※=0.7 邑楽町中野※=0.7 片品村東小川=0.7 桐生市元宿町※=0.6 桐生市新里町※=0.6 渋川市有馬※=0.5 千代田町赤岩※=0.5 みどり市笠懸町※=0.5 1 久喜市下早見=1.3 加須市大利根※=1.2 春日部市粕壁※=1.1 宮代町笠原※=1.1 春日部市金崎※=1.0 久喜市青葉※=0.9 春日部市谷原新田※=0.9 久喜市栗橋※=0.8 幸手市東※=0.8 杉戸町清地※=0.8 さいたま岩槻区本丸※=0.8 白岡市千駄野※=0.8 越谷市越ヶ谷※=0.7 鴻巣市川里※=0.6 久喜市鷲宮※=0.6 蓮田市黒浜※=0.6 加須市北川辺※=0.6 加須市騎西※=0.5 さいたま見沼区堀崎※=0.5 熊谷市大里※=0.5 1 野田市東宝珠花※=1.3 野田市鶴奉※=1.2 1 東京渋谷区本町※=0.7 1 三条市荻堀※=0.6			
116	20 10 08	父島近海 東京都	26° 24.2' N	143° 03.2' E	7km	M: 5.2 1 小笠原村父島三日月山=1.2 小笠原村母島=1.2 小笠原村父島西町=0.9
117	20 10 24	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 13.1' N	129° 09.9' E	10km	M: 2.8 1 鹿児島十島村宝島※=0.5
118	20 10 25	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 15.5' N	129° 08.6' E	9km	M: 2.9 1 鹿児島十島村小宝島※=1.4
119	20 12 37	千葉県北東部 千葉県	35° 44.5' N	140° 38.6' E	51km	M: 3.1 1 芝山町小池※=0.9 成田市花崎町=0.9 香取市仁良※=0.8 香取市役所※=0.8 東金市日吉台※=0.6 多古町多古=0.6 山武市松尾町富士見台=0.5
120	20 14 31	父島近海 東京都	26° 23.0' N	143° 06.3' E	0km	M: 6.3 2 小笠原村母島=2.1 小笠原村父島三日月山=1.9 小笠原村父島西町=1.5
121	20 14 33	父島近海 東京都	26° 19.2' N	143° 02.5' E	0km	M: 5.2 1 小笠原村母島=1.2 小笠原村父島三日月山=0.9 小笠原村父島西町=0.7
122	20 14 45	茨城県北部 茨城県	36° 40.9' N	140° 39.1' E	10km	M: 2.6 1 日立市助川小学校※=1.4 日立市役所※=0.6
123	20 15 44	福島県沖 福島県	37° 01.0' N	141° 08.0' E	51km	M: 4.1 2 富岡町本岡※=2.2 川内村下川内=2.1 川内村上川内早渡※=2.0 檜葉町北田※=1.9 いわき市三和町=1.8 田村市都路町※=1.8 福島広野町下北迫大谷地原※=1.7 田村市滝根町※=1.7 いわき市錦町※=1.6 川内村上川内小山平※=1.6 小野町小野新町※=1.5 田村市大越町※=1.5 1 いわき市平梅本※=1.4 福島広野町下北迫苗代替※=1.4 浪江町幾世橋=1.3 飯館村伊丹沢※=1.3 いわき市平四ツ波※=1.3 玉川村小高※=1.3 いわき市小名浜=1.3 田村市常葉町※=1.2 矢祭町戸塚※=1.2 白河市新白河※=1.2 郡山市開成※=1.0 石川町下泉※=1.0 二本松市針道※=1.0 浅川町浅川※=1.0 小野町中通※=1.0 大熊町野上※=0.9 郡山市朝日=0.9 鏡石町不時沼※=0.9 矢祭町東館※=0.8 須賀川市岩瀬支所※=0.8 古殿町松川新桑原※=0.8 二本松市金色※=0.7 本宮市本宮※=0.7 二本松市油井※=0.7 須賀川市八幡山※=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 白河市郭内=0.7 田村市船引町=0.7 葛尾村落合落合※=0.7 天栄村下松本※=0.6 南相馬市原町区高見町※=0.6 大玉村玉井※=0.5 茨城県 2 北茨城市磯原町※=1.9 日立市助川小学校※=1.6 1 日立市役所※=1.4 日立市十王町友部※=1.4 常陸大宮市上小瀬※=1.4 高萩市下手綱※=1.3 常陸大宮市北町※=1.3 東海村東海※=1.2 常陸大宮市山方※=1.2 常陸太田市高柿町※=1.1 常陸太田市町田町※=1.1 高萩市安良川※=1.0 常陸太田市大中町※=1.0 城里町石塚※=1.0 水戸市内原町※=0.9 笠間市石井※=0.9 常陸大宮市野口※=0.8 常陸太田市町屋町=0.8 水戸市千波町※=0.7 笠間市笠間※=0.7 土浦市常名=0.7 筑西市門井※=0.7 常陸大宮市高部※=0.6 笠間市中央※=0.6 笠間市下郷※=0.6 水戸市金町=0.6 ひたちなか市南神敷台※=0.6 城里町阿波山※=0.5 桜川市岩瀬※=0.5 桜川市羽田※=0.5 石岡市柿岡=0.5 宮城県 1 岩沼市桜※=0.7 角田市角田※=0.6 栃木県 1 大田原市湯津上※=0.9 栃木那珂川町馬頭※=0.8 宇都宮市明保野町=0.5 宇都宮市中里町※=0.5 那須烏山市中央=0.5 栃木那珂川町小川※=0.5
124	20 16 06	父島近海 東京都	26° 22.0' N	143° 07.7' E	0km	M: 5.0 1 小笠原村父島三日月山=0.8 小笠原村母島=0.6 小笠原村父島西町=0.5
125	21 04 54	兵庫県南西部 兵庫県	34° 58.1' N	134° 48.6' E	14km	M: 2.6 1 多可町八千代区※=0.6
126	21 10 30	栃木県北部 栃木県	36° 37.1' N	139° 29.0' E	5km	M: 2.6 1 日光市足尾町中才※=0.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
127	21 14 40	父島近海 東京都	26° 21.5' N	143° 04.4' E	16km	M: 4.6
128	22 02 49	詳細不明 東京都				
129	22 07 47	福島県浜通り 宮城県 福島県	37° 19.2' N	140° 52.0' E	68km	M: 3.7
						1 岩沼市桜*=0.5 1 田村市都路町*=1.4 檜葉町北田*=1.1 二本松市油井*=0.9 葛尾村落合落合*=0.9 二本松市金色*=0.9 いわき市三和町=0.8 飯館村伊丹沢*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 川内村下川内=0.6 浅川町浅川*=0.6 白河市新白河*=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 矢祭町戸塚*=0.6 玉川村小高*=0.6 南相馬市鹿島区西町*=0.5 田村市船引町=0.5 小野町中通*=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.1 東海村東海*=0.8 日立市役所*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 常陸太田市町屋町=0.5 笠間市石井*=0.5
130	22 08 20	茨城県沖 茨城県	36° 25.7' N	140° 41.2' E	52km	M: 4.8
						4 銚田市汲上*=3.7 東海村東海*=3.6 ひたちなか市南神敷台*=3.5 日立市十王町友部*=3.5 常陸太田市金井町*=3.5 3 水戸市金町=3.4 茨城町小堤*=3.4 日立市助川小学校*=3.3 日立市役所*=3.3 常陸太田市高柿町*=3.3 水戸市千波町*=3.3 常陸大宮市野口*=3.3 那珂市福田*=3.2 那珂市瓜連*=3.2 銚田市銚田=3.2 ひたちなか市東石川*=3.1 高萩市下手綱*=3.1 ひたちなか市山ノ上町=3.0 常陸大宮市北町*=3.0 茨城鹿嶋市宮中*=3.0 行方市山田*=3.0 笠間市石井*=3.0 行方市麻生*=2.9 茨城鹿嶋市鉾形=2.9 銚田市造谷*=2.9 常陸大宮市山方*=2.8 水戸市内原町*=2.8 高萩市安良川*=2.8 稲敷市役所*=2.8 土浦市常名=2.7 石岡市八郷*=2.7 小美玉市堅倉*=2.7 土浦市下高津*=2.6 石岡市柿岡=2.6 常陸大宮市中富町=2.6 小美玉市上玉里*=2.6 常陸太田市町屋町=2.6 笠間市笠間*=2.5 大洗町磯浜町*=2.5 かすみがうら市上土田*=2.5 大子町池田*=2.5 常陸太田市町田町*=2.5 城里町石塚*=2.5 常陸太田市大中町*=2.5 2 常陸大宮市上小瀬*=2.4 石岡市若宮*=2.4 潮来市堀之内=2.4 潮来市辻*=2.4 稲敷市江戸崎甲*=2.4 稲敷市結佐*=2.4 行方市玉造*=2.4 桜川市真壁*=2.4 笠間市下郷*=2.3 筑西市門井*=2.3 かすみがうら市大和田*=2.3 土浦市藤沢*=2.3 美浦村受領*=2.3 桜川市羽田*=2.3 城里町徳蔵*=2.2 城里町阿波山*=2.2 笠間市中央*=2.2 つくば市研究学園*=2.2 筑西市海老ヶ島*=2.2 稲敷市柴崎*=2.1 龍ヶ崎市役所*=2.1 下妻市鬼怒*=2.1 桜川市岩瀬*=2.1 筑西市下中山*=2.0 つくば市天王台*=2.0 神栖市溝口*=2.0 牛久市城中町*=2.0 下妻市本城町*=1.9 稲敷市須賀津*=1.9 北茨城市磯原町*=1.9 筑西市舟生=1.9 常総市新石下*=1.9 取手市井野*=1.9 阿見町中央*=1.9 坂東市山*=1.9 常陸大宮市高部*=1.8 取手市寺田*=1.8 常総市水海道諏訪町*=1.8 つくばみらい市加藤*=1.8 牛久市中央*=1.7 河内町源清田*=1.7 五霞町小福田*=1.7 つくば市小茎*=1.7 取手市藤代*=1.6 利根町布川=1.6 茨城古河市仁連*=1.6 つくばみらい市福田*=1.5 結城市結城*=1.5 1 八千代町菅谷*=1.4 境町旭町*=1.4 神栖市波崎*=1.4 茨城古河市下大野*=1.3 守谷市大柏*=1.3 坂東市岩井=1.2 福島県 2 浅川町浅川*=2.3 いわき市錦町*=2.2 田村市大越町*=2.1 中島村滑津*=2.1 泉崎村泉崎*=2.1 白河市表郷*=2.0 田村市都路町*=2.0 棚倉町棚倉中居野=2.0 矢祭町東館*=2.0 白河市東*=2.0 古殿町松川新桑原*=2.0 矢祭町戸塚*=1.9 田村市滝根町*=1.9 玉川村小高*=1.8 鏡石町不時沼*=1.8 いわき市小名浜=1.8 白河市新白河*=1.8 いわき市平梅本*=1.8 須賀川市八幡山*=1.8 檜葉町北田*=1.7 石川町下泉*=1.7 白河市大信*=1.7 矢吹町一本木*=1.6 須賀川市岩瀬支所*=1.6 平田村永田 (旧) *=1.6 二本松市油井*=1.5 天栄村下松本*=1.5 1 郡山市朝日=1.4 郡山市開成*=1.4 郡山市湖南町*=1.4 小野町中通*=1.4 田村市船引町=1.4 田村市常葉町*=1.4 いわき市三和町=1.4 浪江町幾世橋=1.4 福島広野町下北迫苗代替*=1.3 川内村上川内早渡*=1.3 小野町小野新町*=1.3 白河市郭内=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 福島市五老内町*=1.2 白河市八幡小路*=1.2 二本松市針道*=1.2 西郷村熊倉*=1.2 葛尾村落合落合*=1.2 檜枝岐村上河原*=1.2 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.2 塙町塙*=1.1 古殿町松川横川=1.1 本宮市本宮*=1.1 本宮市白岩*=1.1 飯館村伊丹沢*=1.1 須賀川市牛袋町*=1.1 いわき市平四ツ波*=1.1 相馬市中村*=1.0 福島市桜木町*=1.0 川俣町樋ノ口*=1.0 富岡町本岡*=1.0 鮫川村赤坂中野*=1.0 二本松市金色*=1.0 川内村下川内=0.9 南相馬市小高区*=0.9 福島伊達市霊山町*=0.9 福島伊達市梁川町*=0.8 福島市松木町=0.8 川内村上川内小山平*=0.8 大玉村玉井*=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.7 新地町谷地小屋*=0.7 福島市飯野町*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.6 大熊町野上*=0.6 大玉村曲藤=0.6 福島伊達市月館町*=0.5 南会津町田島=0.5 三春町大町*=0.5 栃木県 2 真岡市田町*=2.2 真岡市石島*=2.2 市貝町市塙*=2.2 大田原市湯津上*=2.1 益子町益子=2.0 茂木町茂木*=2.0 那須烏山市中央=2.0 芳賀町祖母井*=1.9 栃木那珂川町馬頭*=1.9 小山市神鳥谷*=1.9 真岡市荒町*=1.9 那須町寺子*=1.7 高根沢町石末*=1.7 宇都宮市中里町*=1.7 栃木那珂川町小川*=1.7 下野市田中*=1.7 宇都宮市明保野町=1.6 栃木さくら市喜連川*=1.6 茂木町北高岡天矢場*=1.6 宇都宮市白沢町*=1.5 1 日光市中鉢石町*=1.4 那須塩原市鍋掛*=1.4 那須烏山市大金*=1.4 那須烏山市役所*=1.4 日光市鬼怒川温泉大原*=1.3 足利市大正町*=1.3 鹿沼市晃望台*=1.3 栃木さくら市氏家*=1.3 栃木市岩舟町静*=1.2 小山市中央町*=1.2 下野市小金井*=1.2 大田原市本町*=1.2 那須塩原市あたご町*=1.2 鹿沼市今宮町*=1.1 野木町丸林*=1.1 塩谷町玉生*=1.1 下野市石橋*=1.1 那須塩原市共興社*=1.1 上三川町しらさぎ*=1.0 那須塩原市塩原庁舎*=1.0 栃木市旭町=1.0 日光市足尾町通洞*=1.0 大田原市黒羽田町=1.0 日光市芹沼*=0.9 鹿沼市口栗野*=0.9 日光市今市本町*=0.9 宇都宮市旭*=0.9 栃木市藤岡町藤岡*=0.9 日光市瀬川=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 栃木市大平町富田*=0.8 日光市日蔭*=0.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐野市葛生東*＝0.7 日光市藤原*＝0.7 宇都宮市塙田*＝0.7 壬生町通町*＝0.7 矢板市本町*＝0.7 栃木市西方町本城*＝0.7 栃木市万町*＝0.6 佐野市中町*＝0.6 那須塩原市臺沼＝0.5 日光市湯元*＝0.5 那須塩原市中塩原*＝0.5 佐野市田沼町*＝0.5 群馬県 2 渋川市赤城町*＝1.6 1 桐生市元宿町*＝1.4 桐生市黒保根町*＝1.4 沼田市利根町*＝1.2 千代田町赤岩*＝1.1 邑楽町中野*＝1.1 群馬明和町新里*＝1.0 沼田市西倉内町＝1.0 沼田市白沢町*＝1.0 片品村東小川＝1.0 桐生市新里町*＝1.0 太田市西本町*＝1.0 片品村鎌田*＝0.9 前橋市粕川町*＝0.9 伊勢崎市今泉町*＝0.9 伊勢崎市西久保町*＝0.9 伊勢崎市境*＝0.8 太田市浜町*＝0.8 太田市大原町*＝0.8 館林市城町*＝0.8 前橋市富士見町*＝0.8 館林市美園町*＝0.7 渋川市吹屋*＝0.7 板倉町板倉＝0.7 みなかみ町鹿野沢*＝0.7 桐生市織姫町＝0.7 伊勢崎市東町*＝0.6 沼田市下久屋町*＝0.6 太田市粕川町*＝0.6 太田市新田金井町*＝0.6 東吾妻町本宿*＝0.6 高崎市高松町*＝0.5 みどり市笠懸町*＝0.5 みどり市大間々町*＝0.5 東吾妻町原町＝0.5 安中市安中*＝0.5 前橋市堀越町*＝0.5 埼玉県 2 宮代町笠原*＝1.7 春日部市粕壁*＝1.6 1 加須市大利根*＝1.4 春日部市金崎*＝1.4 春日部市谷原新田*＝1.4 久喜市下早見＝1.3 久喜市青葉*＝1.3 幸手市東*＝1.2 杉戸町清地*＝1.2 さいたま見沼区堀崎*＝1.2 久喜市鷺宮*＝1.2 加須市下三俣*＝1.1 本庄市尻玉町＝1.1 東松山市松葉町*＝1.1 嵐山町杉山*＝1.1 熊谷市江南*＝1.0 行田市南河原*＝1.0 加須市北川辺*＝1.0 羽生市東*＝1.0 深谷市川本*＝1.0 久喜市栗橋*＝1.0 吉見町下細谷*＝1.0 埼玉美里町木部*＝1.0 草加市高砂*＝1.0 吉川市吉川*＝1.0 さいたま中央区下落合*＝1.0 さいたま岩槻区本丸*＝1.0 白岡市千駄野*＝1.0 川口市中青木分室*＝0.9 加須市騎西*＝0.9 富士見市鶴馬*＝0.9 三郷市幸房*＝0.9 さいたま大宮区天沼町*＝0.9 さいたま緑区中尾*＝0.9 熊谷市大里*＝0.8 滑川町福田*＝0.8 行田市本丸*＝0.8 川口市青木*＝0.8 鴻巣市中央*＝0.8 鴻巣市川里*＝0.8 松伏町松伏*＝0.8 さいたま北区宮原*＝0.8 鴻巣市吹上富士見*＝0.8 久喜市菖蒲*＝0.8 長瀬町野上下郷*＝0.7 戸田市上戸田*＝0.7 桶川市上日出谷*＝0.7 川島町平沼*＝0.7 さいたま西区指扇*＝0.7 蓮田市黒浜*＝0.6 東松山市市ノ川*＝0.6 川越市新宿町*＝0.6 熊谷市妻沼*＝0.6 上尾市本町*＝0.6 さいたま浦和区高砂＝0.6 越谷市越ヶ谷*＝0.6 和光市広沢*＝0.6 北本市本町*＝0.6 八潮市中央*＝0.6 さいたま南区別所*＝0.5 狭山市入間川*＝0.5 志木市中宗岡*＝0.5 千葉県 2 成田市花崎町＝2.3 印西市大森*＝2.2 香取市佐原平田＝2.1 香取市役所*＝2.1 香取市仁良*＝2.1 成田国際空港＝2.1 印西市笠神*＝2.1 香取市羽根川*＝2.0 野田市鶴奉*＝2.0 神崎町神崎本宿*＝1.9 白井市復*＝1.9 栄町安食台*＝1.9 香取市佐原諏訪台*＝1.8 成田市中台*＝1.8 八街市八街*＝1.8 富里市七栄*＝1.8 山武市埴谷*＝1.7 成田市役所*＝1.7 成田市松子*＝1.7 千葉佐倉市海隣寺町*＝1.7 八千代市大和田新田*＝1.7 芝山町小池*＝1.7 多古町多古＝1.6 印西市美瀬*＝1.6 千葉中央区都町*＝1.6 千葉若葉区小倉台*＝1.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*＝1.5 千葉美浜区ひび野＝1.5 東金市日吉台*＝1.5 旭市南堀之内*＝1.5 1 旭市高生*＝1.4 旭市ニ*＝1.4 匝瑳市八日市場ハ*＝1.4 香取市岩部*＝1.4 山武市松尾町富士見台＝1.4 千葉花見川区花島町*＝1.4 柏市旭町＝1.4 柏市柏*＝1.4 銚子市若宮町*＝1.3 旭市萩園*＝1.3 横芝光町宮川*＝1.3 野田市東宝珠花*＝1.3 浦安市日の出＝1.3 東庄町笹川*＝1.2 船橋市湊町*＝1.2 松戸市西馬橋*＝1.2 成田市猿山*＝1.2 四街道市鹿渡*＝1.2 酒々井町中央台*＝1.2 九十九里町片貝*＝1.1 横芝光町栗山*＝1.1 千葉中央区千葉市役所*＝1.1 千葉稲毛区園生町*＝1.1 千葉美浜区稲毛海岸*＝1.1 習志野市鷺沼*＝1.1 東金市東新宿＝1.1 東金市東岩崎*＝1.0 山武市松尾町五反田*＝1.0 千葉中央区中央港＝1.0 柏市大島田*＝1.0 銚子市川口町＝1.0 我孫子市我孫子*＝0.9 山武市殿台*＝0.9 山武市蓮沼ハ*＝0.9 松戸市根本*＝0.8 市原市姉崎*＝0.8 一宮町一宮＝0.8 匝瑳市今泉*＝0.8 千葉緑区おゆみ野*＝0.8 宮城県 1 岩沼市桜*＝1.1 丸森町鳥屋*＝0.9 大河原町新南*＝0.9 角田市角田*＝0.8 山元町浅生原*＝0.7 石巻市桃生町*＝0.7 松島町高城＝0.6 東京都 1 東京荒川区東尾久*＝1.2 東京足立区神明南*＝1.2 東京江戸川区中央＝1.2 東京中野区江古田*＝1.1 東京葛飾区立石*＝1.1 東京葛飾区金町*＝1.1 東京千代田区大手町＝1.0 東京江東区森下*＝1.0 東京渋谷区本町*＝1.0 東京荒川区荒川*＝1.0 東京江戸川区船堀*＝1.0 東京江東区越中島*＝0.9 東京杉並区高井戸*＝0.9 東京足立区千住中居町*＝0.9 武蔵野市吉祥寺東町*＝0.9 東京文京区大塚*＝0.8 東京墨田区東向島*＝0.8 東京江東区塩浜*＝0.8 東京杉並区桃井*＝0.8 東京足立区伊興*＝0.8 三鷹市野崎*＝0.8 調布市西つつじヶ丘*＝0.8 東京千代田区麹町*＝0.7 東京中央区勝どき*＝0.7 東京新宿区百人町*＝0.7 東京文京区スポーツセンタ*＝0.7 東京江東区東陽*＝0.7 東京北区西ヶ原*＝0.7 東京北区赤羽南*＝0.7 東京板橋区高島平*＝0.7 町田市中町*＝0.7 東京板橋区相生町*＝0.6 東京新宿区上落合*＝0.6 東京江戸川区鹿骨*＝0.6 東京文京区本郷*＝0.6 東京千代田区富士見*＝0.5 東京品川区北品川*＝0.5 東京国際空港＝0.5 東京世田谷区成城*＝0.5 西東京市中町*＝0.5 東大和市中央*＝0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町＝0.6 川崎宮前区宮前平*＝0.6				
131	22 09 37	根室半島南東沖 北海道	42° 54.4' N	146° 16.3' E	43km	M: 4.7
		2 別海町常盤＝2.3 別海町西春別*＝2.1 根室市落石東*＝2.1 根室市牧の内*＝2.0 標津町北2条*＝1.8 根室市瑠瑠瑁*＝1.8 根室市弥栄＝1.7 別海町本別海*＝1.6 1 標茶町塘路*＝1.2 根室市豊里＝1.2 厚岸町真栄*＝1.1 中標津町養老牛＝1.1 浜中町霧多布*＝1.1 羅臼町岬町*＝1.0 厚岸町尾幌＝0.9 釧路市幸町＝0.8 弟子屈町弟子屈*＝0.7				
132	22 17 47	釧路沖 北海道	42° 44.7' N	145° 32.4' E	43km	M: 4.5
		1 厚岸町尾幌＝0.8 標茶町塘路*＝0.8 別海町常盤＝0.7 根室市落石東*＝0.7 根室市牧の内*＝0.6 標津町北2条*＝0.6 根室市瑠瑠瑁*＝0.6				
133	22 23 33	土佐湾 高知県	33° 23.1' N	133° 58.5' E	27km	M: 3.0
		1 馬路村馬路*＝0.9				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
134	23 14 04	十勝地方中部 北海道	42° 41.8' N	142° 59.1' E	98km	M: 3.3
		1 浦幌町桜町※=1.4 十勝大樹町生花※=0.8				
135	24 04 10	岩手県沖 青森県	40° 11.9' N	142° 20.1' E	37km	M: 3.7
		1 階上町道仏※=0.9 八戸市内丸※=0.5 八戸市湊町=0.5				
136	24 13 07	京都府南部 京都府	34° 58.7' N	135° 41.7' E	11km	M: 3.6
		3 宇治市宇治琵琶=2.9 京都中京区西ノ京=2.7 久御山町田井※=2.7 京都下京区河原町塩小路※=2.6 長岡京市開田※=2.5 京都伏見区醍醐※=2.5 2 京都伏見区向島※=2.3 京都伏見区久我※=2.2 京都西京区大枝※=2.2 亀岡市安町=2.2 八幡市八幡※=2.2 京都伏見区淀※=2.1 大山崎町円明寺※=2.1 京都山科区西野※=2.0 宇治田原町荒木※=2.0 宇治市折居台※=1.9 京都伏見区竹田※=1.9 京都左京区田中※=1.9 向日市寺戸町※=1.8 亀岡市余部町※=1.7 京都西京区樫原※=1.7 京都右京区太秦※=1.7 京都山科区安朱川向町※=1.6 京都東山区清水※=1.6 京都上京区藪ノ内町※=1.6 京都中京区河原町御池※=1.5 南丹市園部町小桜町※=1.5 京田辺市田辺※=1.5 1 南丹市八木町八木※=1.4 井手町井手※=1.2 木津川市山城町上狛※=1.2 精華町南稲八妻※=1.1 京都北区紫竹※=1.1 京都左京区大原※=1.0 笠置町笠置※=1.0 京都右京区京北周山町※=1.0 京都右京区嵯峨嵯原※=0.8 京都上京区今出川御前※=0.8 京都右京区嵯峨※=0.8 木津川市木津※=0.7 京都北区中川※=0.6 和束町釜塚※=0.5 滋賀県 2 大津市国分※=1.6 1 大津市南郷※=1.2 草津市草津※=0.7 栗東市安養寺※=0.7 甲賀市信楽町※=0.7 大津市御陵町=0.6 湖西市中央森北公園※=0.6 大阪府 2 島本町若山台※=2.0 1 枚方市大垣内※=1.4 豊能町余野※=1.3 能勢町役場※=1.3 大阪東淀川区北江口※=1.2 高槻市桃園町=1.2 高槻市消防本部※=1.2 交野市私部※=1.1 高槻市立第2中学校※=1.1 能勢町今西※=1.1 茨木市東中条町※=0.9 豊中市曾根南町※=0.8 寝屋川市役所※=0.8 箕面市粟生外院※=0.8 守口市京阪本通※=0.7 吹田市内本町※=0.7 四條畷市中野※=0.7 箕面市箕面=0.6 豊中市役所※=0.5 大阪旭区大宮※=0.5 門真市中町※=0.5 奈良県 2 奈良市半田開町=1.5 1 生駒市東新町※=1.0 奈良市二条大路南※=0.9 奈良市月ヶ瀬尾山※=0.8 宇陀市榛原下井足※=0.7 大和郡山口市北郡山町※=0.6 宇陀市大宇陀迫間※=0.6 三郷町勢野西※=0.5 吉野町上市※=0.5 兵庫県 1 三田市下里※=1.1				
137	25 04 33	紀伊水道 和歌山県	34° 10.1' N	135° 10.7' E	7km	M: 2.1
		1 海南市日方※=0.8				
138	25 12 13	伊豆半島東方沖 静岡県	35° 00.4' N	139° 16.0' E	15km	M: 2.9
		1 熱海市泉※=0.6				
139	25 22 52	石川県加賀地方 石川県	36° 22.3' N	136° 34.3' E	7km	M: 2.7
		2 白山市別宮町※=1.5 1 能美市寺井町※=1.0 能美市来丸町※=0.7 白山市河内町口直海※=0.7				
140	25 23 07	奄美大島近海 鹿児島県	28° 17.2' N	130° 00.9' E	10km	M: 2.2
		2 喜界町滝川=1.5 1 喜界町湾※=1.0				
141	26 00 49	大分県西部 熊本県	33° 04.4' N	131° 14.1' E	4km	M: 2.7
		1 産山村山鹿※=1.0				
142	26 06 51	浦河沖 北海道	42° 03.3' N	142° 28.9' E	68km	M: 3.9
		2 新ひだか町三石旭町※=1.5 1 新ひだか町静内山手町=1.0 新ひだか町静内御幸町※=0.9 新冠町北星町※=0.8 函館市新浜町※=0.8 安平町追分柏が丘※=0.8 浦河町潮見=0.8 浦河町築地※=0.8 厚真町鹿沼=0.6 安平町早来北進※=0.6 浦河町野深=0.5 函館市泊町※=0.5 恵庭市京町※=0.5				
143	26 09 43	トカラ列島近海 鹿児島県	28° 59.2' N	129° 26.4' E	70km	M: 3.8
		1 鹿児島十島村悪石島※=0.7				
144	26 21 27	岩手県沖 青森県	40° 16.0' N	142° 16.6' E	38km	M: 3.7
		1 八戸市内丸※=1.3 階上町道仏※=1.3 八戸市南郷※=1.0 八戸市湊町=1.0 青森南部町平※=0.9 五戸町古館=0.7 青森南部町苔米地※=0.7 三戸町在府小路町※=0.6 岩手県 1 軽米町軽米※=0.7 八幡平市田頭※=0.5 盛岡市玉山区薮川※=0.5 九戸村伊保内※=0.5				
145	27 14 36	神奈川県西部 神奈川県	35° 15.1' N	139° 10.7' E	14km	M: 2.8
		1 箱根町湯本※=1.1 大磯町月京※=0.7 南足柄市関本※=0.6 湯河原町中央=0.5				
146	27 16 56	千葉県東方沖 千葉県	35° 29.9' N	140° 54.0' E	22km	M: 3.9
		1 銚子市若宮町※=1.4 旭市萩園※=1.1 長南町長南※=1.1 東金市日吉台※=1.0 九十九里町片貝※=0.9 銚子市川口町=0.9 大網白里市大網※=0.9 長生村本郷※=0.8 東金市東新宿=0.8 香取市仁良※=0.8 旭市高生※=0.8 千葉中央区都町※=0.7 千葉若葉区小倉台※=0.7 市原市姉崎※=0.7 多古町多古=0.5 芝山町小池※=0.5 一宮町一宮=0.5 山武市蓮沼ハ※=0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯 度	経 度	深 さ	規 模
147	27 17 08	熊本県熊本地方 熊本県 2 菊池市旭志＊=1.5	32° 58.3' N	130° 55.3' E	6km	M: 2.4
148	27 17 14	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志＊=0.7	32° 58.2' N	130° 55.2' E	5km	M: 1.9
149	27 21 51	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏＊=1.9 八戸市南郷＊=1.8 青森南部町平＊=1.6 青森南部町苫米地＊=1.6 八戸市湊町=1.5 1 五戸町古館=1.4 野辺地町田狭沢＊=1.3 三戸町在府小路町＊=1.3 八戸市内丸＊=1.3 三沢市桜町＊=1.3 野辺地町野辺地＊=1.1 五戸町倉石中市＊=1.0 おいらせ町中下田＊=1.0 東通村砂子又沢内＊=1.0 東北町上北南＊=1.0 七戸町森ノ上＊=0.9 六戸町犬落瀬＊=0.8 青森南部町沖田面＊=0.8 十和田市奥瀬＊=0.8 外ヶ浜町蟹田＊=0.7 七戸町七戸＊=0.7 八戸市島守=0.5 岩手県 2 普代村銅屋＊=1.9 八幡平市田頭＊=1.8 盛岡市玉山区洪民＊=1.7 軽米町軽米＊=1.7 盛岡市玉山区薮川＊=1.5 1 二戸市浄法寺町＊=1.4 九戸村伊保内＊=1.2 矢巾町南矢幅＊=1.2 岩手町五日市＊=1.1 宮古市田老＊=1.1 田野畑村役場＊=1.0 葛巻町葛巻元木=1.0 葛巻町消防分署＊=1.0 紫波町紫波中央駅前＊=1.0 滝沢市鶴飼＊=1.0 遠野市宮守町＊=1.0 宮古市五月町＊=0.9 野田村野田＊=0.9 住田町世田米＊=0.9 盛岡市山王町=0.9 盛岡市馬場町＊=0.9 山田町大沢＊=0.9 宮古市鉏ヶ崎=0.8 釜石市中妻町＊=0.8 宮古市川井＊=0.8 宮古市区界＊=0.8 久慈市枝成沢=0.8 久慈市川崎町=0.7 八幡平市大更=0.7 岩手洋野町大野＊=0.7 田野畑村田野畑=0.7 花巻市大迫町=0.7 花巻市大迫総合支所＊=0.7 北上市相去町＊=0.7 遠野市青笹町＊=0.7 葛巻町役場＊=0.7 久慈市山形町＊=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 岩手洋野町種市=0.6 一関市生根町＊=0.6 西和賀町沢内川舟＊=0.6 釜石市只越町=0.5 一関市千蔵町＊=0.5 雫石町千刈田=0.5 山田町八幡町=0.5 北海道 1 函館市泊町＊=0.5 宮城県 1 仙仙沼市赤岩=0.5 栗原市栗駒=0.5	40° 09.4' N	142° 28.5' E	33km	M: 4.4
150	28 00 50	浦河沖 北海道 1 新ひだか町静内山手町=0.5	41° 54.4' N	142° 19.7' E	69km	M: 3.5
151	28 11 51	根室半島南東沖 北海道 4 中標津町丸山＊=3.7 根室市落石東＊=3.5 3 別海町本別海＊=3.3 別海町常盤=3.1 標津町北2条＊=3.1 別海町西春別＊=2.9 根室市瑤瑤瑠＊=2.9 白糠町西1条＊=2.7 根室市牧の内＊=2.7 標茶町塘路＊=2.7 羅臼町岬町＊=2.6 浜中町霧多布＊=2.6 鶴居村鶴居東＊=2.5 2 羅臼町緑町＊=2.4 弟子屈町弟子屈＊=2.3 釧路町別保＊=2.3 中標津町養老牛=2.3 標津町古多糠=2.3 標津町薫別＊=2.3 清里町羽衣町＊=2.3 釧路市阿寒町中央＊=2.2 斜里町本町=2.1 釧路市音別町中園＊=2.1 釧路市黒金町＊=2.1 羅臼町春日=2.1 標茶町川上＊=2.1 弟子屈町美里=2.0 釧路市幸町=2.0 根室市豊里=2.0 弟子屈町サワンチサップ＊=1.9 浦幌町桜町＊=1.9 浜中町湯沸=1.9 十勝清水町南4条=1.9 十勝池田町西1条＊=1.9 厚岸町尾幌=1.8 新得町2条＊=1.8 根室市弥栄=1.8 十勝大樹町生花＊=1.8 本別町北2丁目=1.7 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊=1.7 厚岸町真栄＊=1.7 斜里町ウトロ香川＊=1.7 本別町向陽町＊=1.6 大空町女満別西3条＊=1.5 津別町幸町＊=1.5 足寄町上螺湾=1.5 足寄町南1条＊=1.5 小清水町小清水＊=1.5 大空町東藻琴＊=1.5 1 鹿追町東町＊=1.4 幕別町本町＊=1.4 芽室町東2条＊=1.3 美幌町東3条=1.3 音更町元町＊=1.2 函館市新浜町＊=1.1 北見市常呂町常呂＊=1.1 更別村更別＊=1.1 幕別町忠類錦町＊=1.0 豊頃町茂岩本町＊=1.0 むかわ町穂別＊=1.0 十勝大樹町東本通＊=1.0 釧路市音別町尺別=1.0 帯広市東4条=0.9 湧別町栄町＊=0.9 土幌町土幌＊=0.9 帯広市東6条＊=0.8 厚真町鹿沼=0.8 広尾町並木通=0.7 新ひだか町静内山手町=0.7 網走市台町=0.7 浦河町潮見=0.6 幕別町忠類明和=0.5 北見市留辺蘂町富士見＊=0.5 洞爺湖町栄町＊=0.5 青森県 1 八戸市湊町=1.0 東通村砂子又沢内＊=1.0 八戸市南郷＊=0.8 階上町道仏＊=0.8 東北町上北南＊=0.7 五戸町古館=0.7 青森南部町平＊=0.6 野辺地町野辺地＊=0.6 八戸市内丸＊=0.5 岩手県 1 盛岡市玉山区薮川＊=0.6	43° 13.4' N	146° 30.1' E	71km	M: 5.6
152	28 15 47	茨城県北部 茨城県 1 東海村東海＊=1.3 常陸大宮市北町＊=1.1 笠間市石井＊=1.0 水戸市金町=0.9 ひたちなか市東石川＊=0.7 城里町石塚＊=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 水戸市内原町＊=0.6 常陸大宮市上小瀬＊=0.6 日立市助川小学校＊=0.6 桜川市羽田＊=0.6 桜川市岩瀬＊=0.5 日立市十王町友部＊=0.5	36° 27.2' N	140° 36.0' E	56km	M: 3.3
153	28 16 28	茨城県北部 福島県 1 矢祭町戸塚＊=0.6 茨城県 1 常陸太田市大中町＊=1.3 常陸大宮市上小瀬＊=0.5	36° 48.4' N	140° 31.4' E	8km	M: 3.1
154	28 21 13	種子島南東沖 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.6 大崎町仮宿＊=0.6 錦江町田代支所＊=0.6	30° 14.7' N	131° 31.5' E	44km	M: 4.2
155	29 03 44	岐阜県飛騨地方 岐阜県 2 高山市高根町＊=1.5	36° 04.4' N	137° 32.9' E	7km	M: 2.8
156	29 16 37	福井県嶺北 福井県 2 越前市栗田部＊=1.9 福井池田町稻荷＊=1.5 1 越前市村国＊=1.1 越前町江波＊=0.7 越前町西田中＊=0.7 越前市高瀬=0.7 鯖江市水落町＊=0.7 福井市大手＊=0.6	35° 56.1' N	136° 19.9' E	6km	M: 2.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
157	29 16 38	宮城県沖 宮城県 3 女川町女川浜*=2.5 2 石巻市北上町*=2.3 気仙沼市笹が陣*=1.8 気仙沼市唐桑町*=1.8 南三陸町志津川=1.8 登米市東和町*=1.7 登米市中田町=1.6 気仙沼市赤岩=1.6 石巻市雄勝町*=1.6 東松島市小野*=1.6 涌谷町新町裏=1.5 石巻市鮎川浜*=1.5 1 南三陸町歌津*=1.4 石巻市泉町=1.4 石巻市大街道南*=1.4 石巻市桃生町*=1.4 登米市豊里町*=1.3 登米市津山町*=1.2 名取市増田*=1.2 気仙沼市本吉町西川内=1.2 東松島市矢本*=1.2 大崎市田尻*=1.1 宮城川崎町前川*=1.0 気仙沼市本吉町津谷*=1.0 宮城美里町北浦*=1.0 登米市迫町*=1.0 栗原市栗駒=1.0 登米市石越町*=0.9 栗原市金成*=0.9 岩沼市桜*=0.9 登米市南方町*=0.8 登米市登米町*=0.8 大崎市古川大崎=0.8 大衡村大衡*=0.8 栗原市一迫*=0.7 石巻市相野谷*=0.7 石巻市前谷地*=0.7 松島町高城=0.7 大郷町粕川*=0.7 大崎市古川北町*=0.6 石巻市大瓜=0.6 大崎市松山*=0.6 大崎市鹿島台*=0.6 栗原市築館*=0.6 登米市米山町*=0.6 大崎市古川三日町=0.6 栗原市高清水*=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.6 大崎市鳴子*=0.5 岩手県 2 一関市室根町*=2.1 一関市千厩町*=2.0 一関市藤沢町*=1.8 一関市大東町=1.6 大船渡市大船渡町=1.6 住田町世田米*=1.5 1 一関市東山町*=1.3 陸前高田市高田町*=1.2 釜石市中妻町*=1.2 一関市花泉町*=1.2 大船渡市猪川町=1.2 釜石市只越町=1.1 一関市川崎町*=1.1 奥州市前沢区*=0.9 大船渡市盛町*=0.9 奥州市衣川区*=0.8 平泉町平泉*=0.7 遠野市青笹町*=0.7 北上市相去町*=0.7 北上市柳原町=0.5 遠野市宮守町*=0.5 宮古市区界*=0.5 福島県 1 福島伊達市霊山町*=0.6 飯館村伊丹沢*=0.6 檜葉町北田*=0.5	38° 19.3' N 141° 51.5' E 47km M: 4.1			
158	29 18 08	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市上山*=0.6	37° 00.6' N 138° 42.2' E	8km	M: 2.3	
159	29 18 48	薩摩半島西方沖 鹿児島県 2 指宿市開開十町*=1.7 南さつま市大浦町*=1.7 鹿児島市喜入町*=1.6 1 枕崎市高見町=1.2 薩摩川内市鹿児島町*=1.2 南さつま市金峰町尾下*=1.1 南九州市川辺町平山*=1.1 鹿児島市東郡元=1.1 鹿児島市下福元=1.0 南九州市頰娃町牧之内*=1.0 日置市日吉町日置*=0.9 南さつま市加世田川畑*=0.9 鹿屋市新栄町=0.8 南さつま市坊津町久志*=0.6 枕崎市若葉町*=0.6 薩摩川内市下甕町青瀬=0.5	31° 09.6' N 129° 07.4' E	5km	M: 4.4	
160	30 04 01	薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 南さつま市大浦町*=1.0	31° 10.9' N 129° 04.7' E	13km	M: 4.0	
161	30 06 04	奈良県 奈良県 3 吉野町上市*=2.6 2 高取町観覚寺*=2.3 桜井市初瀬=2.0 宇陀市大宇陀迫間*=2.0 宇陀市菟田野松井*=1.7 東吉野村小川*=1.7 明日香村岡*=1.5 1 大淀町桧垣本=1.3 宇陀市榛原下井足*=1.2 橿原市八木町*=1.1 天川村洞川=1.0 天川村沢谷*=1.0 葛城市柿本*=1.0 下市町下市*=1.0 桜井市栗殿*=0.9 奈良川上村迫*=0.9 御所市役所*=0.8 五條市本町*=0.7 大和高田市大中*=0.6 葛城市長尾*=0.5 広陵町南郷*=0.5 黒滝村寺戸*=0.5 和歌山県 1 橋本市東家*=0.6	34° 25.5' N 135° 52.7' E 10km M: 3.4			
162	30 06 05	奈良県 奈良県 1 吉野町上市*=1.2 高取町観覚寺*=1.1 宇陀市大宇陀迫間*=0.6 桜井市初瀬=0.5	34° 25.5' N 135° 52.6' E	9km	M: 2.6	
163	30 14 42	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=0.6	28° 36.0' N 130° 39.5' E	64km	M: 4.1	
164	30 21 50	房総半島南方沖 千葉県 1 館山市長須賀=0.8 東京都 1 三宅村神着=0.7	34° 14.2' N 140° 22.3' E	61km	M: 4.1	

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 ＜平成26年（2014年）12月～平成27年（2015年）11月＞

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成26年（2014年）											
12月	111	38	13	4						166	
平成27年（2015年）											
1月	94	39	13	3						149	
2月	100	42	8	3		2				155	6日 徳島県南部（震度5強） 17日 岩手県沖（震度5強） 三陸沖の地震活動 （震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、 震度1：5回）
3月	90	33	17	2						142	
4月	85	38	8	2						133	
5月	108	37	10	2	2	2				161	13日 宮城県沖（震度5強） 22日 奄美大島近海（震度5弱） 25日 埼玉県北部（震度5弱） 30日 小笠原諸島西方沖（震度5強） 神奈川県西部の地震活動 （震度2：2回、震度1：19回）
6月	107	38	10	4	1					160	4日 網走地方（震度5弱） 神奈川県西部の地震活動 （震度3：2回、震度2：4回、震度1：10回）
7月	84	36	11	2	1	1				135	10日 岩手県内陸北部（震度5弱） 13日 大分県南部（震度5強） 八丈島近海の地震活動 （震度2：3回、震度1：8回）
8月	97	41	23	4						165	
9月	80	37	11	1	1					130	12日 東京湾（震度5弱）
10月	106	46	12	5						169	鳥取県中部の地震活動 （震度4：3回、震度3：2回、震度2：3回、 震度1：15回）
11月	113	33	13	5						164	薩摩半島西方沖の地震活動 （震度4：1回、震度3：1回、震度2：6回、 震度1：9回）
平成27年計	1064	420	136	33	5	5	0	0	0	1663	
過去1年計	1175	458	149	37	5	5	0	0	0	1829	（平成26年12月～平成27年11月）

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M)別の月別地震回数 ＜平成26年(2014年)12月～平成27年(2015年)11月＞

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成26年(2014年)								
12月	369	79	7	2		457	88	11日 石垣島北西沖 (M6.1) 20日 福島県沖 (M6.0)
平成27年(2015年)								
1月	377	82	10			469	92	
2月	461	93	10	5		569	108	14日 台湾付近 (M6.2) 17日 三陸沖 (M6.9) 20日 三陸沖 (M6.5) 21日 三陸沖 (M6.4) 25日 鳥島近海 (M6.1)
3月	406	73	6			485	79	
4月	371	66	11	3		450	81	20日 与那国島近海 (M6.8) 20日 与那国島近海 (M6.0) 20日 与那国島近海 (M6.4)
5月	360	70	10	3	1	444	84	11日 鳥島近海 (M6.3) 13日 宮城県沖 (M6.8) 30日 小笠原諸島西方沖 (M8.1) 31日 鳥島近海 (M6.6)
6月	359	78	13	1		451	92	23日 小笠原諸島西方沖 (M6.8)
7月	363	85	5	1		454	91	7日 北海道東方沖 (M6.3)
8月	374	64	15	1		454	80	17日 硫黄島近海 (M6.1)
9月	335	92	11	1		439	104	2日 鳥島近海 (M6.1)
10月	373	68	5			446	73	
11月	561	115	12	1	1	690	129	14日 薩摩半島西方沖 (M7.1) 20日 父島近海 (M6.3)
平成27年計	4340	886	108	16	2	5352	1012	
過去1年計	4709	965	115	18	2	5809	1100	(平成26年12月～平成27年11月)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 27 年 11 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震は 1 回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 86 回であった。

平成 27 年 11 月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成 27 年 11 月 14 日 05 時 51 分	薩摩半島西方沖	7.1	4	5 弱	54.6

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第 1 報発表までの経過時間（秒）を示す。薩摩半島西方沖の緊急地震速報の内容の詳細については p. 53、54 を参照。

平成 19 年 10 月～平成 27 年 11 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)		7 (898)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び国立研究開発法人海洋研究開発機構の地震観測データを利用している。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 27 年 11 月に長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震は 1 回(11 月 14 日薩摩半島西方沖の地震)であった（平成 27 年 10 月はなし）。

11 月 14 日 05 時 51 分の薩摩半島西方沖の地震における発表内容については p56～58 を参照。

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	2	0	0	1	1	1	0	0	10
平成 26 年 (2014 年)	0	0	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	9
平成 27 年 (2015 年)	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	1		7

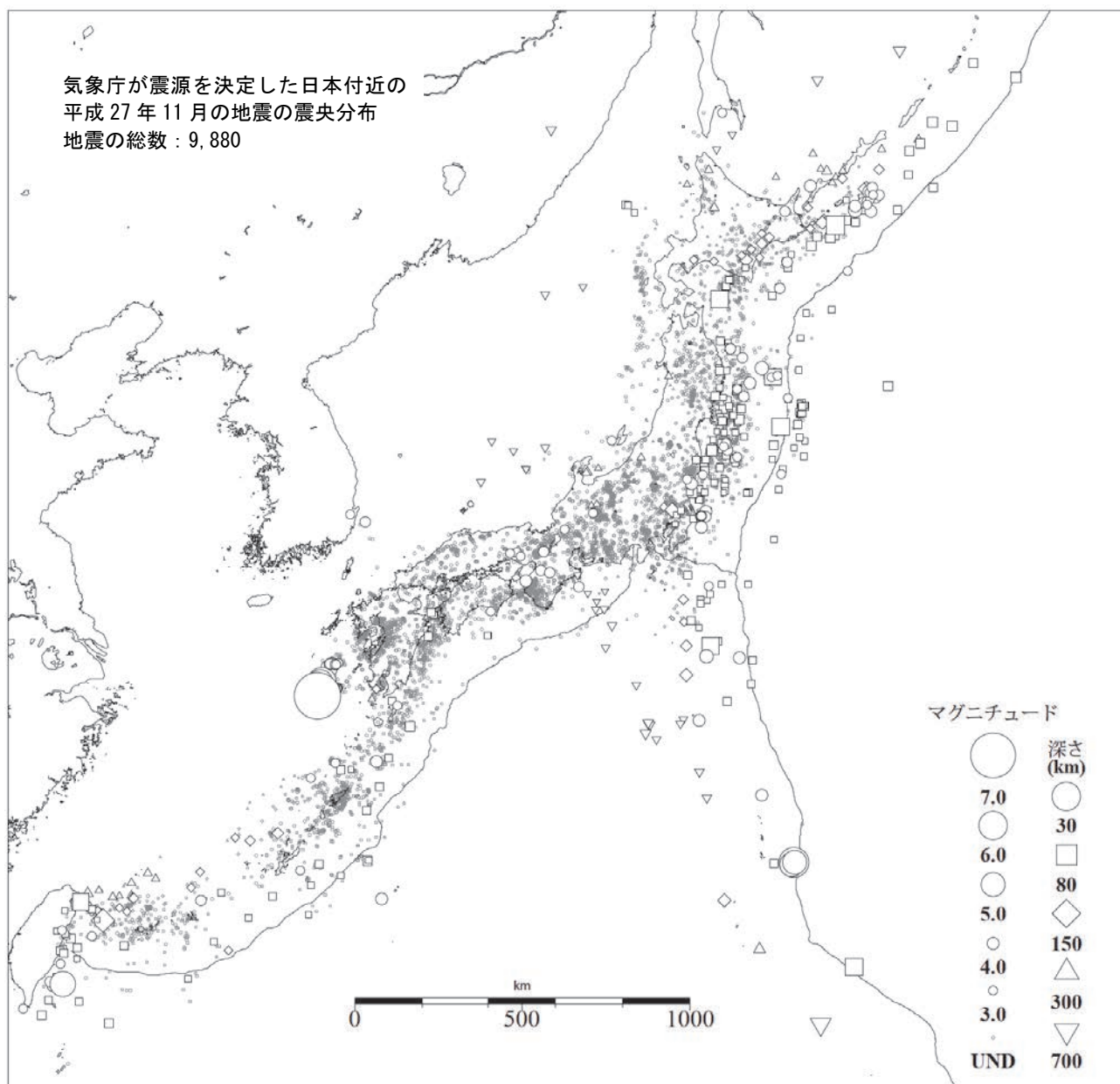
平成 25 年 3 月～平成 27 年 11 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の本感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらないう歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 26 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。



(M3.0 以上の地震については白抜きで示す)